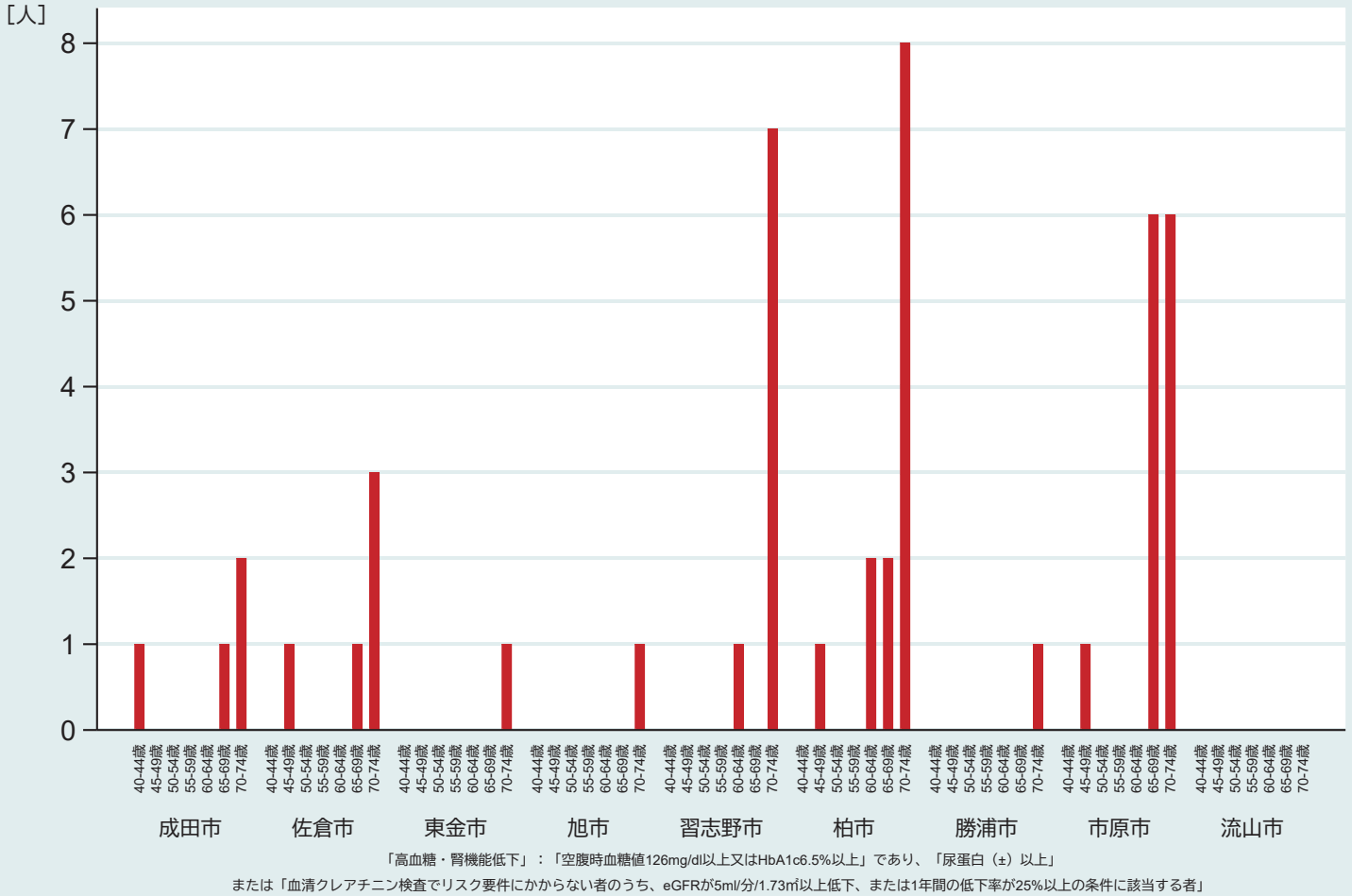
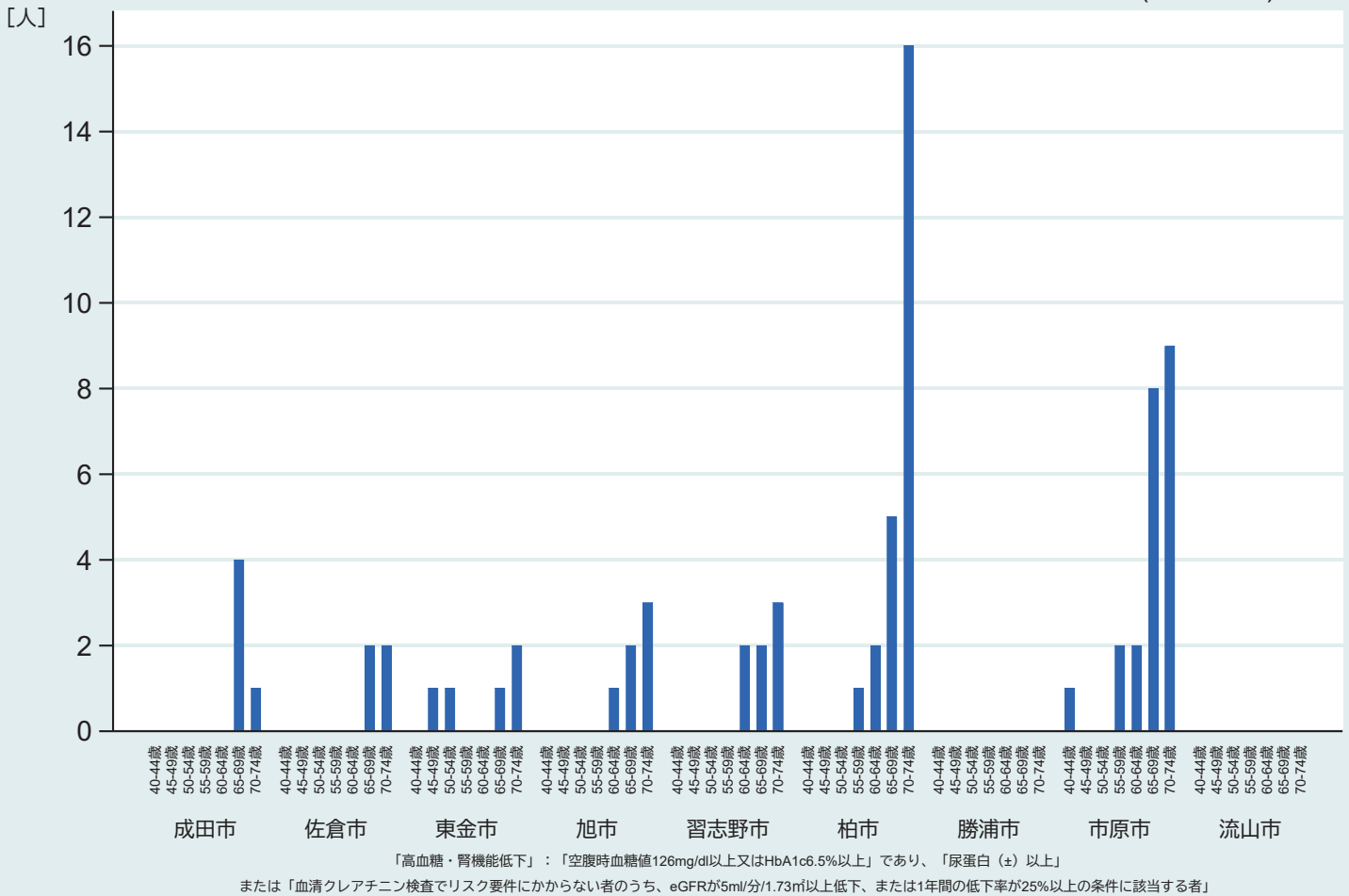


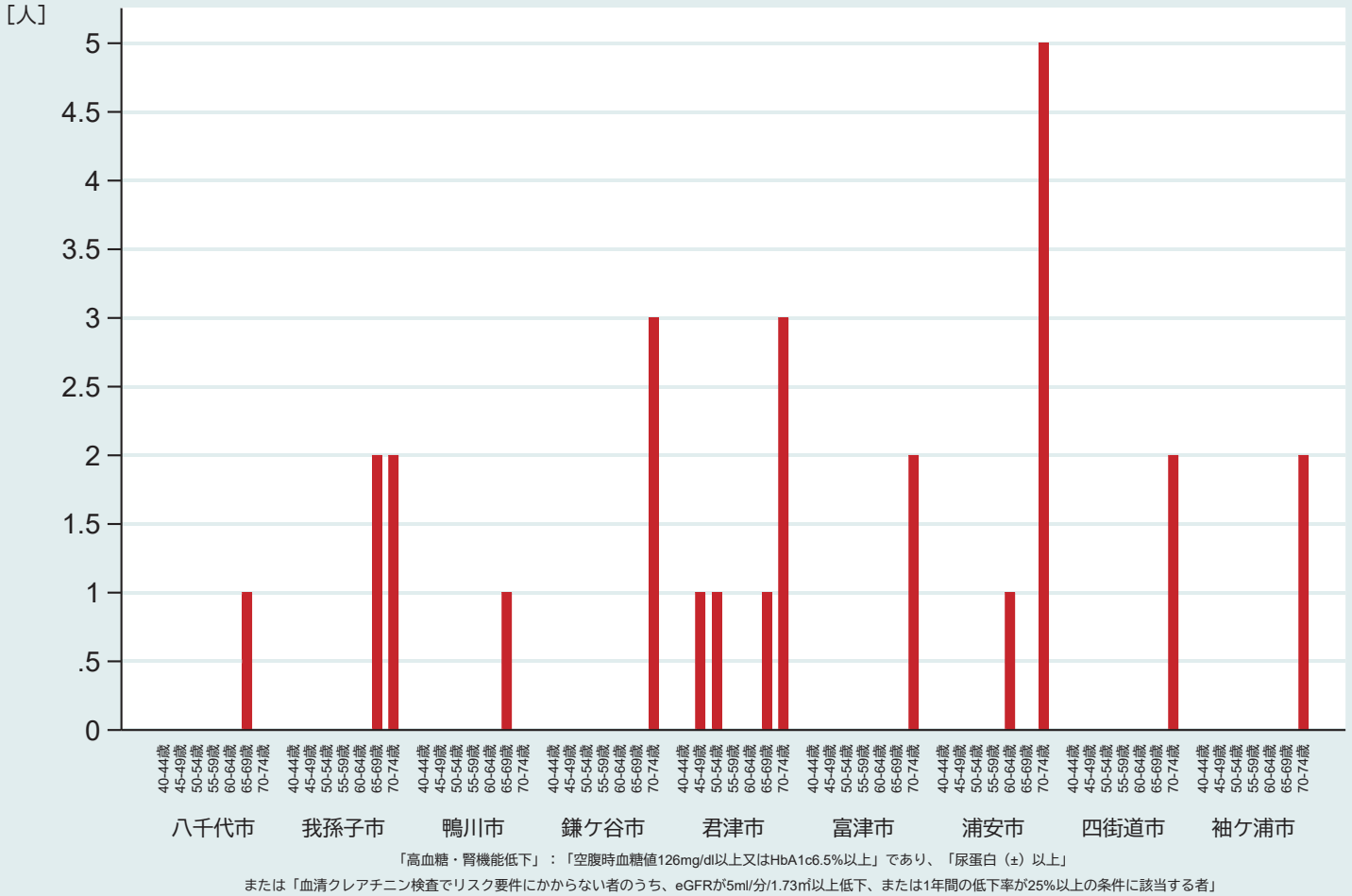
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別2・女性・年齢階級別】(2019年度)



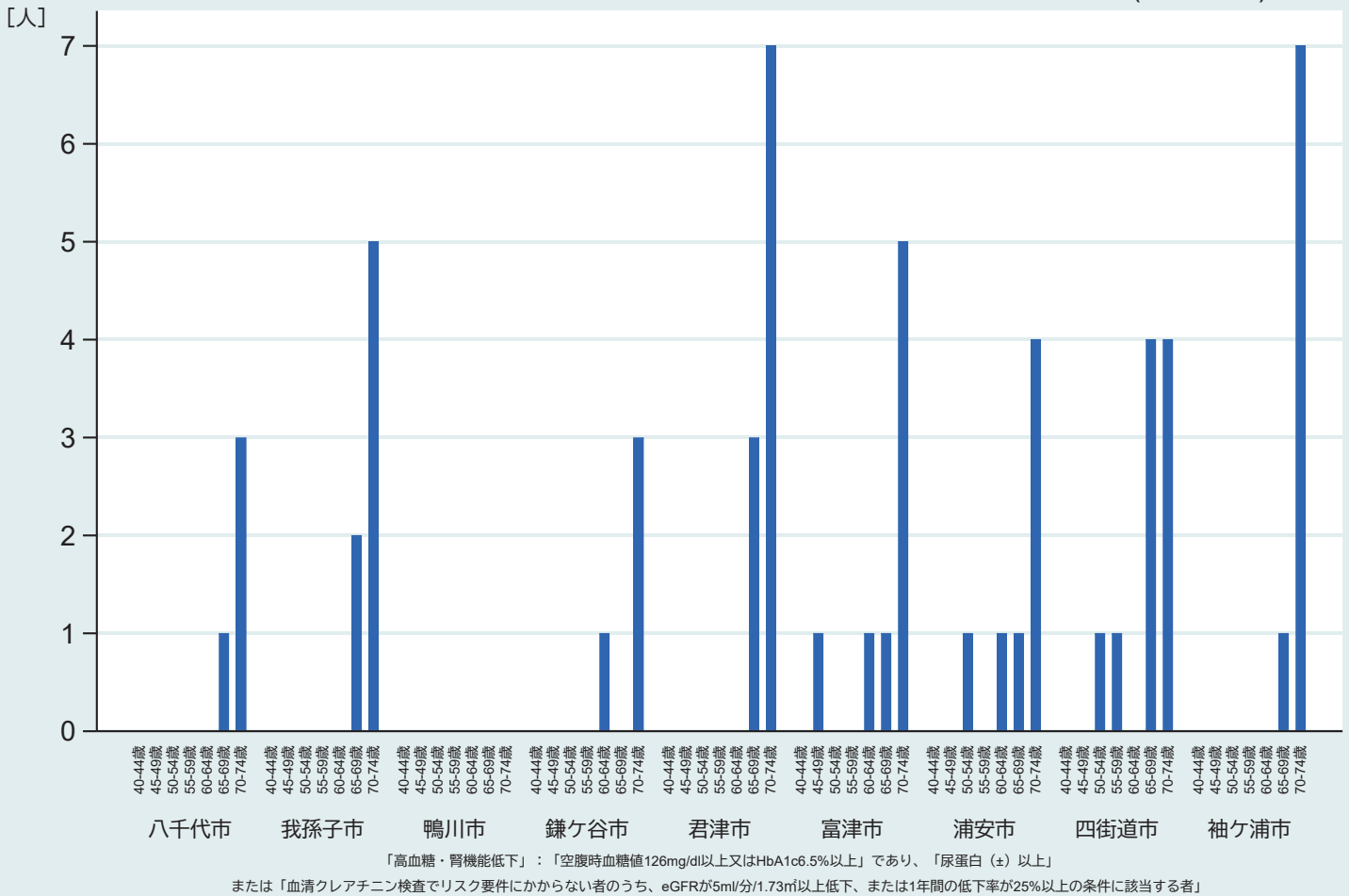
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別2・男性・年齢階級別】(2019年度)



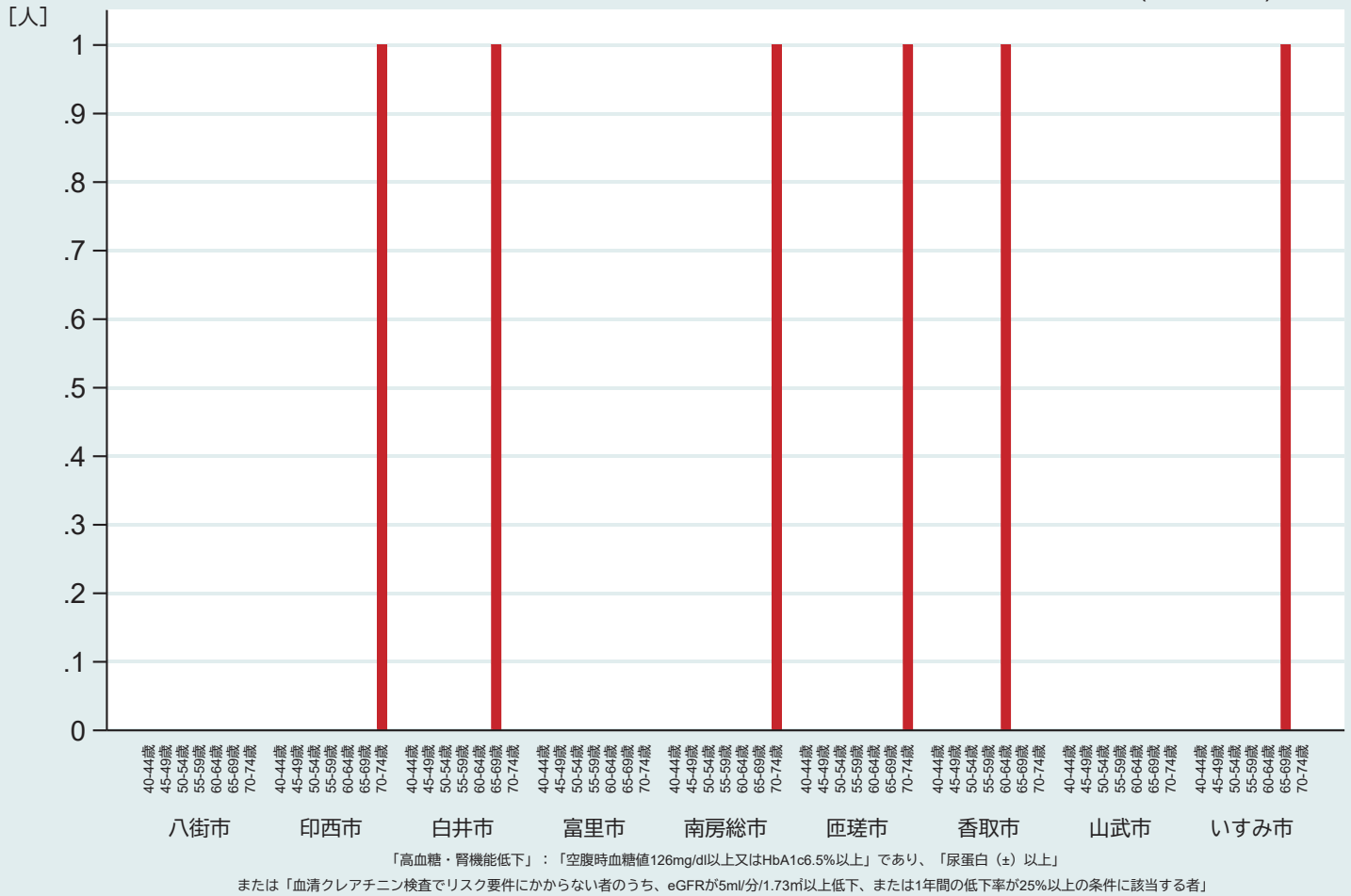
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別3・女性・年齢階級別】(2019年度)



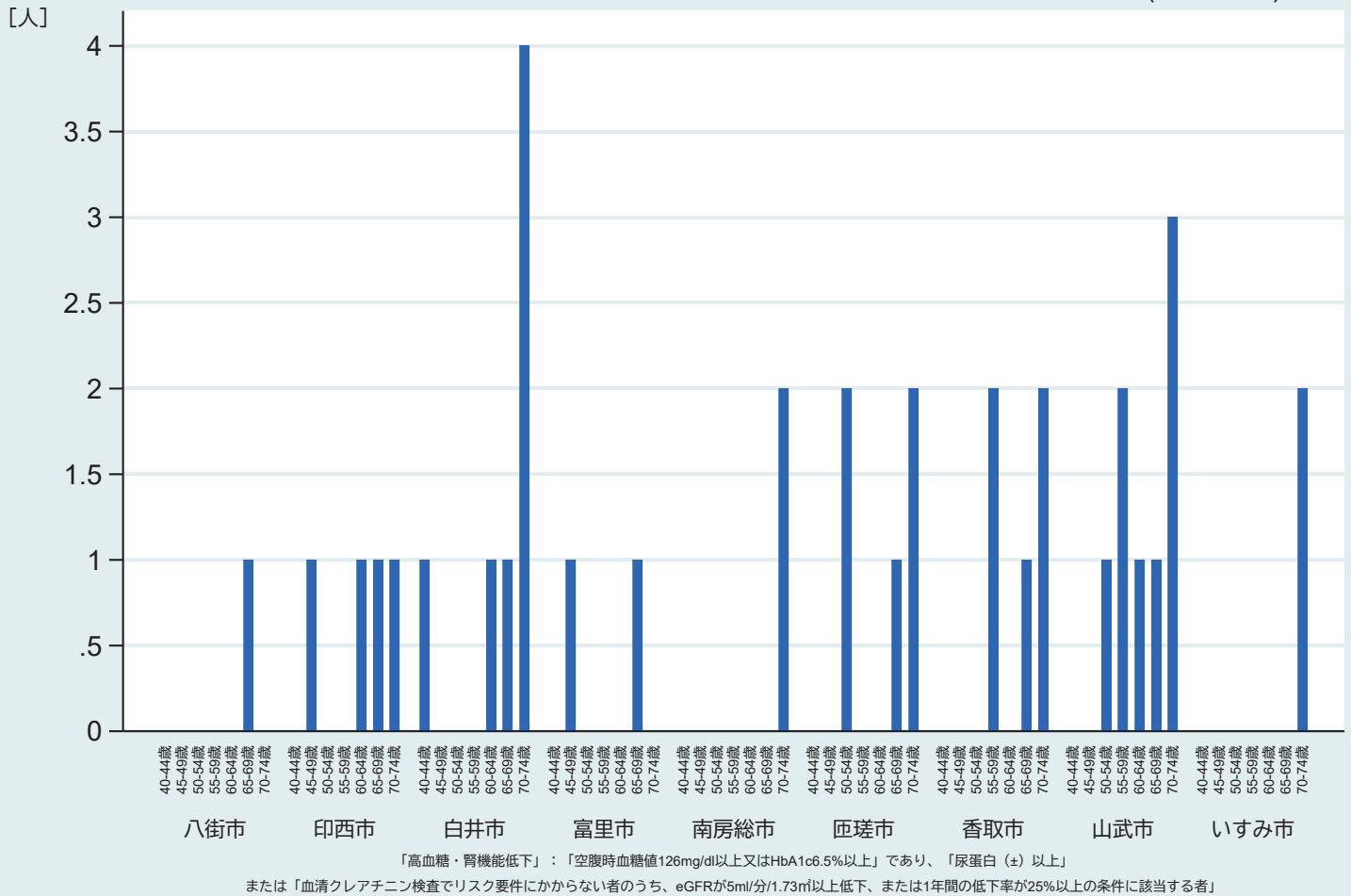
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別3・男性・年齢階級別】(2019年度)



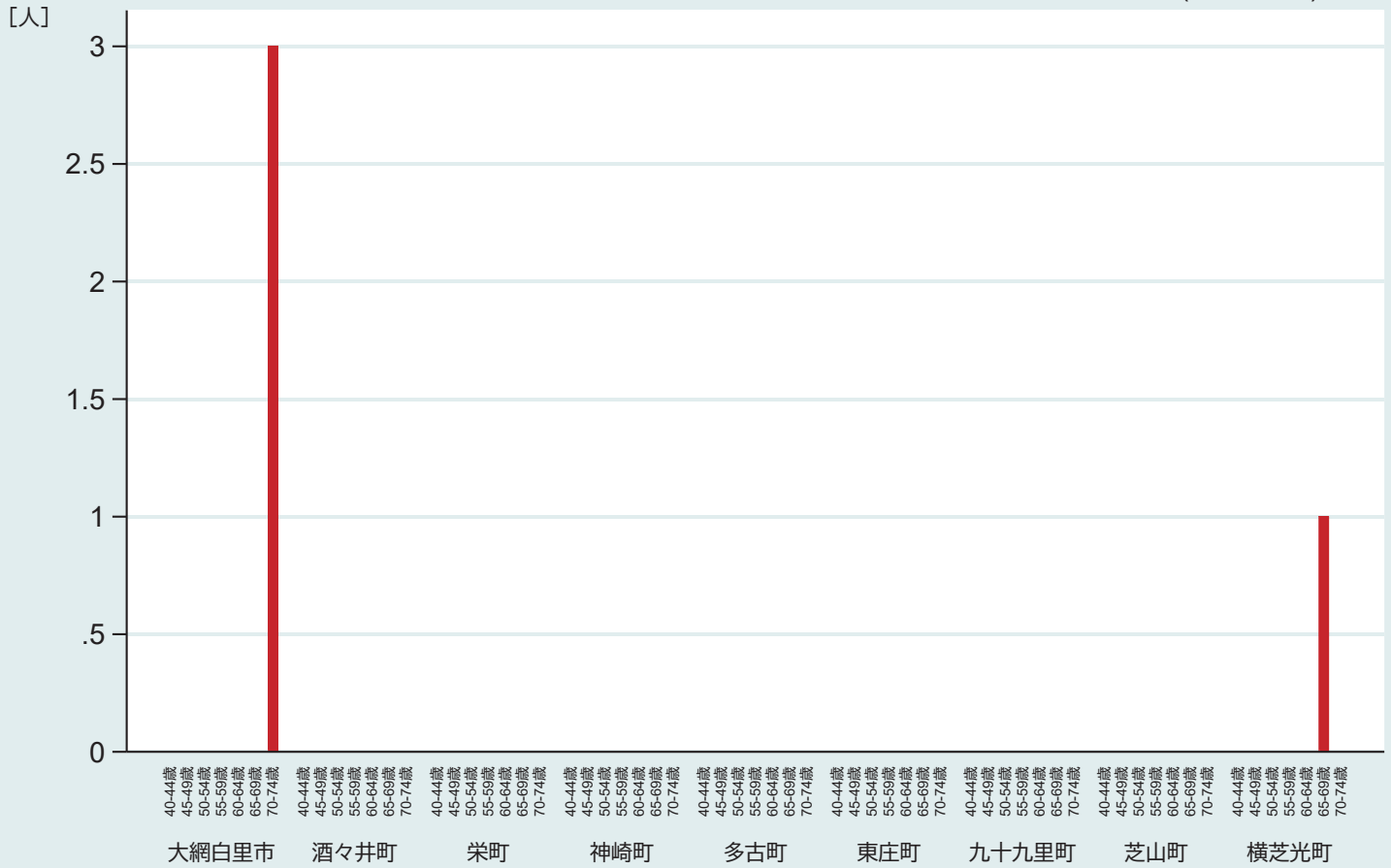
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別4・女性・年齢階級別】(2019年度)



2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別4・男性・年齢階級別】(2019年度)



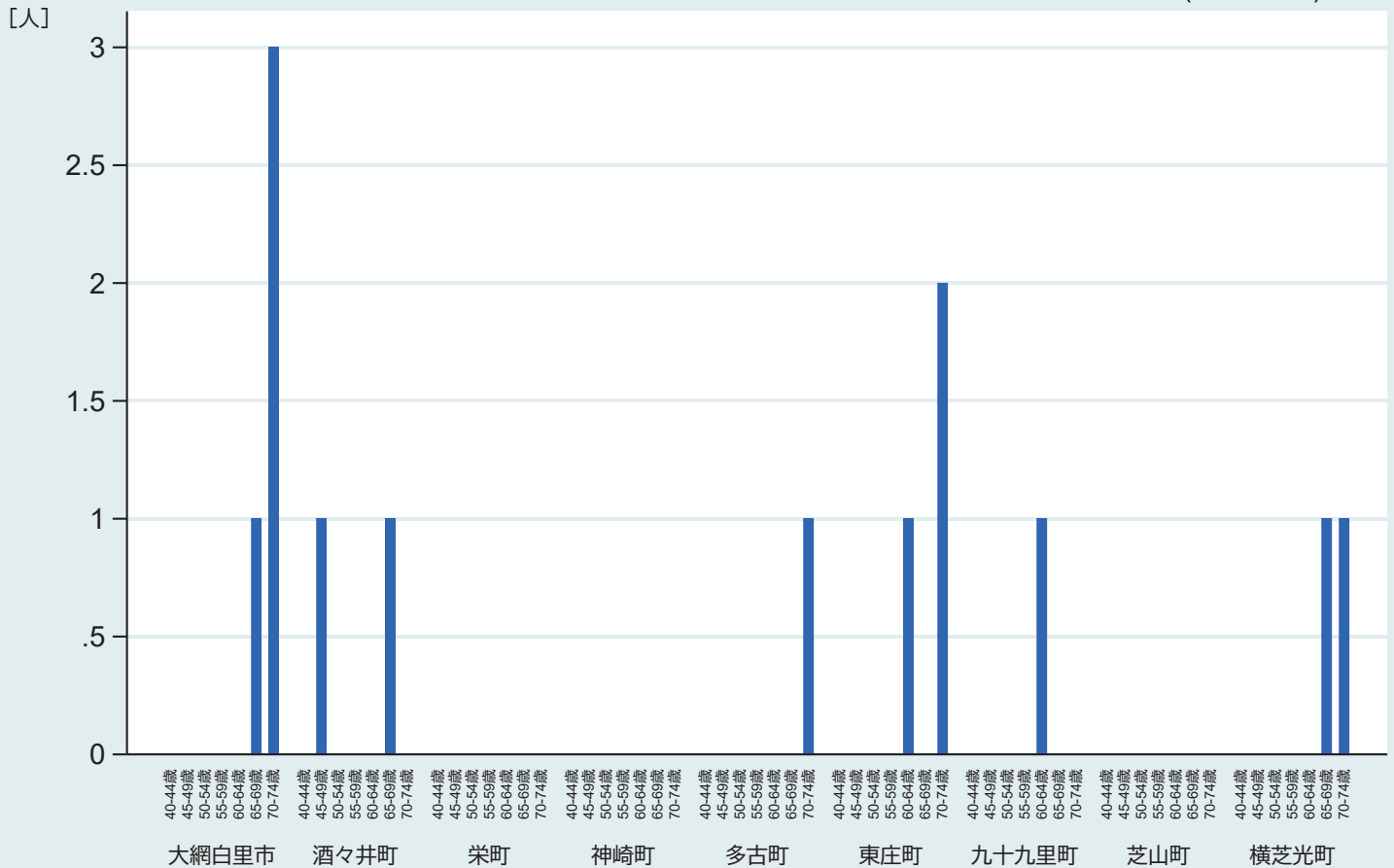
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別5・女性・年齢階級別】(2019年度)



「高血糖・腎機能低下」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」であり、「尿蛋白(±)以上」

または「血清クレアチニン検査でリスク要件にからない者のうち、eGFRが5ml/分/1.73m²以上低下、または1年間の低下率が25%以上の条件に該当する者」

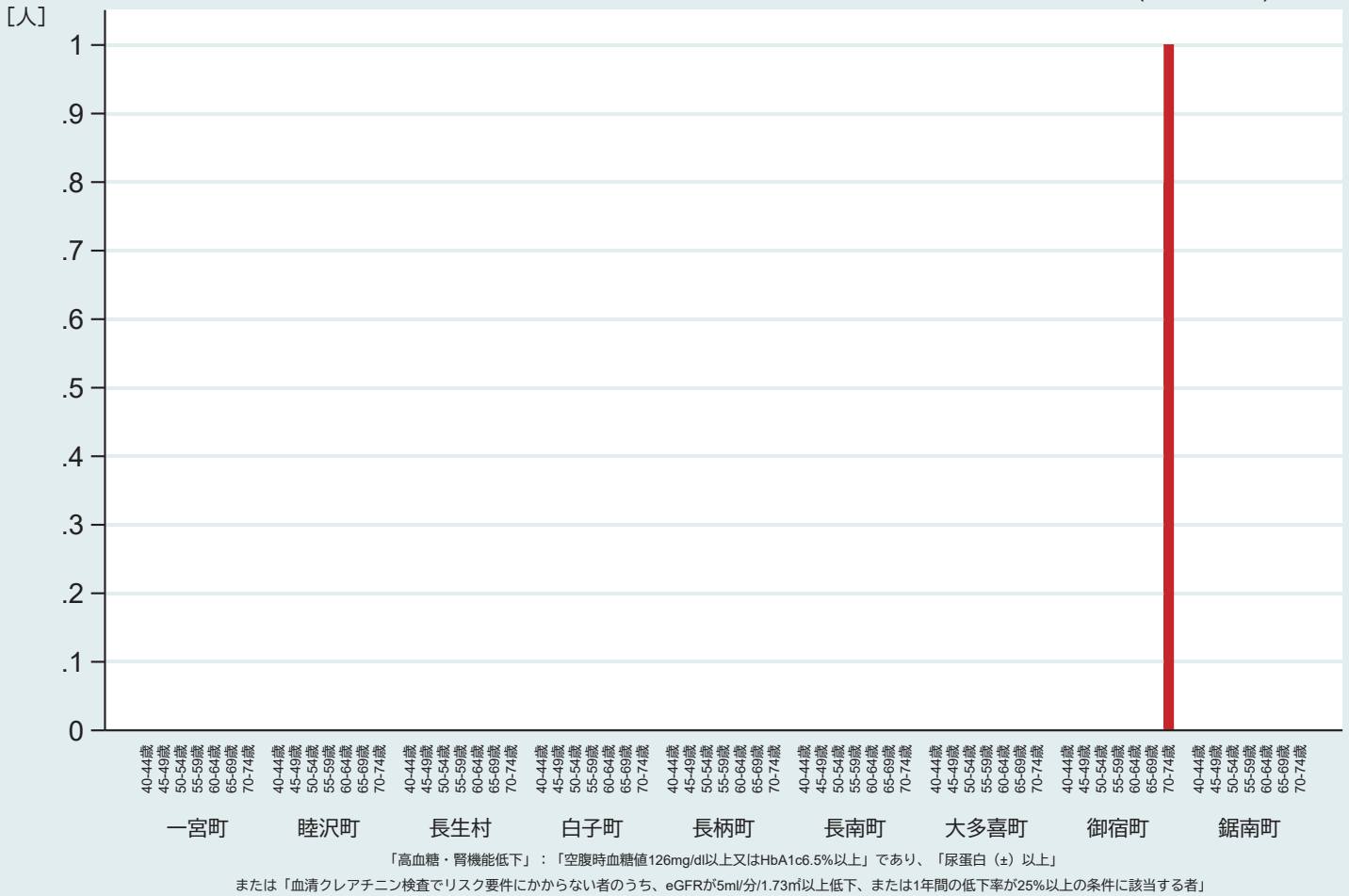
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別5・男性・年齢階級別】(2019年度)



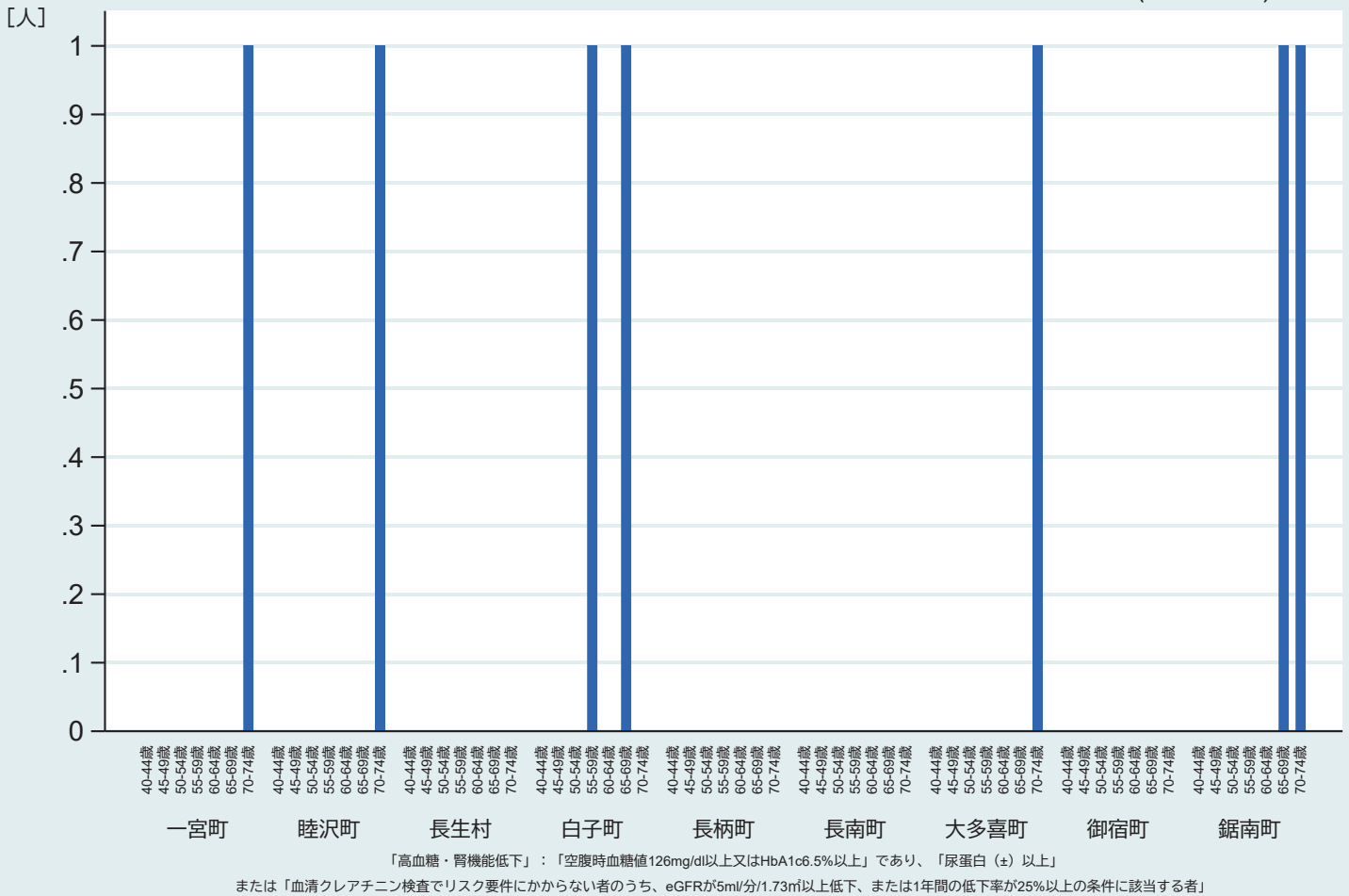
「高血糖・腎機能低下」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」であり、「尿蛋白(±)以上」

または「血清クレアチニン検査でリスク要件にからない者のうち、eGFRが5ml/分/1.73m²以上低下、または1年間の低下率が25%以上の条件に該当する者」

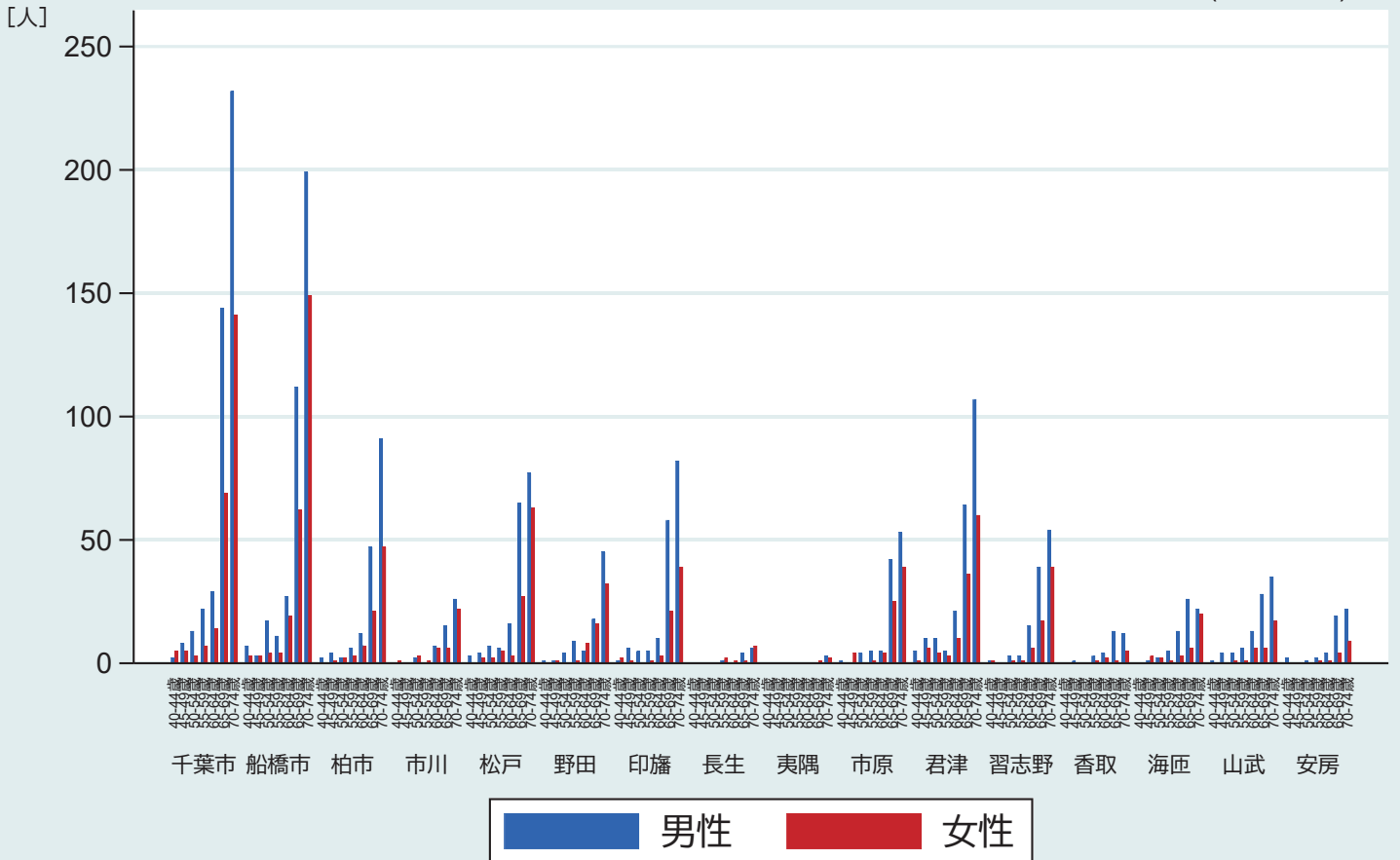
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別6・女性・年齢階級別】(2019年度)



2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【市町村別6・男性・年齢階級別】(2019年度)



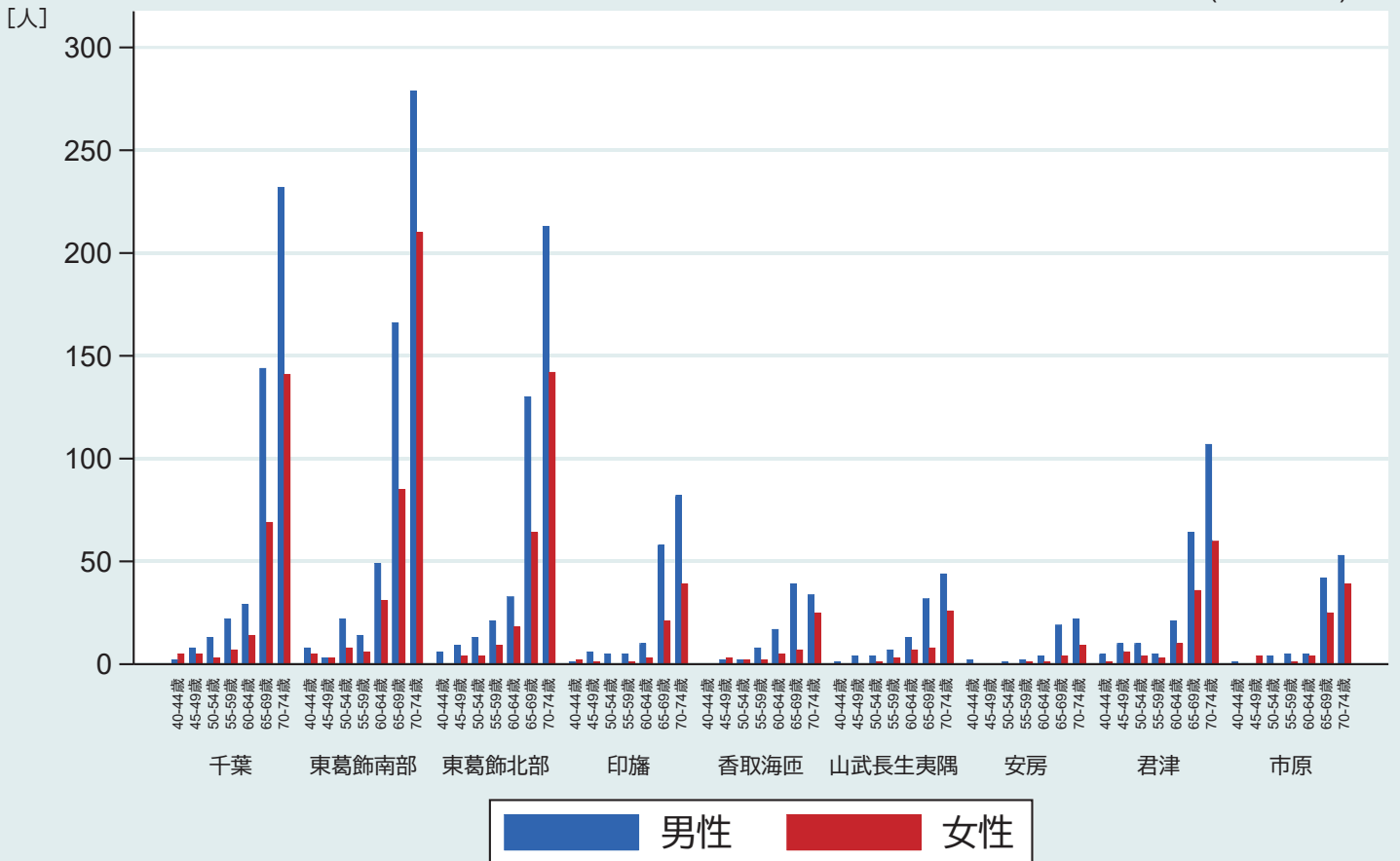
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【保健所圏域別・性別・年齢階級別】(2019年度)



「高血糖・腎機能低下」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」であり、「尿蛋白(±)以上」

または「血清クレアチニン検査でリスク要件にかからない者のうち、eGFRが5ml/分/1.73㎡以上低下、または1年間の低下率が25%以上の条件に該当する者」

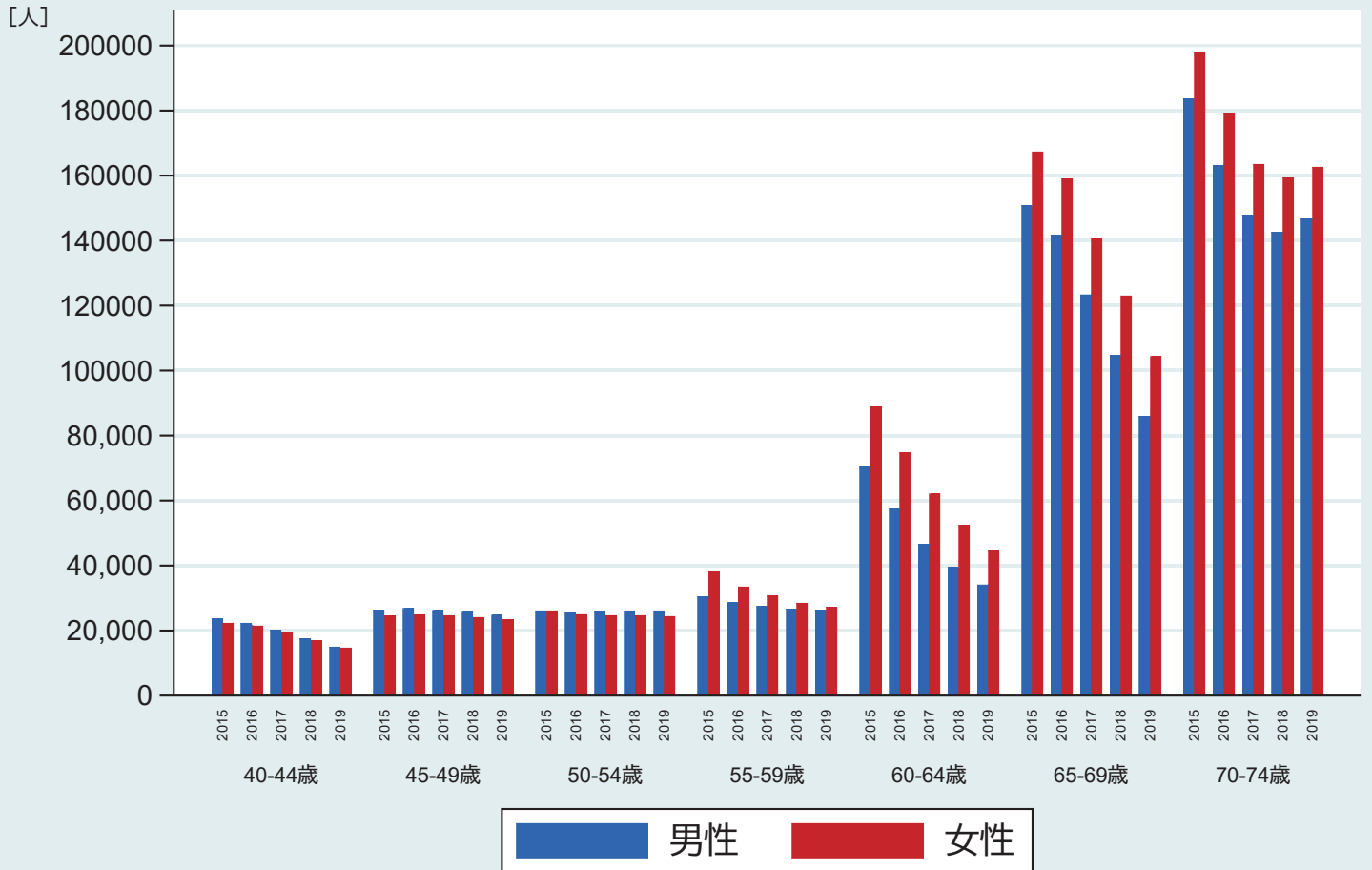
2-9. 高血糖・腎機能低下あり・未治療の者【2次医療圏別・性別・年齢階級別】(2019年度)



「高血糖・腎機能低下」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」であり、「尿蛋白(±)以上」

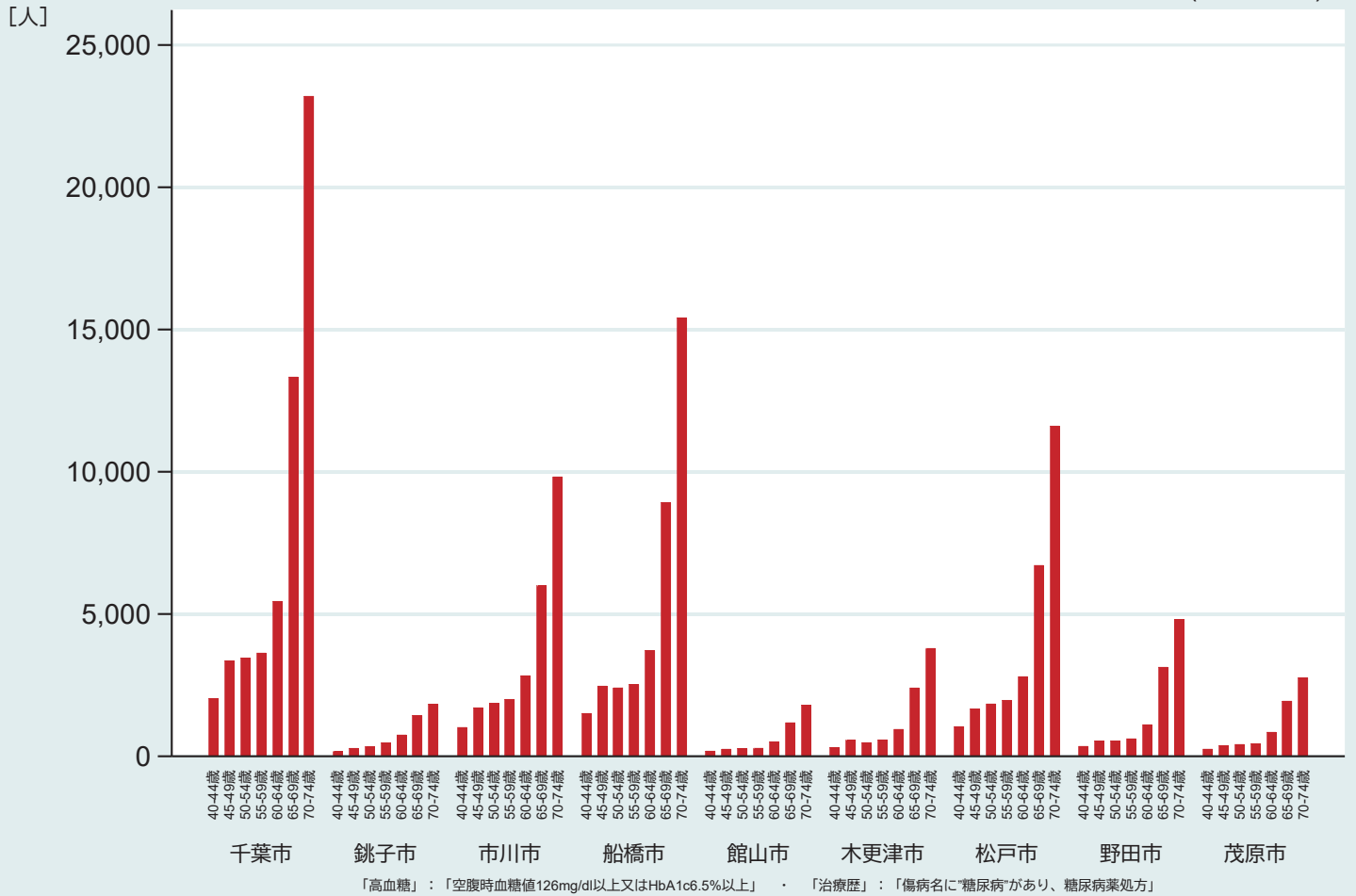
または「血清クレアチニン検査でリスク要件にかからない者のうち、eGFRが5ml/分/1.73㎡以上低下、または1年間の低下率が25%以上の条件に該当する者」

2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【県全体・年度推移】

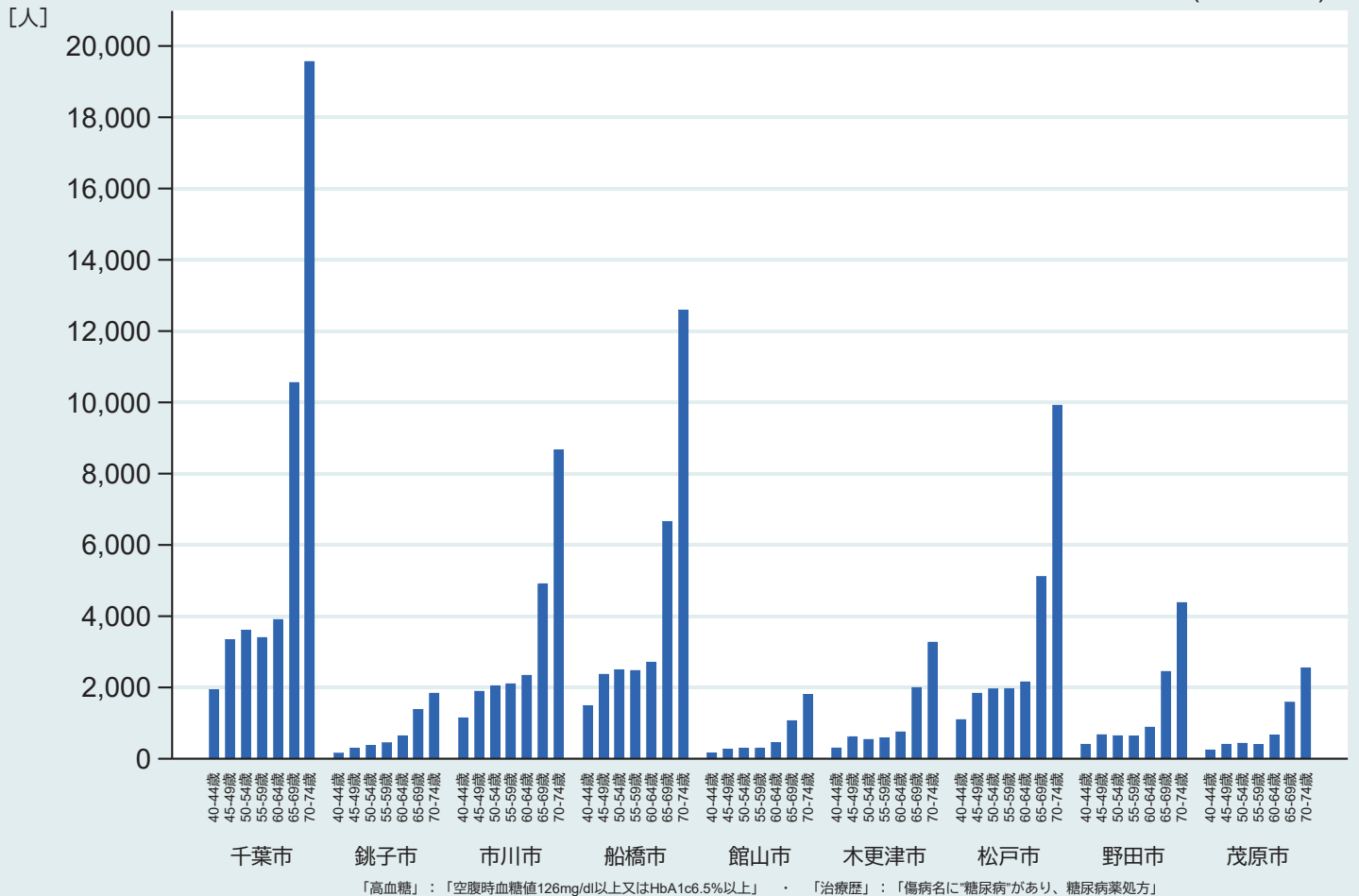


「高血糖」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」 ・ 「治療歴」：「傷病名に“糖尿病”があり、糖尿病薬処方」

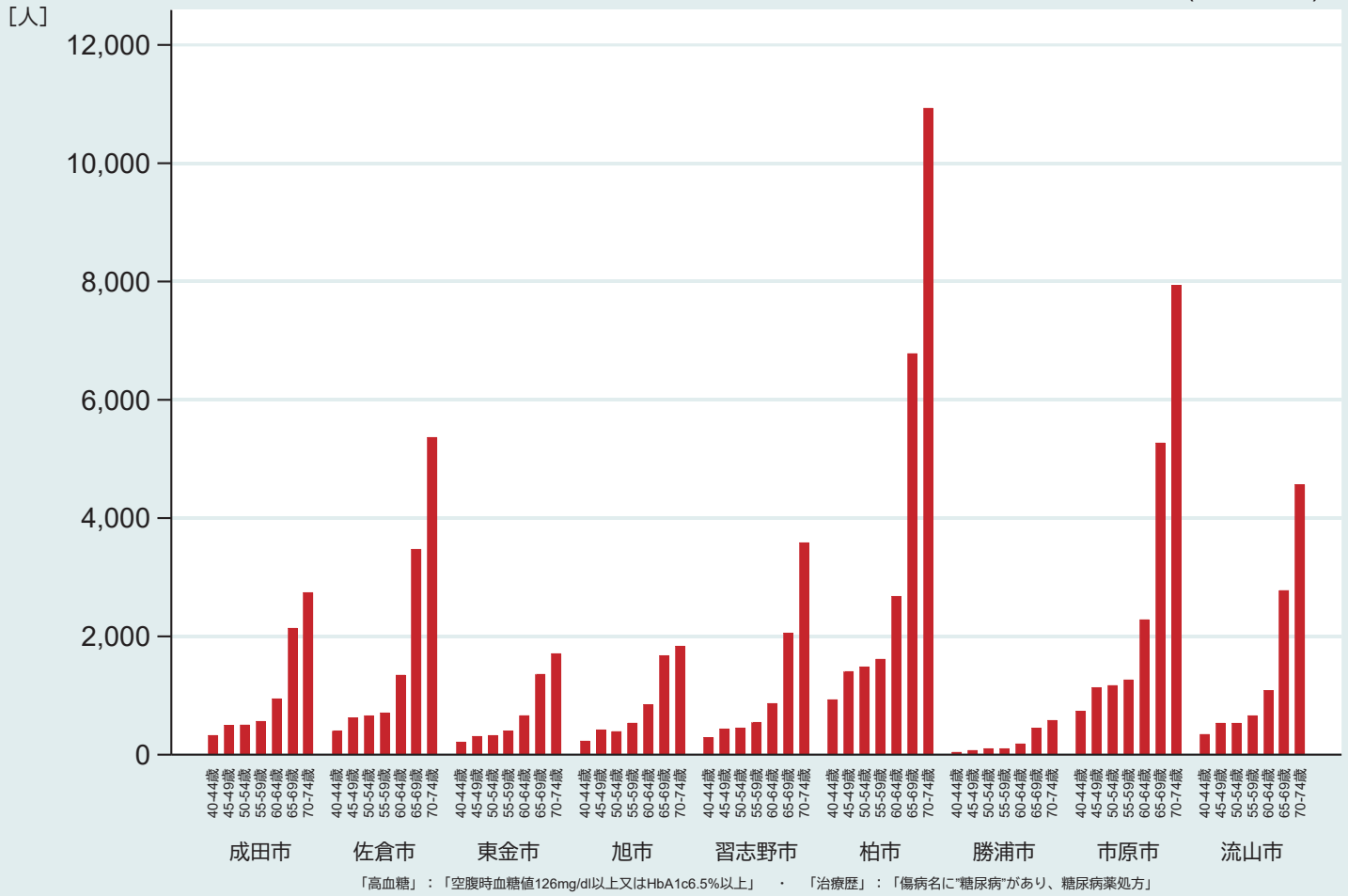
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別1・女性・年齢階級別】(2019年度)



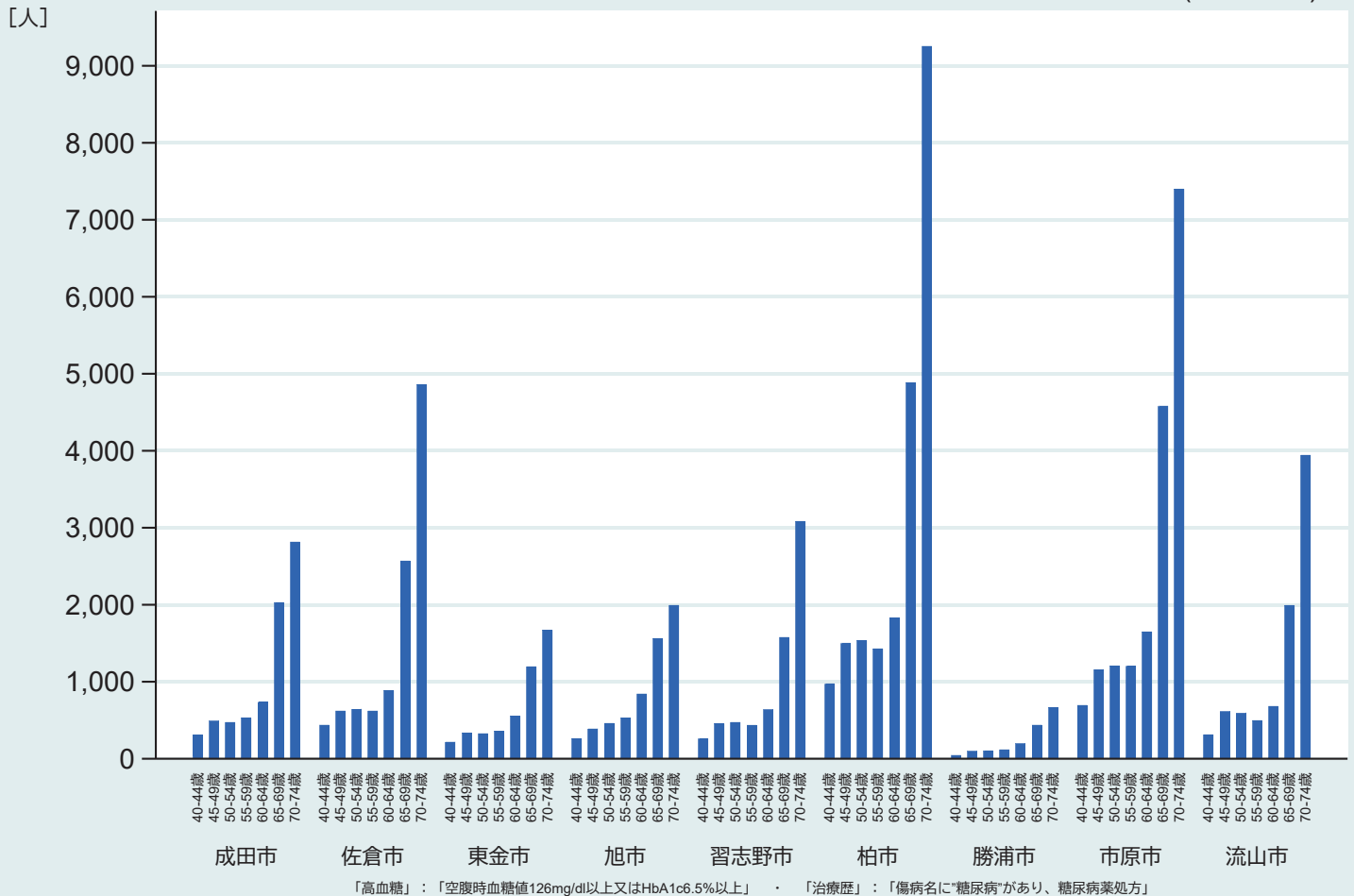
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別1・男性・年齢階級別】(2019年度)



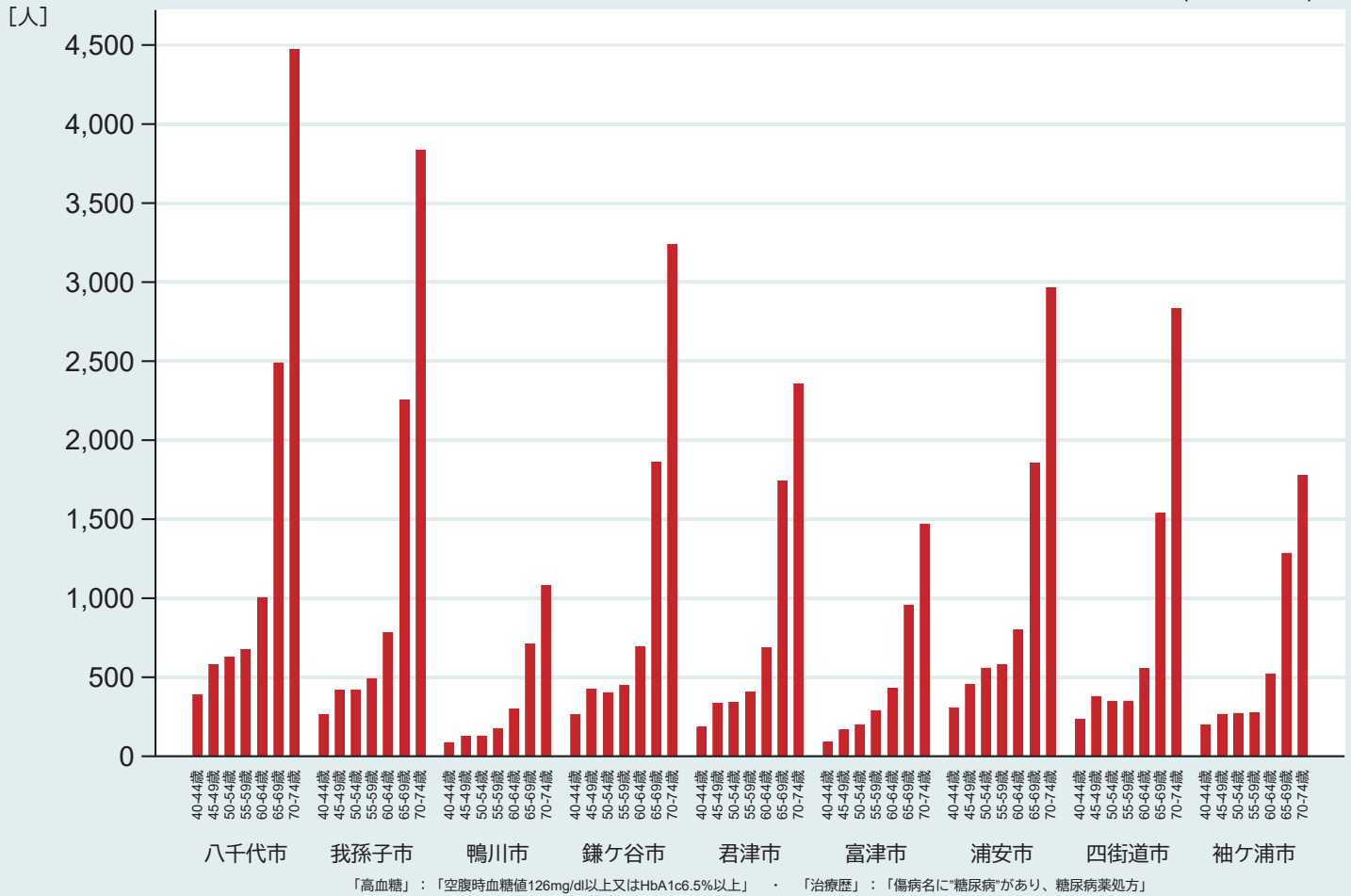
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別2・女性・年齢階級別】(2019年度)



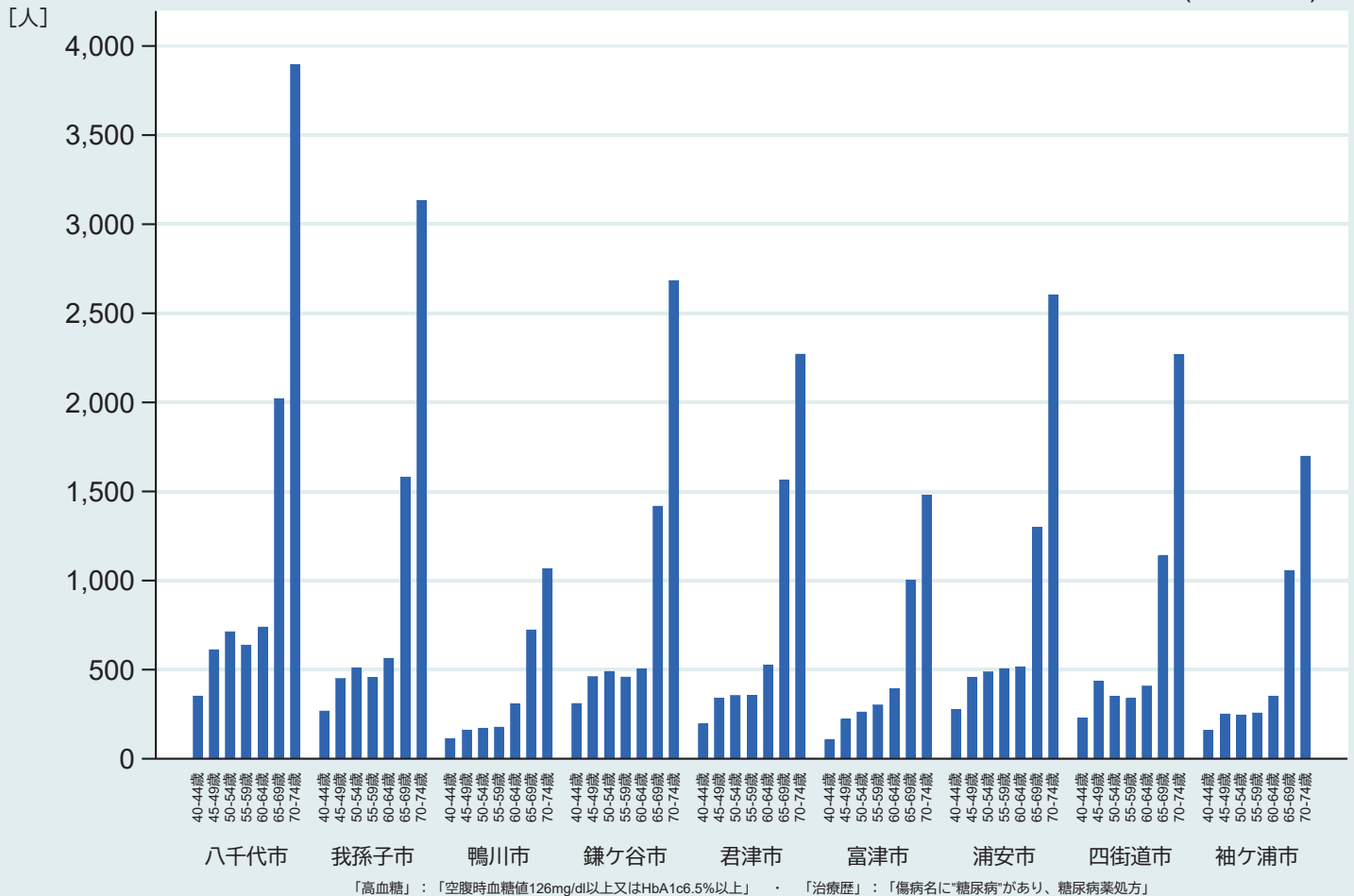
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別2・男性・年齢階級別】(2019年度)



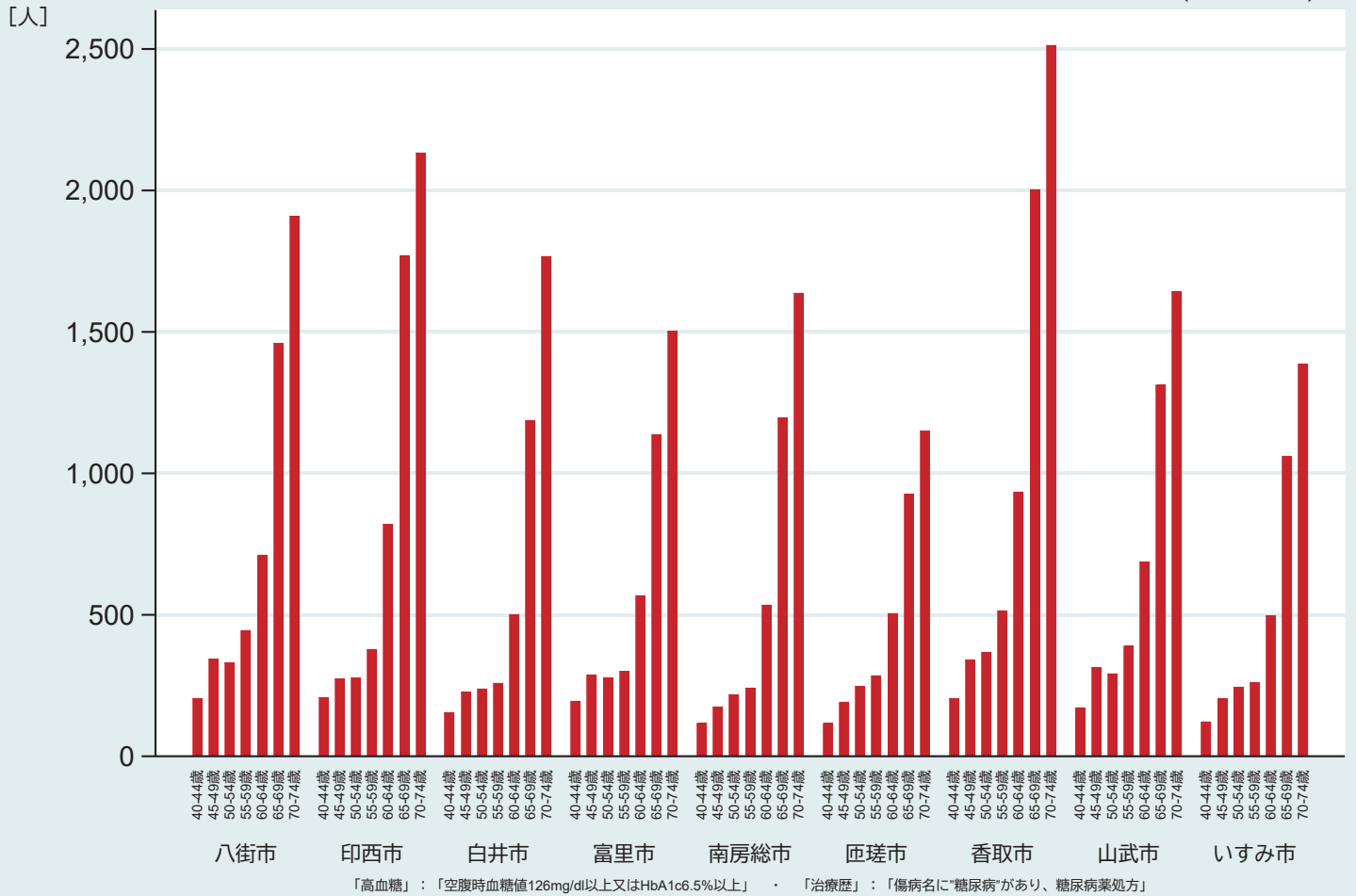
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別3・女性・年齢階級別】(2019年度)



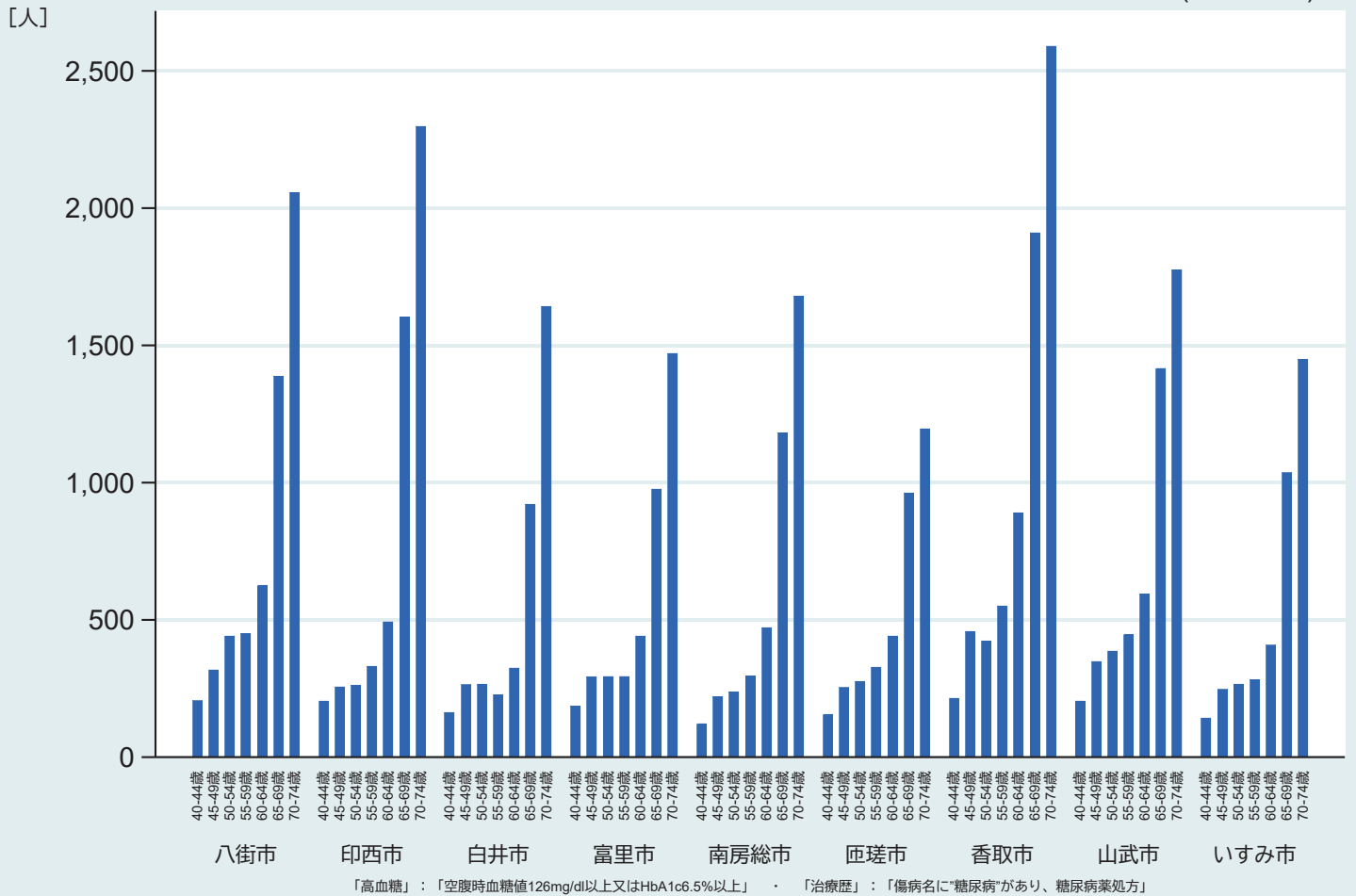
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別3・男性・年齢階級別】(2019年度)



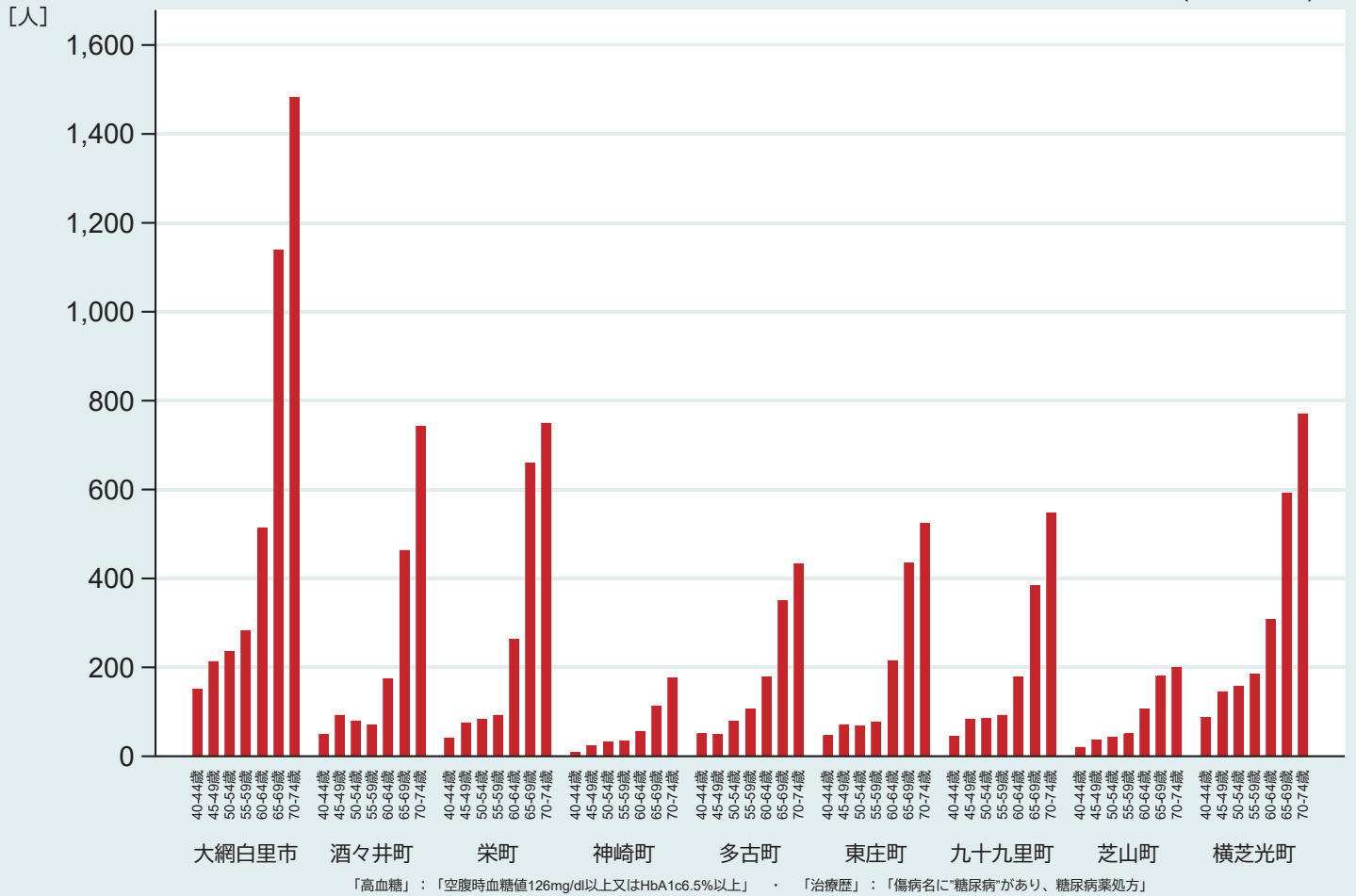
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別4・女性・年齢階級別】(2019年度)



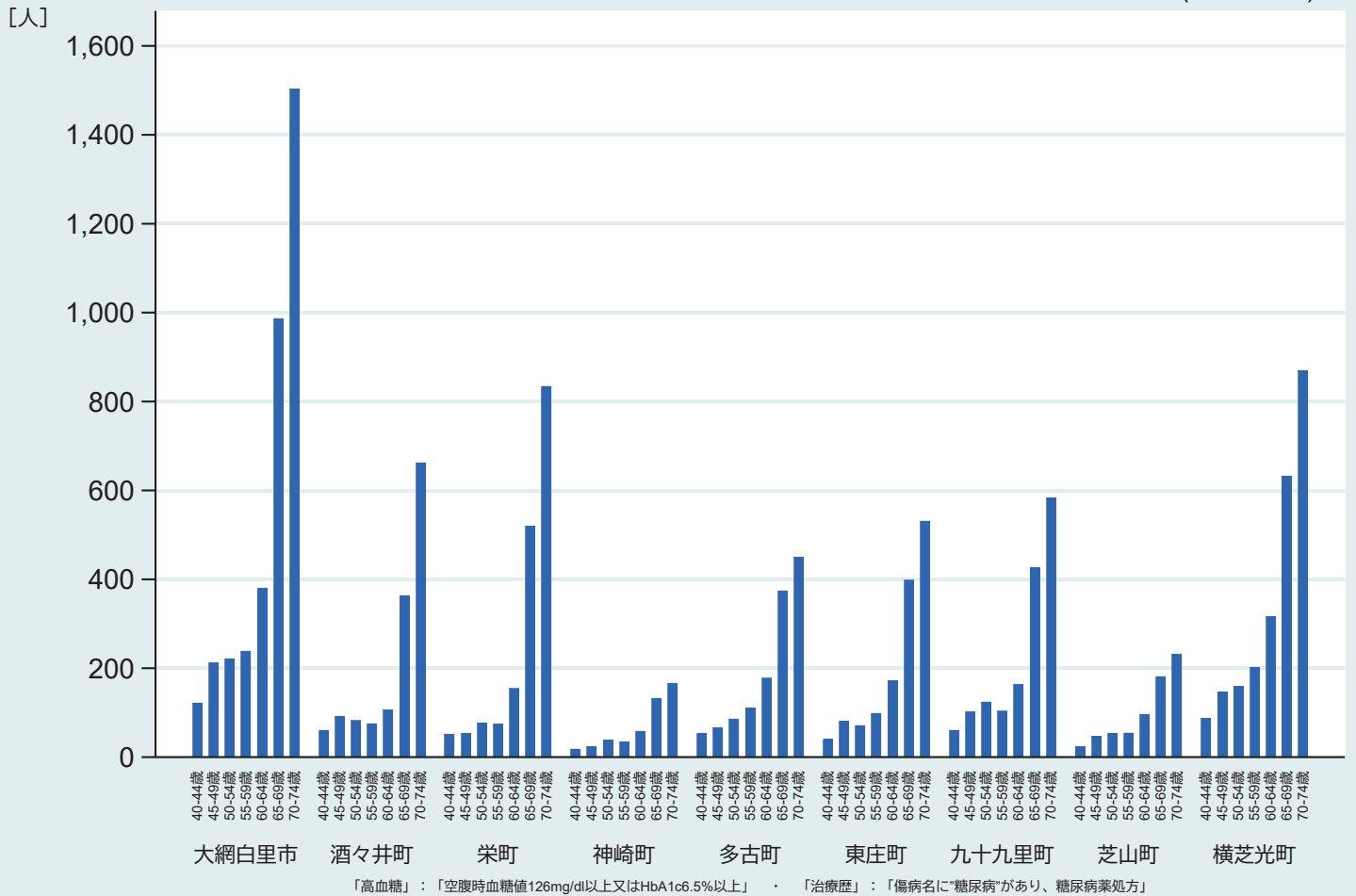
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別4・男性・年齢階級別】(2019年度)



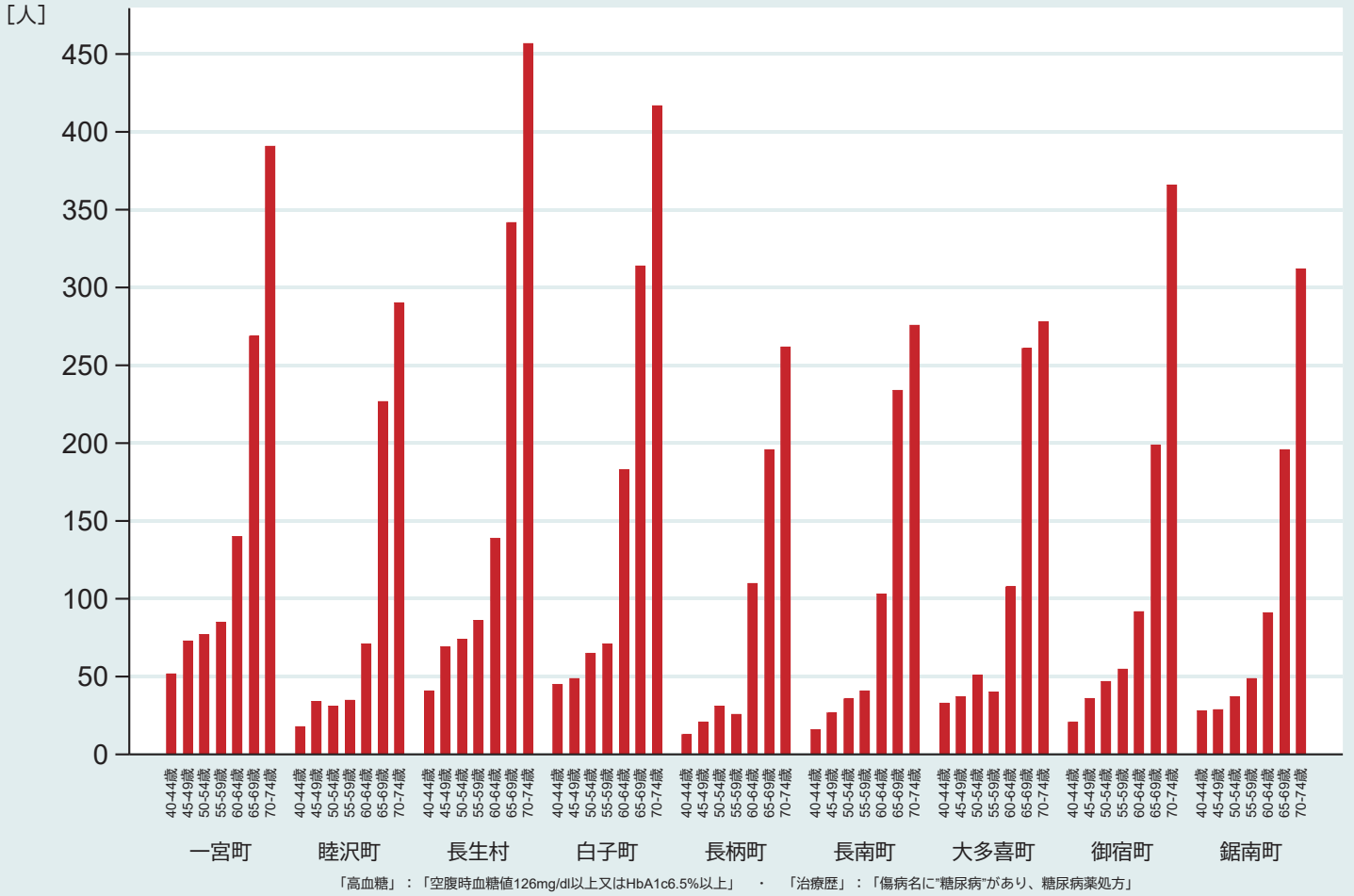
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別5・女性・年齢階級別】(2019年度)



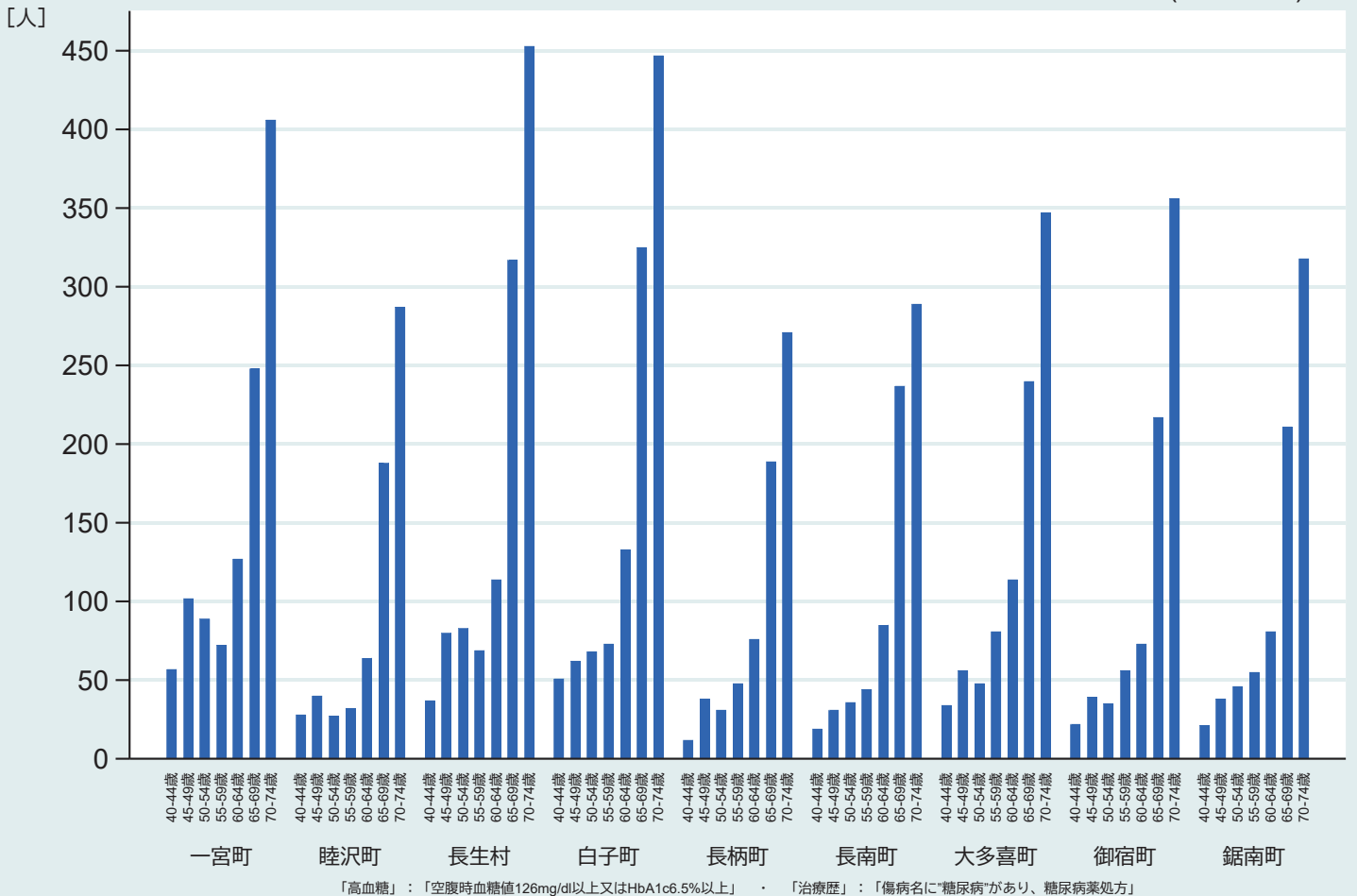
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別5・男性・年齢階級別】(2019年度)



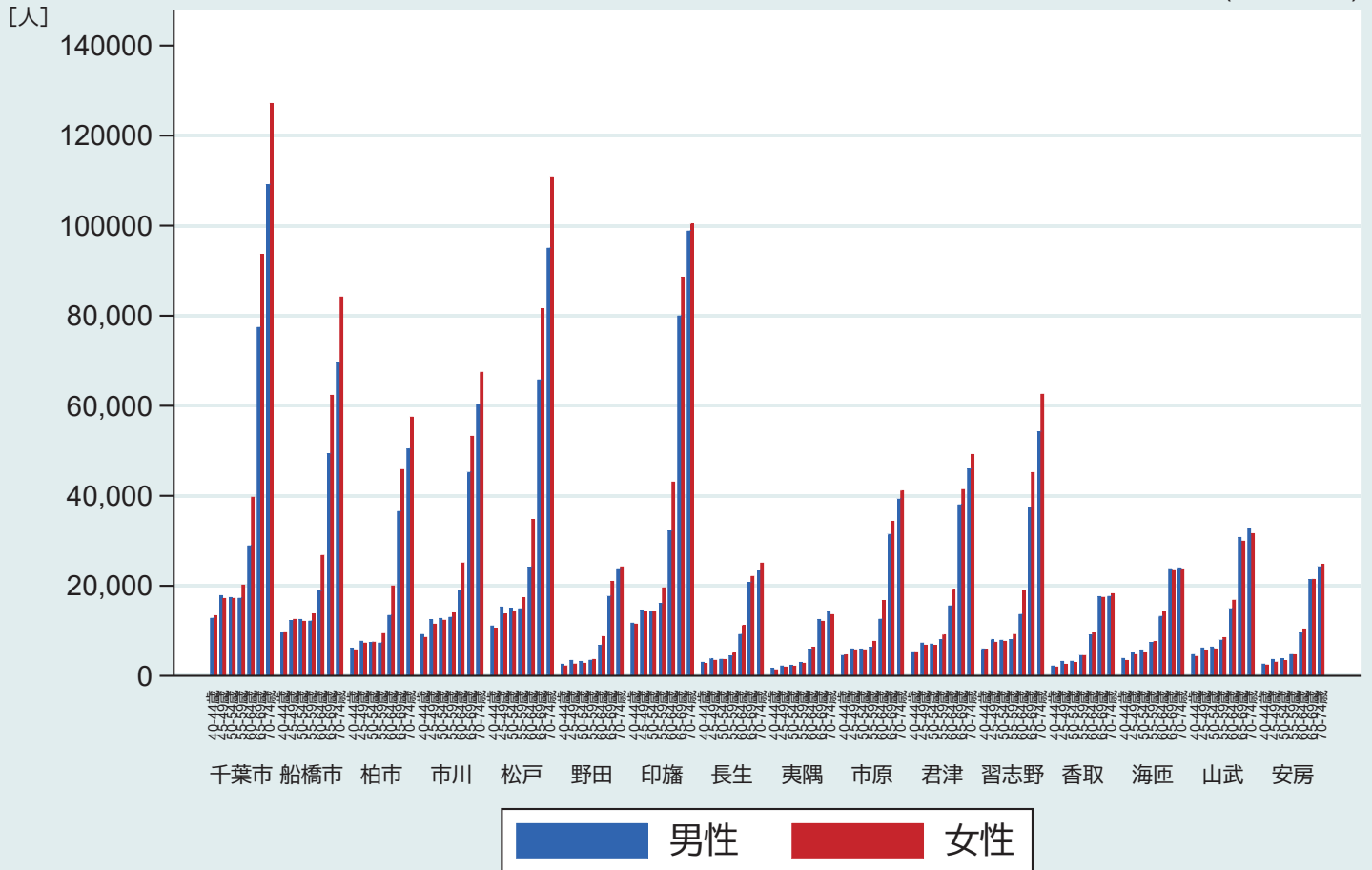
2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別6・女性・年齢階級別】(2019年度)



2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【市町村別6・男性・年齢階級別】(2019年度)

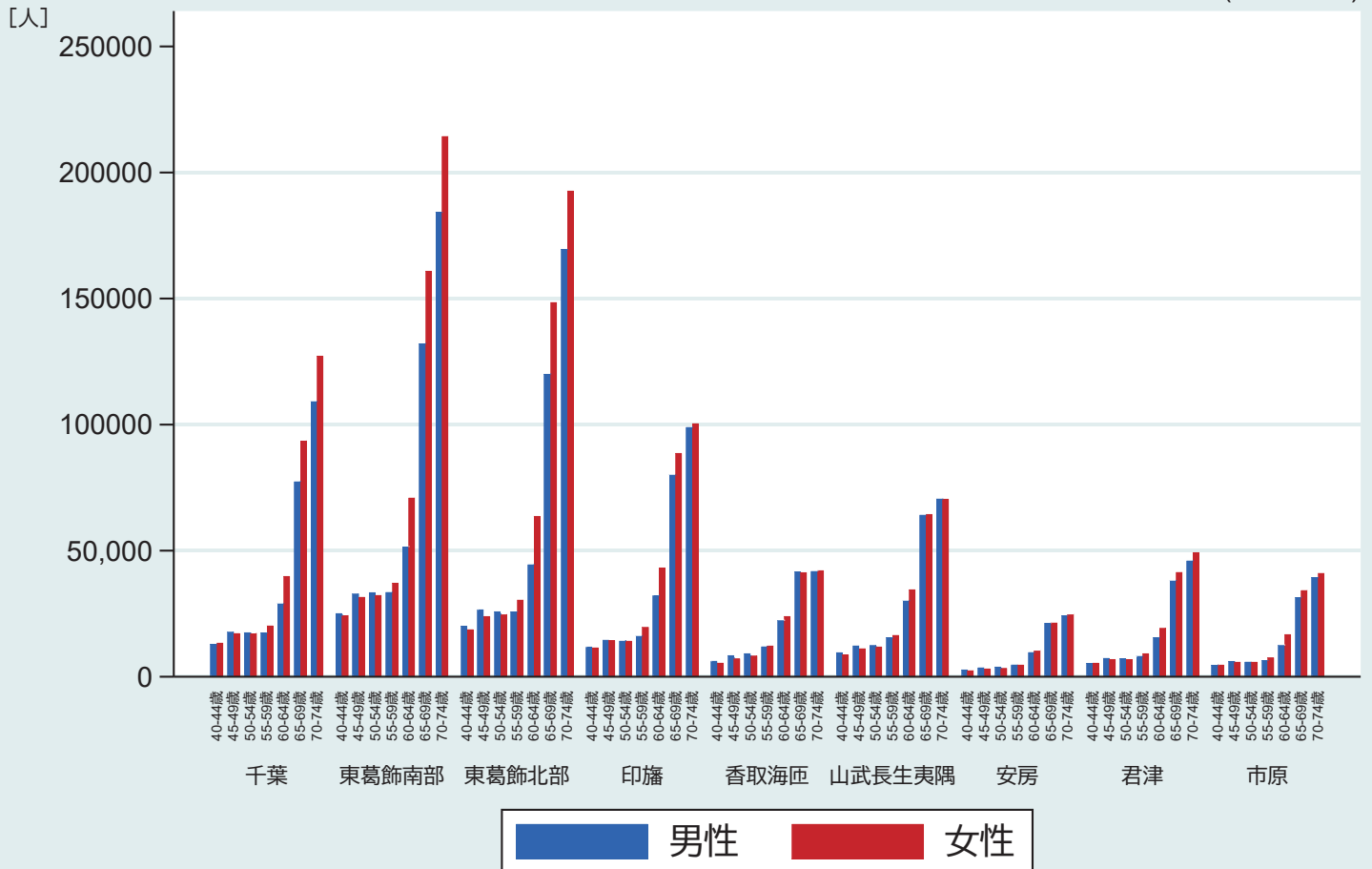


2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【保健所圏域別・性別・年齢階級別】(2019年度)



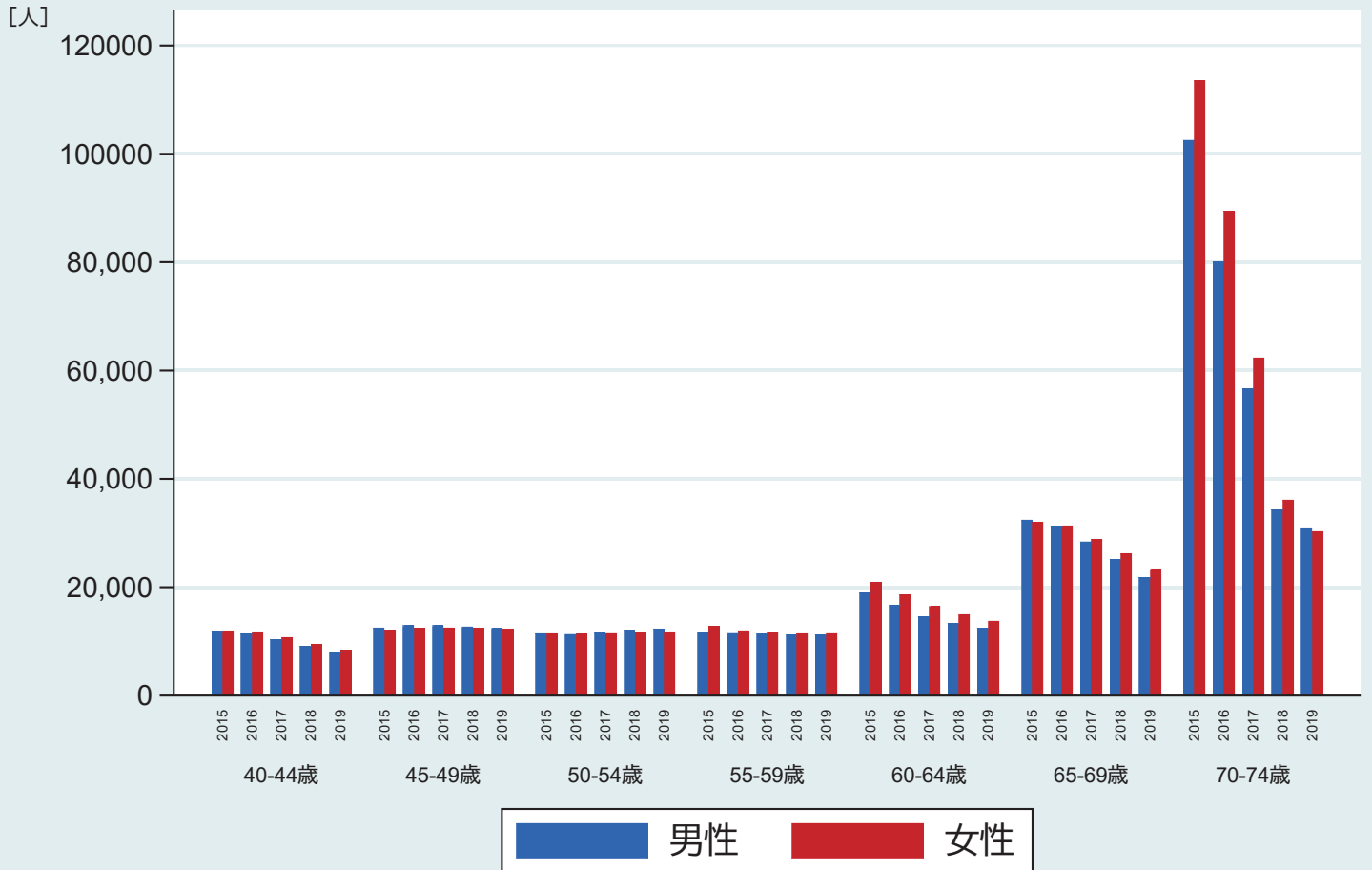
「高血糖」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」 ・ 「治療歴」：「傷病名に“糖尿病”があり、糖尿病薬処方」

2-10.糖尿病治療歴あり・健診にて高血糖の者【2次医療圏別・性別・年齢階級別】(2019年度)



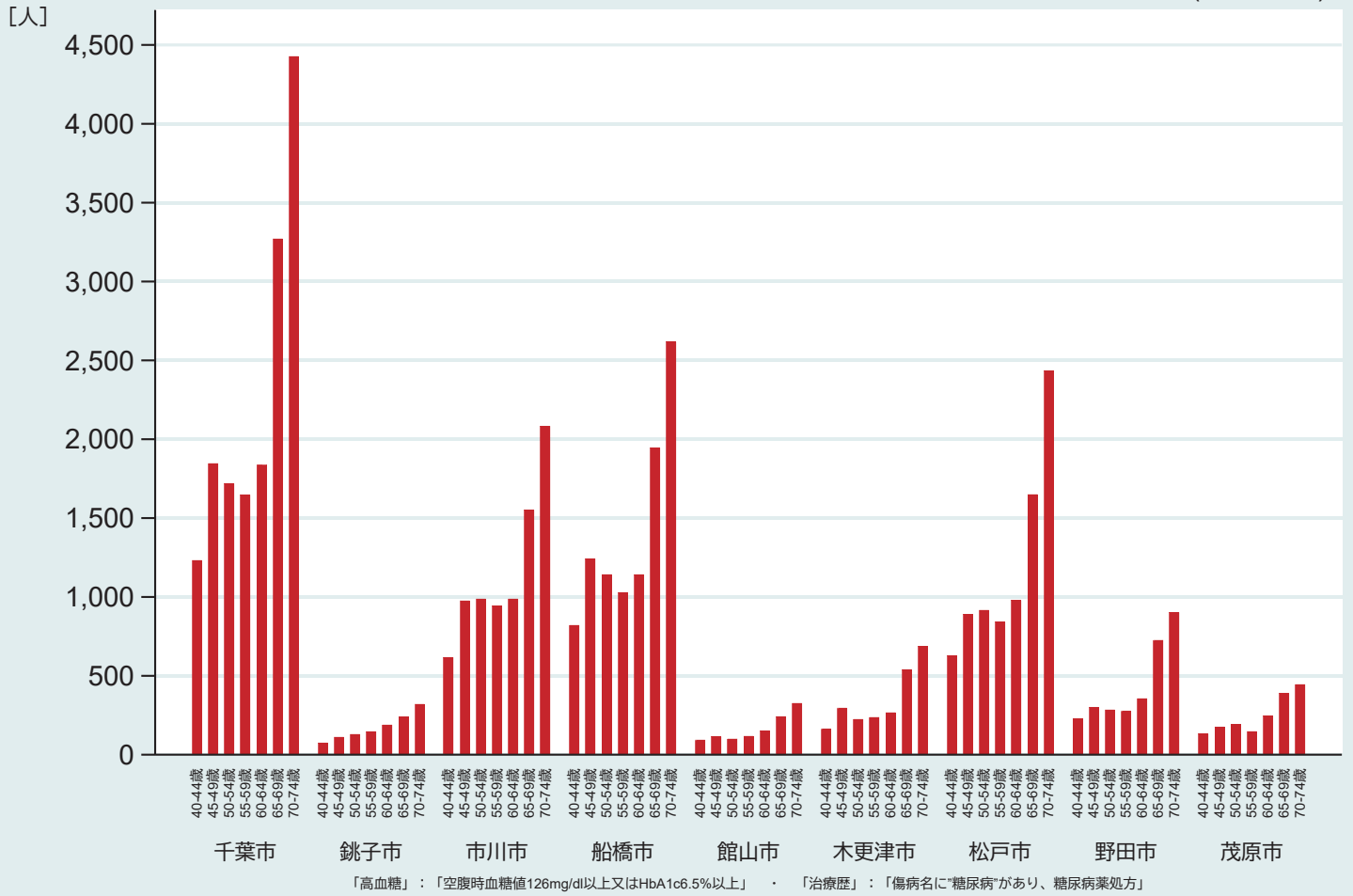
「高血糖」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」 ・ 「治療歴」：「傷病名に“糖尿病”があり、糖尿病薬処方」

2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【県全体・年度推移】

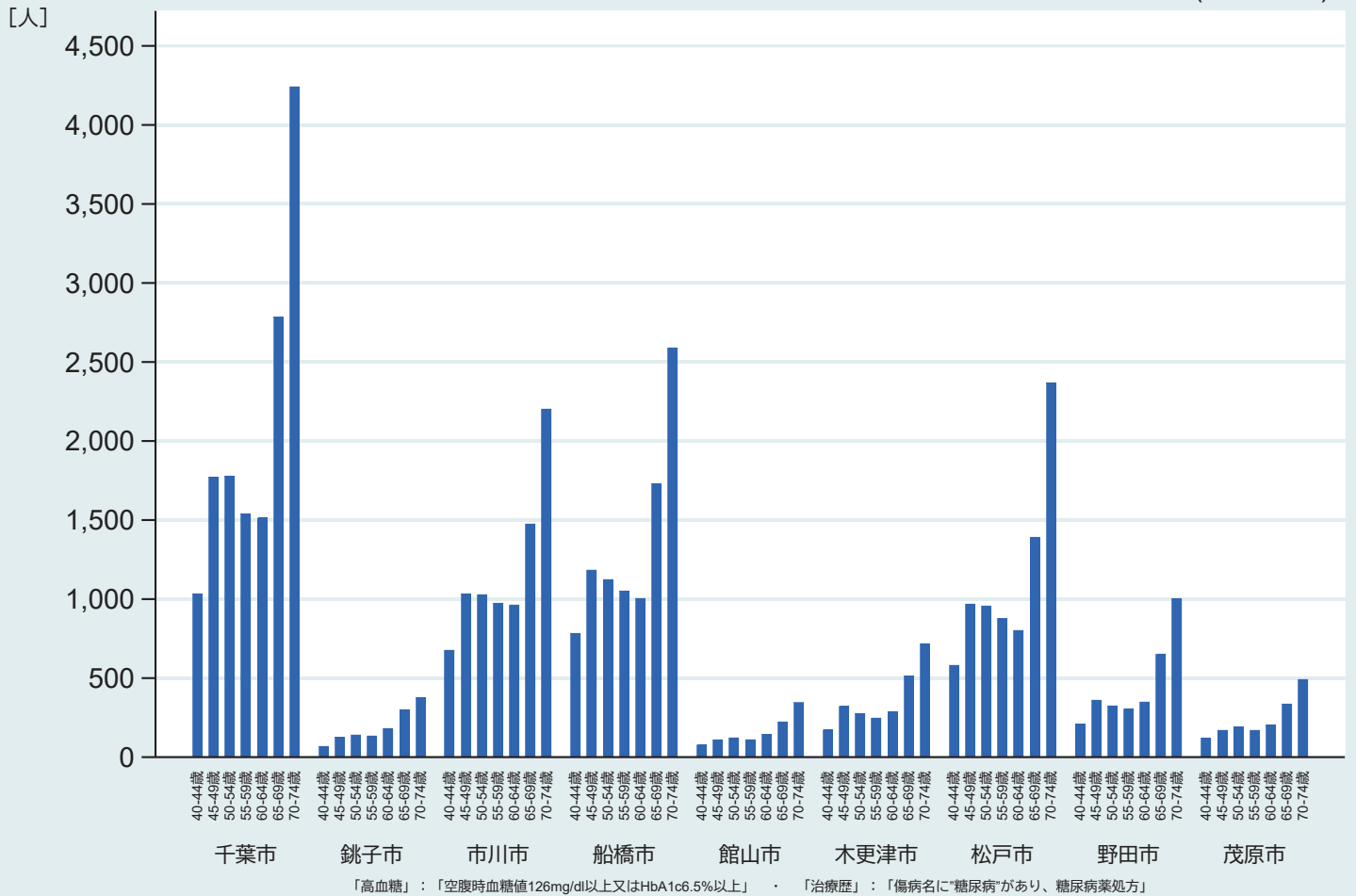


「高血糖」：「空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上」 ・ 「治療歴」：「傷病名に“糖尿病”があり、糖尿病薬処方」

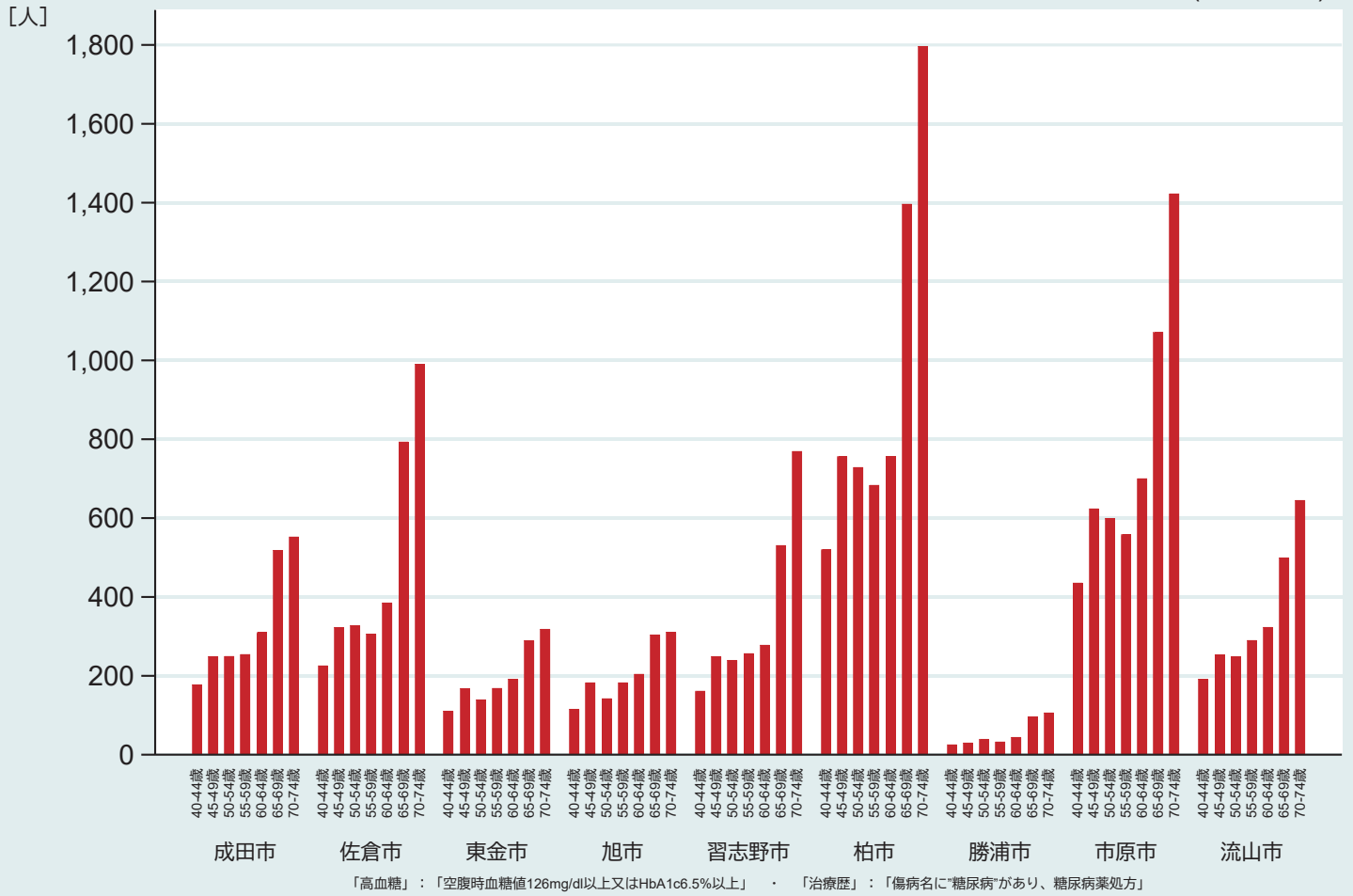
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別1・女性・年齢階級別】(2019年度)



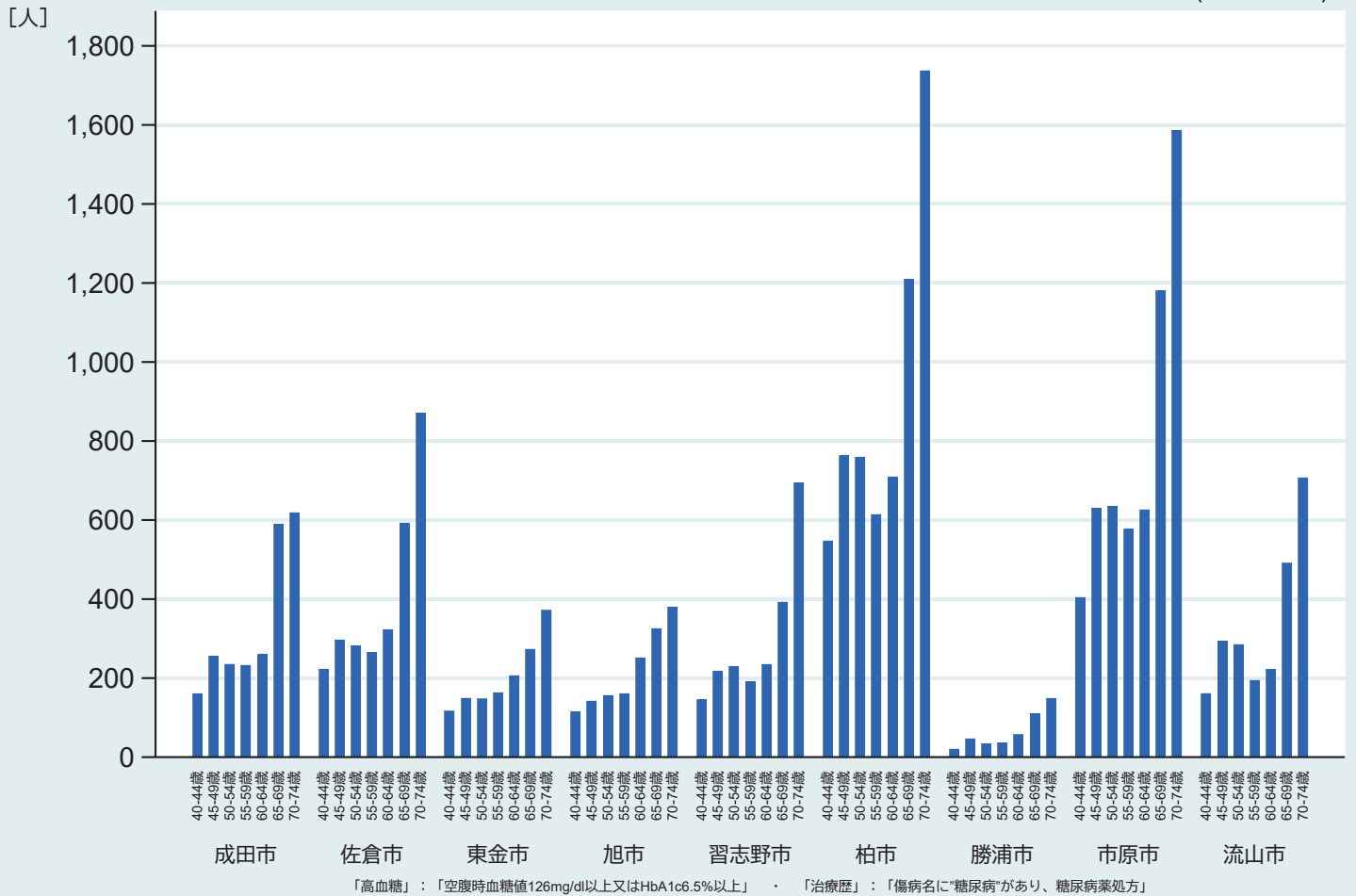
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別1・男性・年齢階級別】(2019年度)



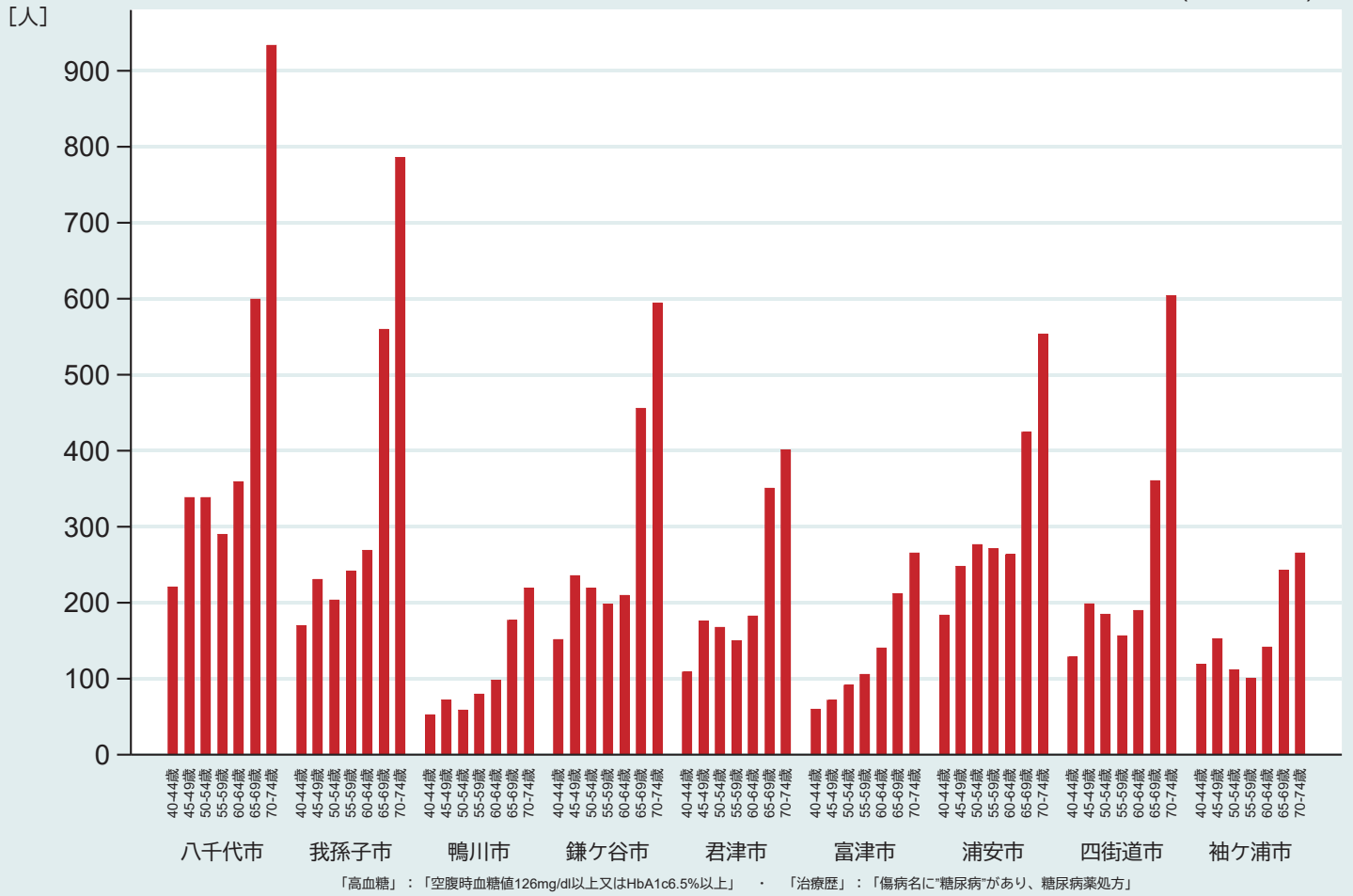
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別2・女性・年齢階級別】(2019年度)



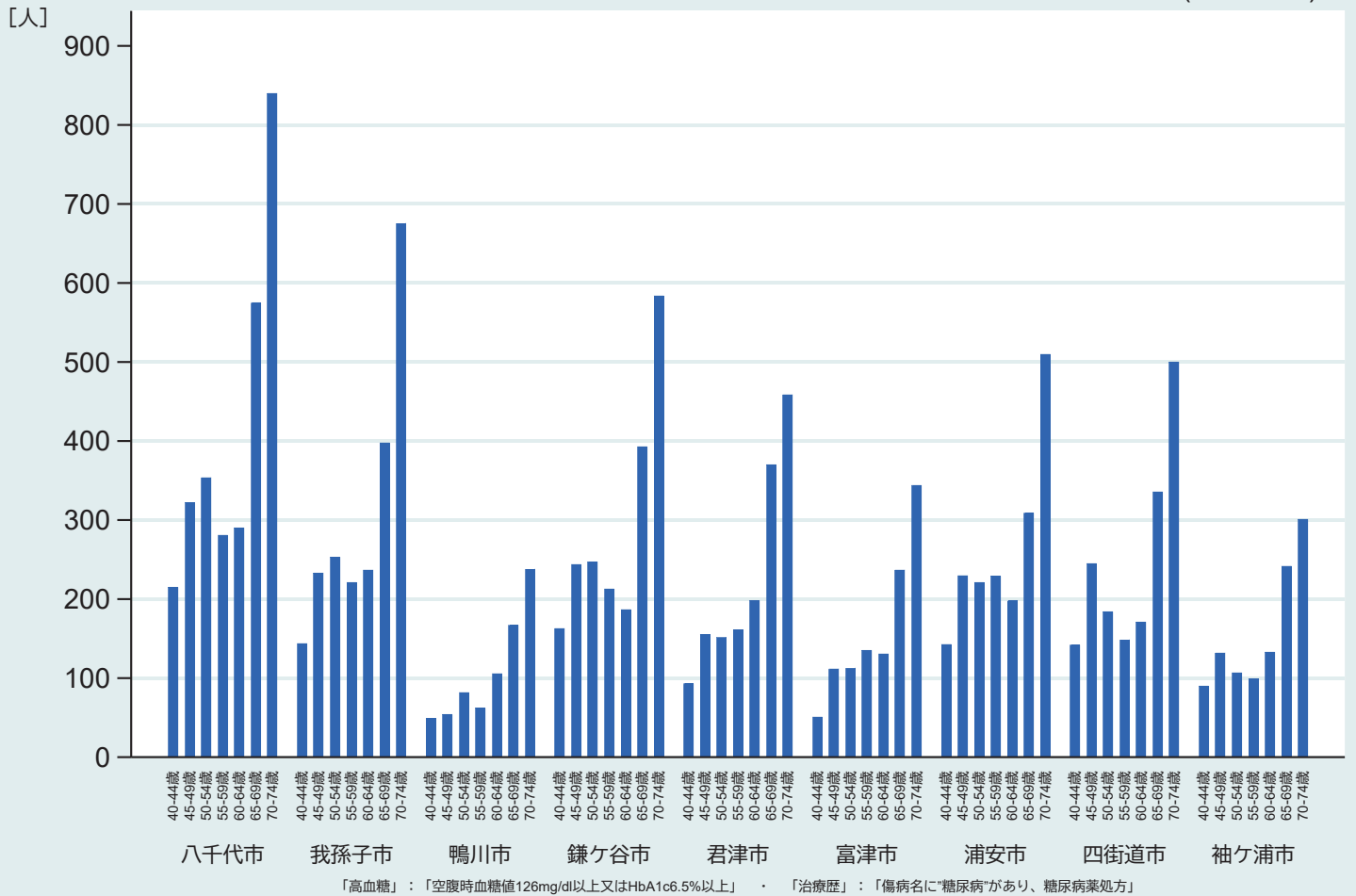
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別2・男性・年齢階級別】(2019年度)



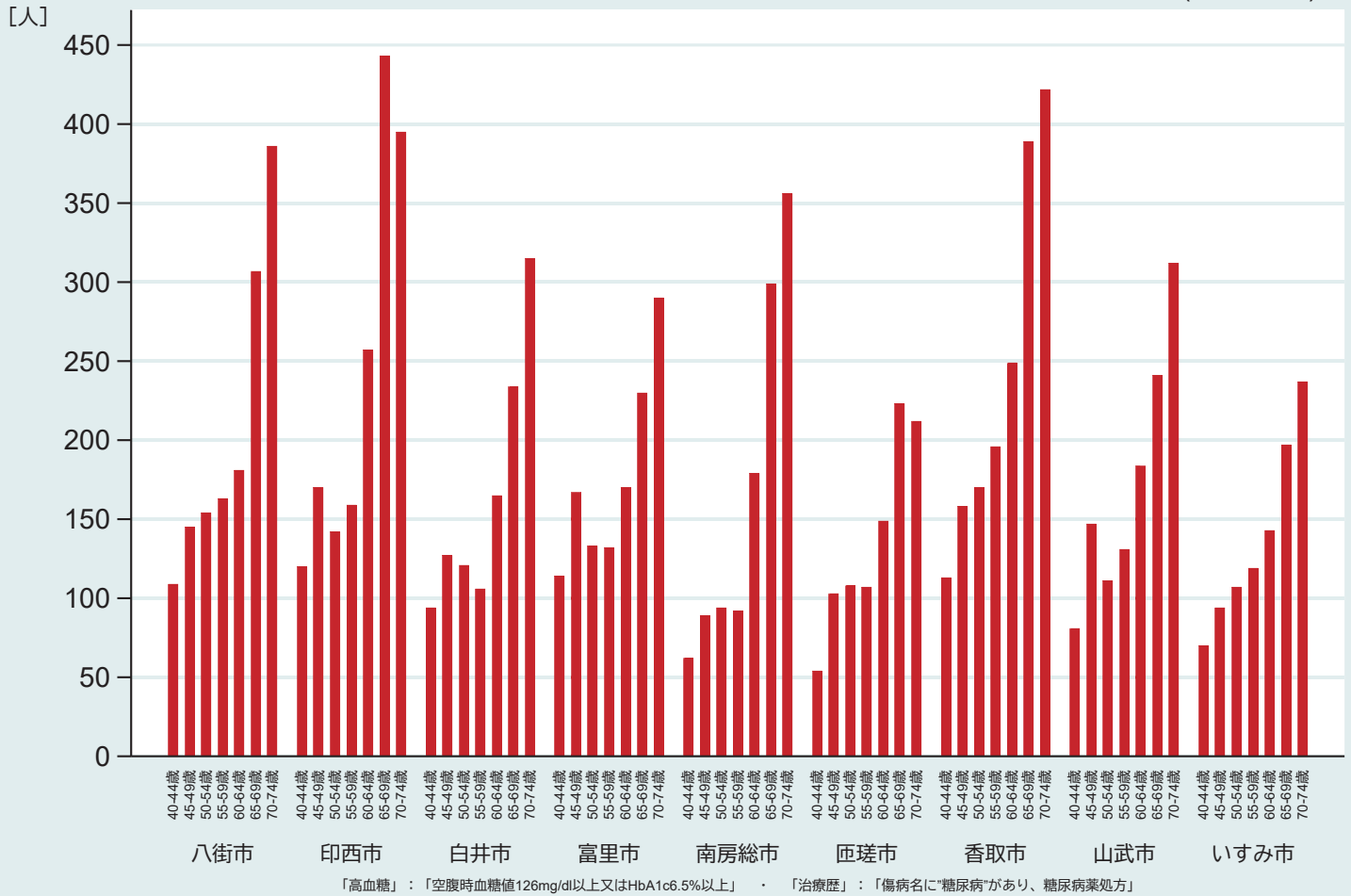
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別3・女性・年齢階級別】(2019年度)



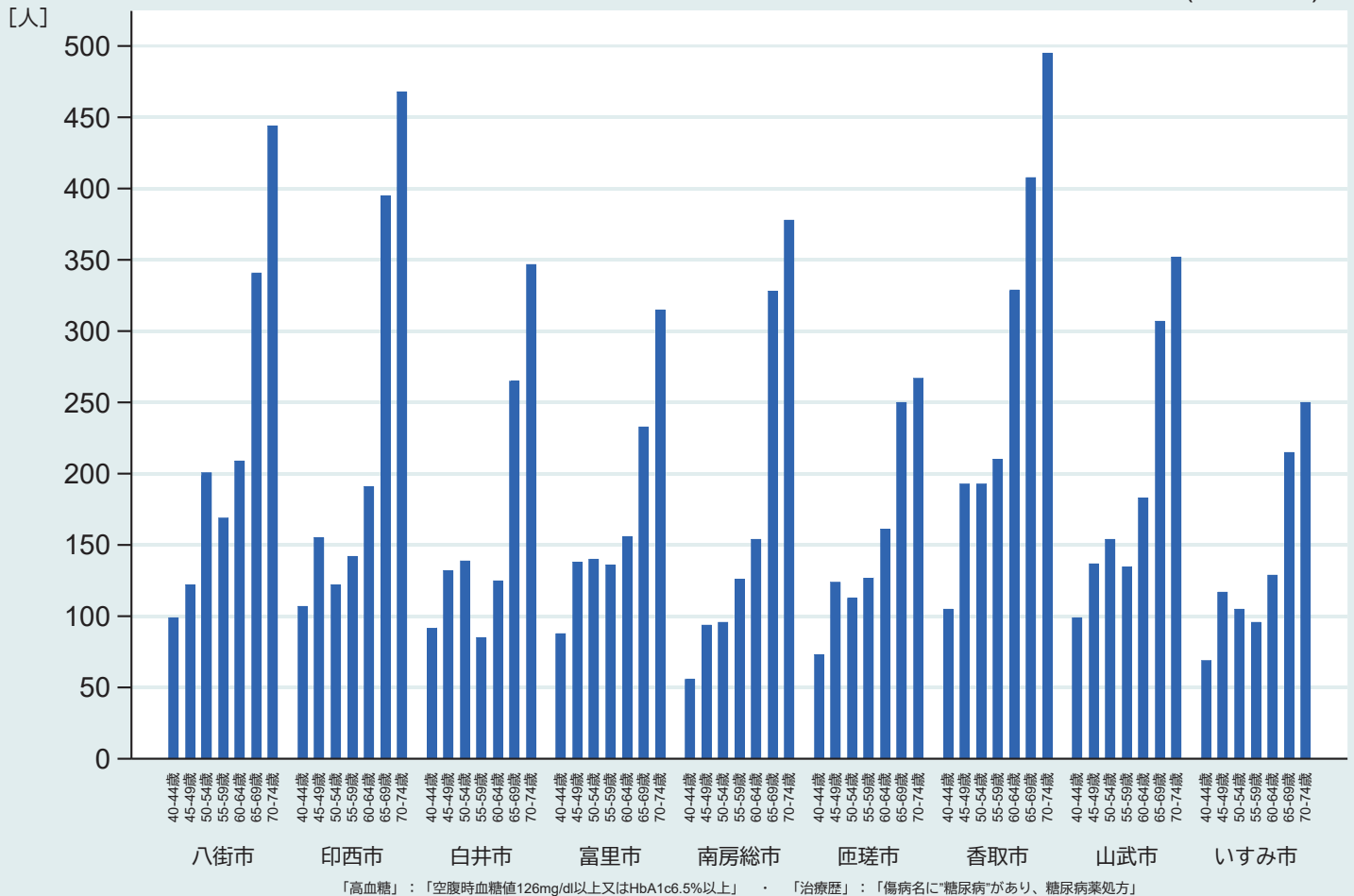
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別3・男性・年齢階級別】(2019年度)



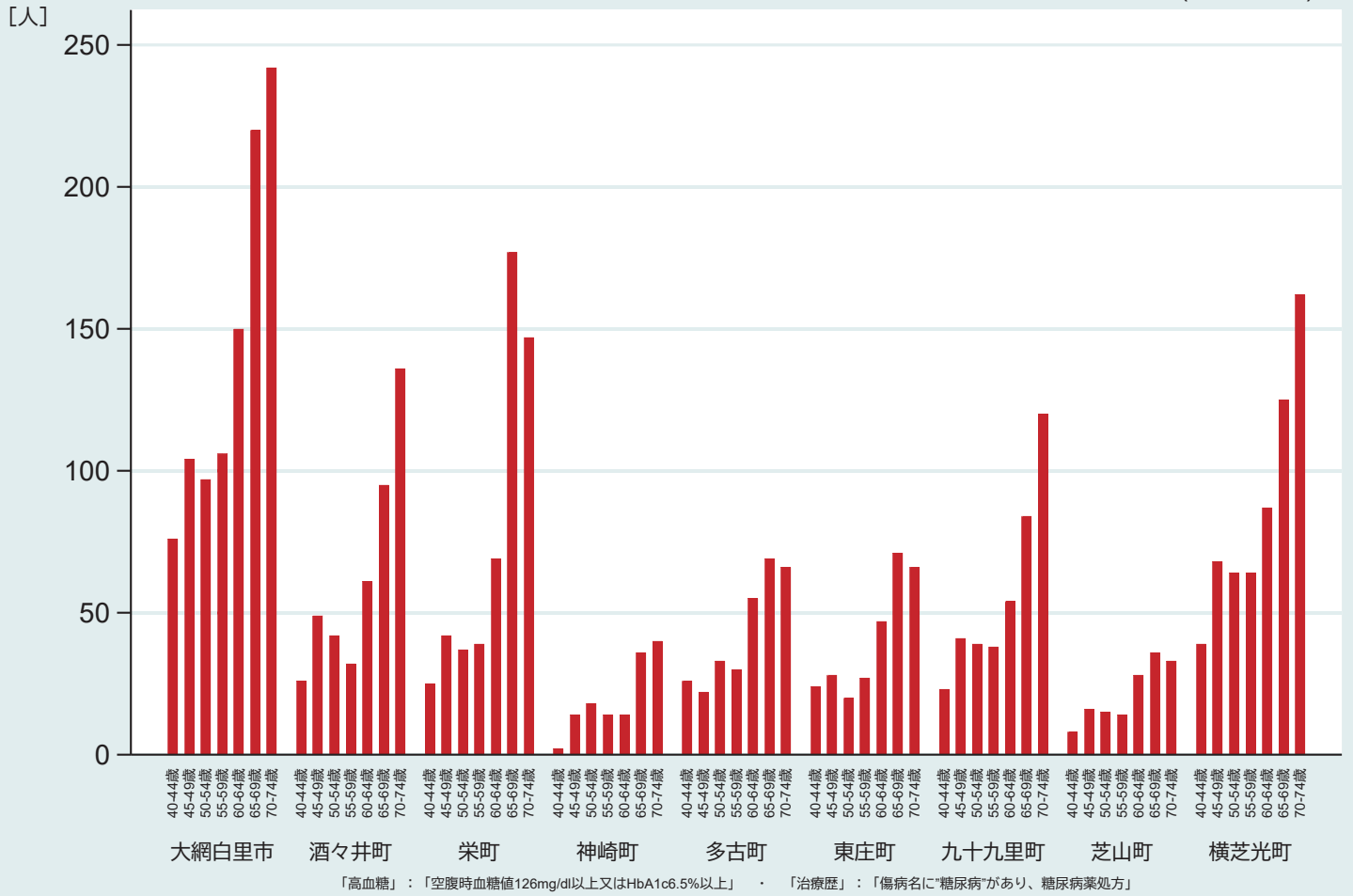
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別4・女性・年齢階級別】(2019年度)



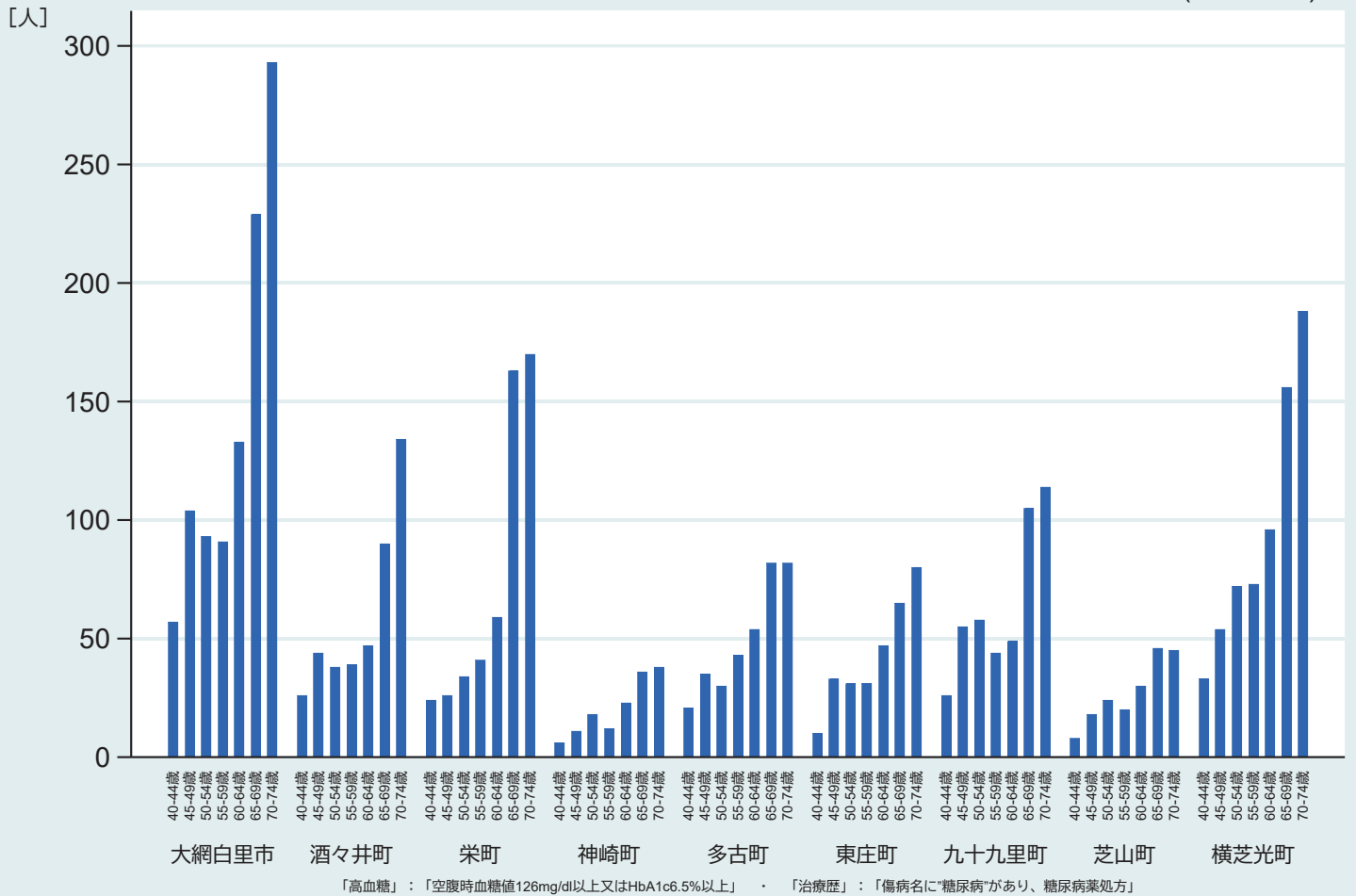
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別4・男性・年齢階級別】(2019年度)



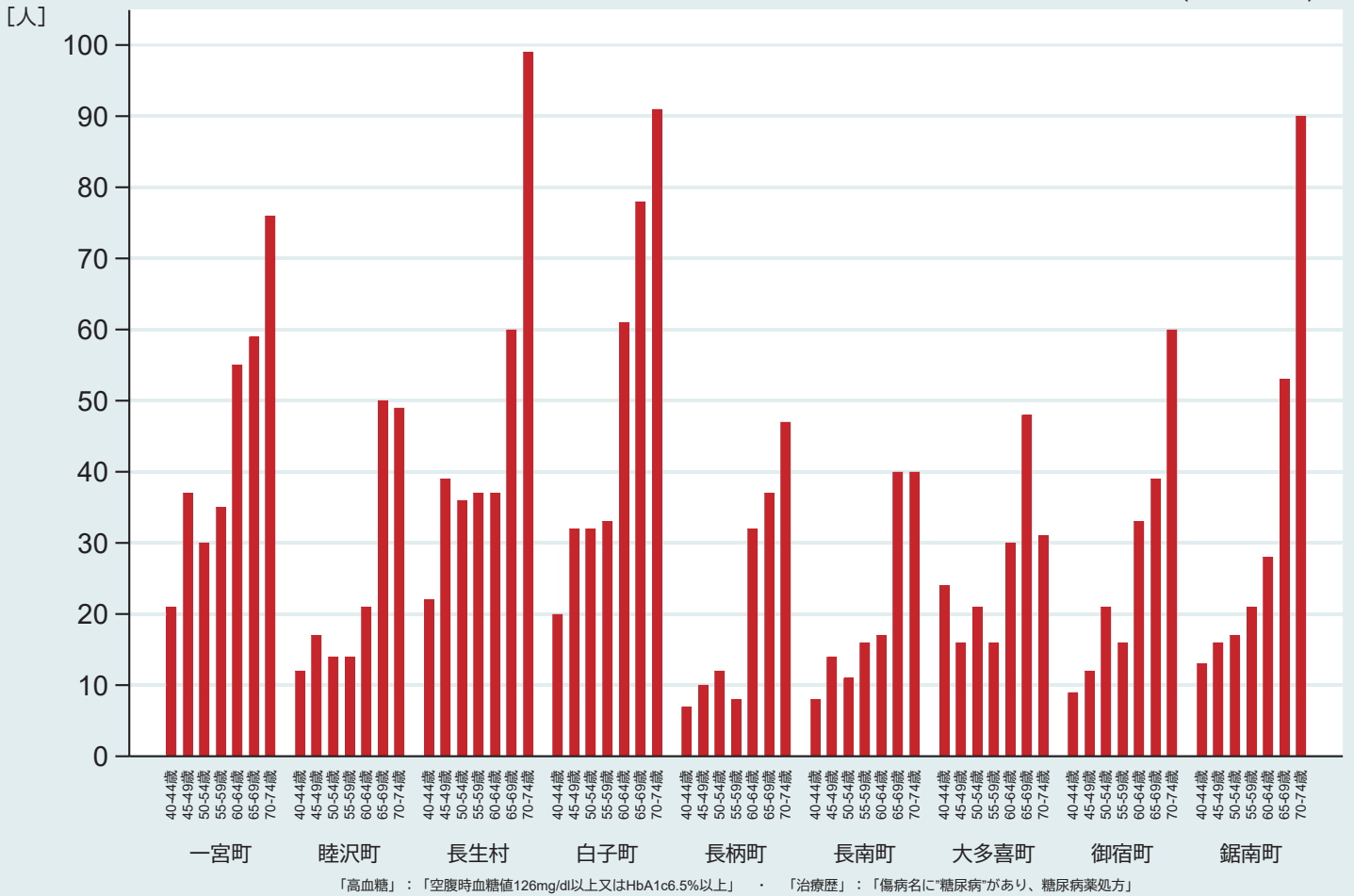
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別5・女性・年齢階級別】(2019年度)



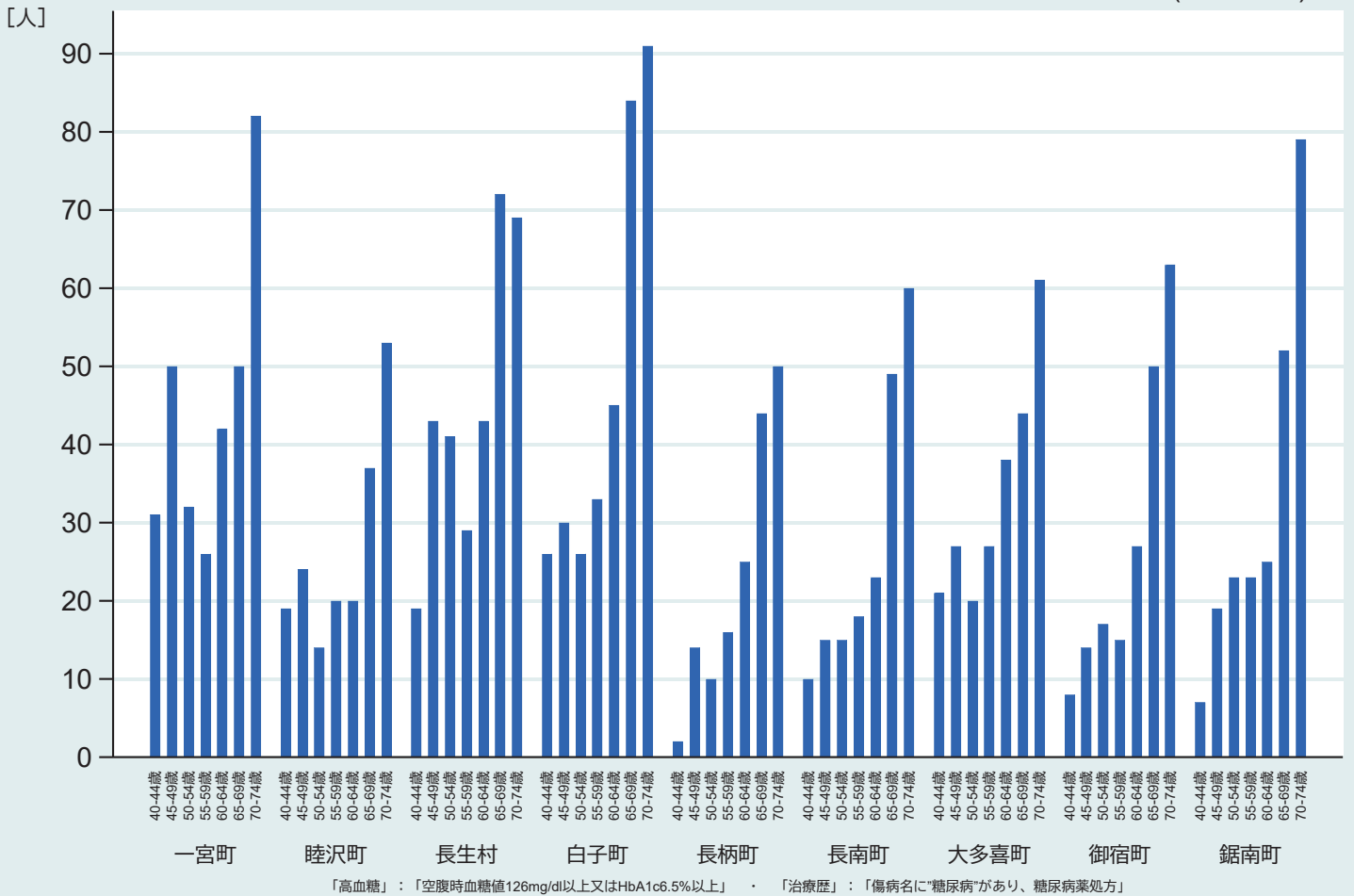
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別5・男性・年齢階級別】(2019年度)



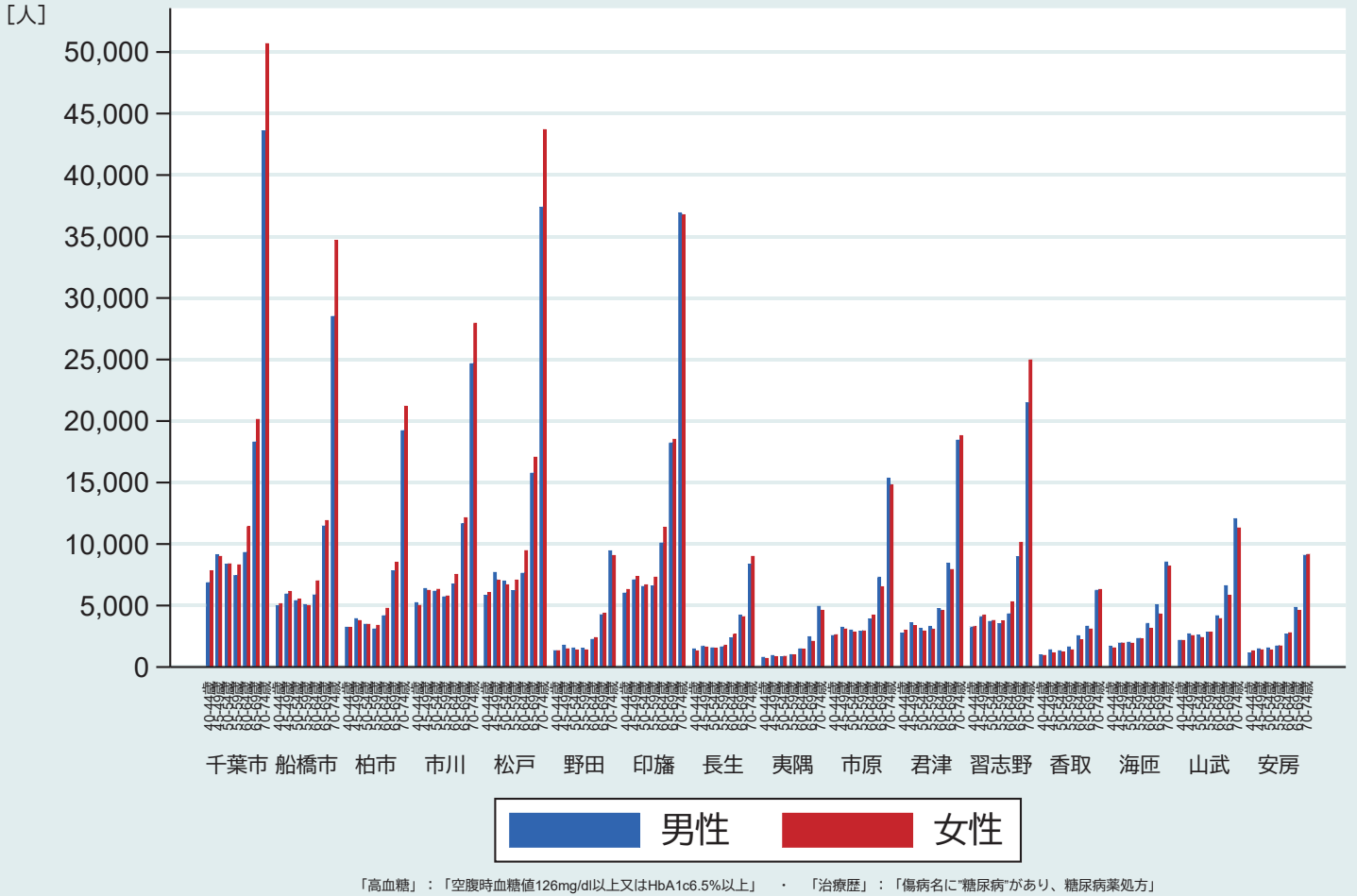
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別6・女性・年齢階級別】(2019年度)



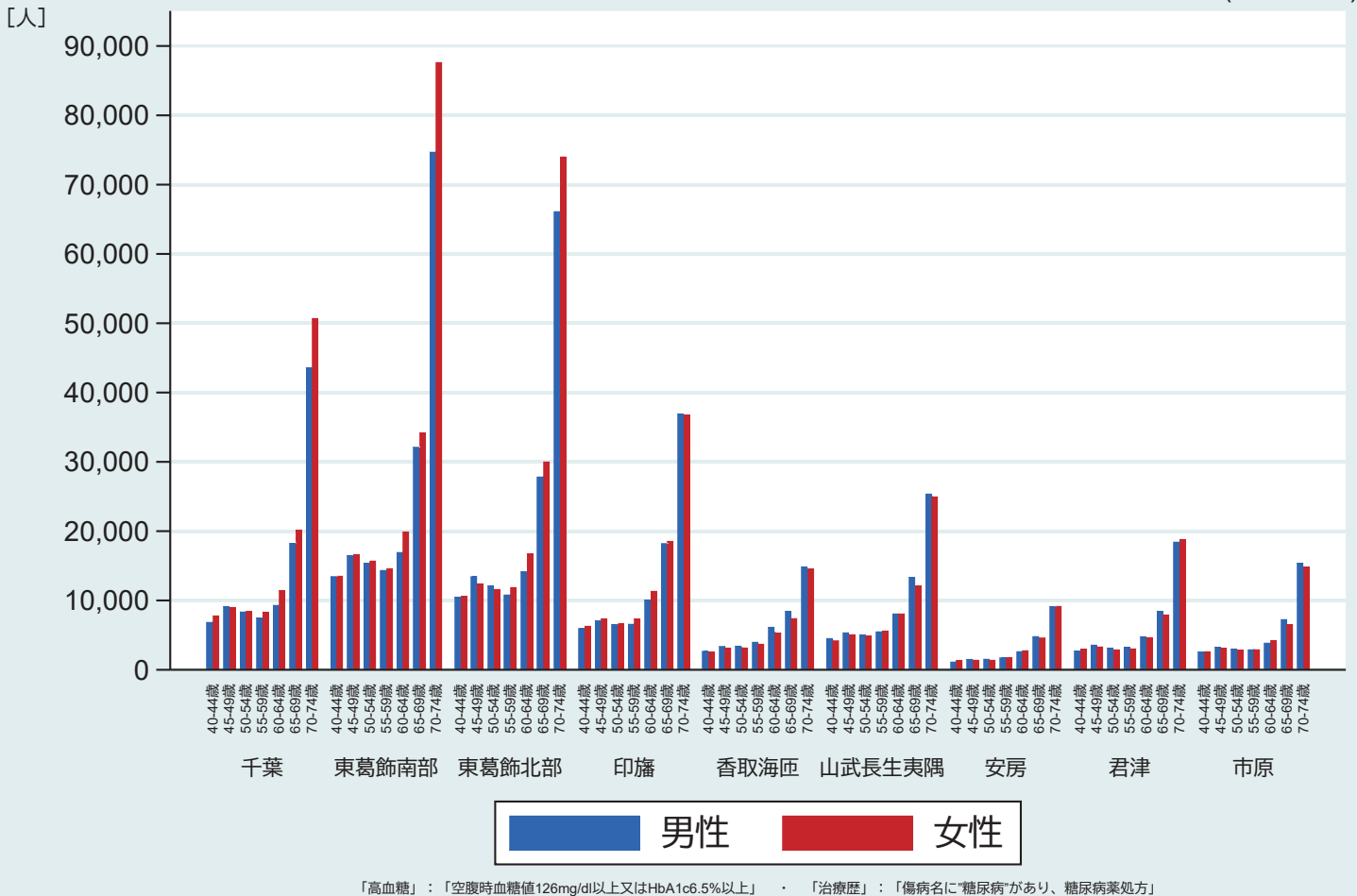
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【市町村別6・男性・年齢階級別】(2019年度)



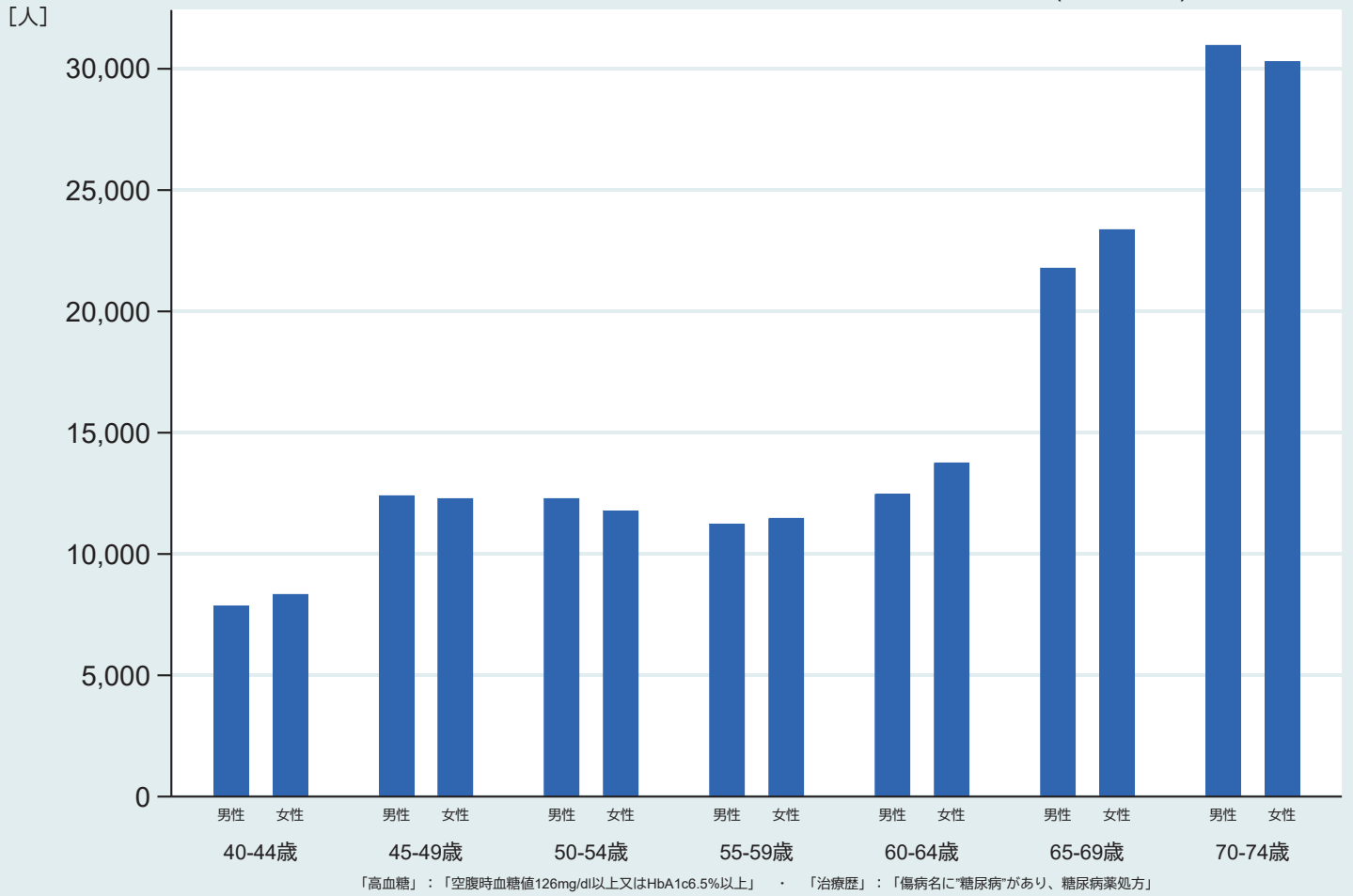
2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【保健所圏域別・性別・年齢階級別】(2019年度)



2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【2次医療圏別・性別・年齢階級別】(2019年度)



2-11.治療歴や高血糖指摘があるが受診なしの者【県全体】(2019年度)



(3) 後発医薬品の使用率と医療費との相関

1. 対象データ: KDB データ
2. 対象期間: 平成27年度から令和元年度
3. 対象者: 対象期間に医療機関受診歴のある患者を診療年月ごとに抽出した対象者
4. 評価指標: 後発医薬品の処方数量及びその割合(使用率)、一人当たり医療費
5. 分析方法:

後発医薬品の処方数量割合(使用率)を市町村別に分析し、一人当たり医療費との相関分析を行います。各変数の定義は下表の通りです。

変数	定義
後発医薬品使用割合	厚生労働省の公表データ(令和元年9月時点)
1人当たり医療費(各市町村の国保平均)	分析項目(1)の基礎的指標を使用
1人当たり医療費(全国平均)	厚生労働省の公表データ(令和元年度医療費の動向)
1人当たり医療費(千葉県後期高齢者平均)	分析項目(1)の基礎的指標を使用
1人当たり医療費(後期高齢者平均)	厚生労働省公表データ(令和元年度医療費動向)

6. 分析結果:

提供を受けた KDB データに格納されている「医療摘要ファイル」の「数量」に 0 が散見され、調剤レセプトの「点数」は 0 が入力されている等、レセプト情報がどのようにデータベース化されているのか不明点が多いことから、KDB 突合 CSV データを用いた分析は不可能でした。また、1 人当たり医療費は、全国平均は公表データを使用するため、市町村の医療費と厳密な比較は困難でした。同様の問題は他の都道府県でも指摘されていることから、本データでの分析の限界を踏まえた代替的な評価方法を検討いたしました。

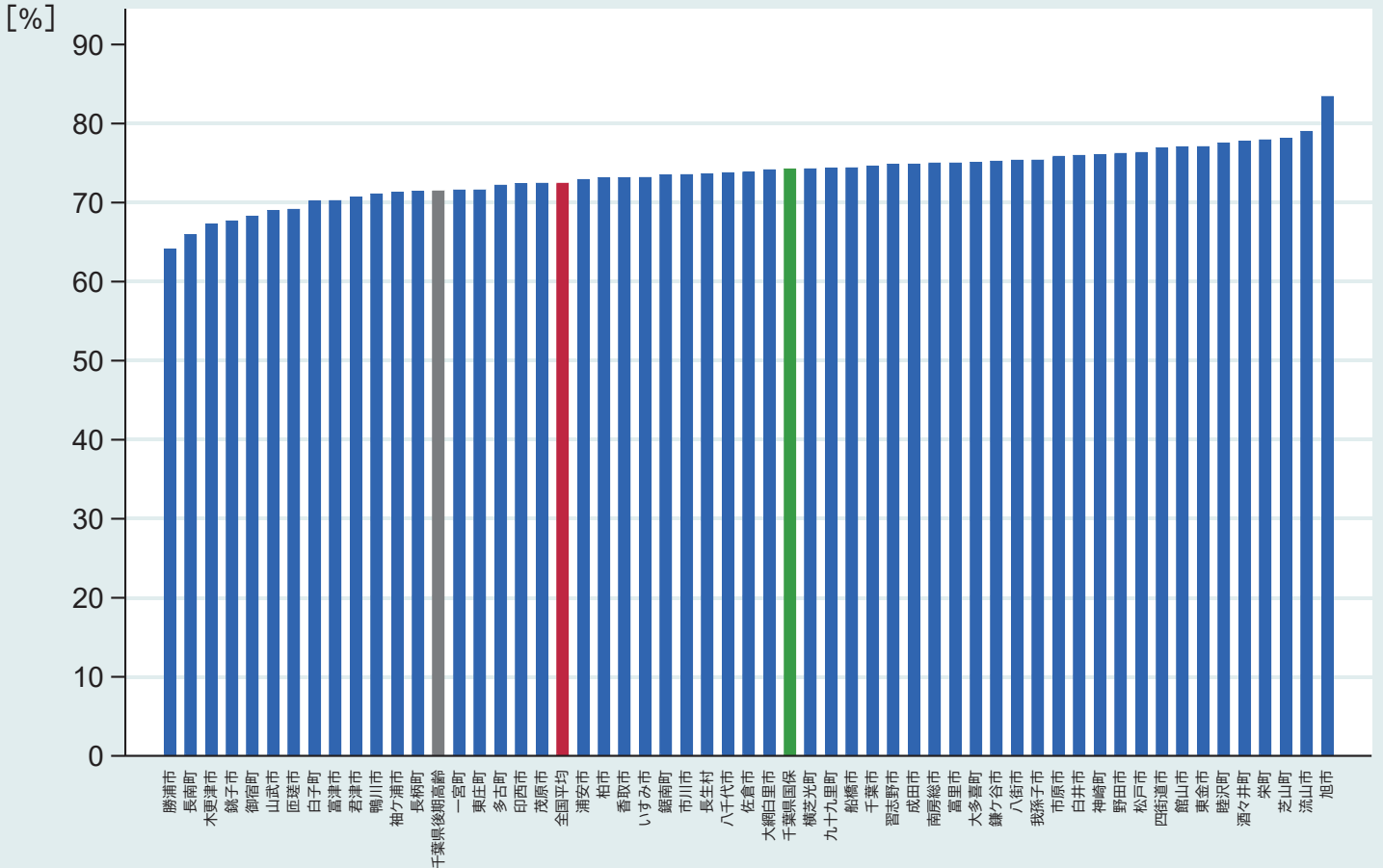
1 人当たり医療費について市町村別の値は分析項目(1)で算出した値を用いました。全国平均は公表データを使用しているため、詳細な定義や詳細な算出方法が異なる可能性があることに留意する必要があります。

7. 考察:

図 3-1 は後発医薬品処方割合を市町村保険別で、後発医薬品処方割合が高い自治体順に←から右へ並び替えた結果を表しています。国の目標が 80%以上と定められている中、旭市が唯一目標値より高い割合で後発医薬品が処方されていることを示しています。最も後発医薬品の処方割合が高い市町村と最も低い市町村の差が 15%以上であることから、各市町村の課題について個別に検討が必要であることを示唆しています。

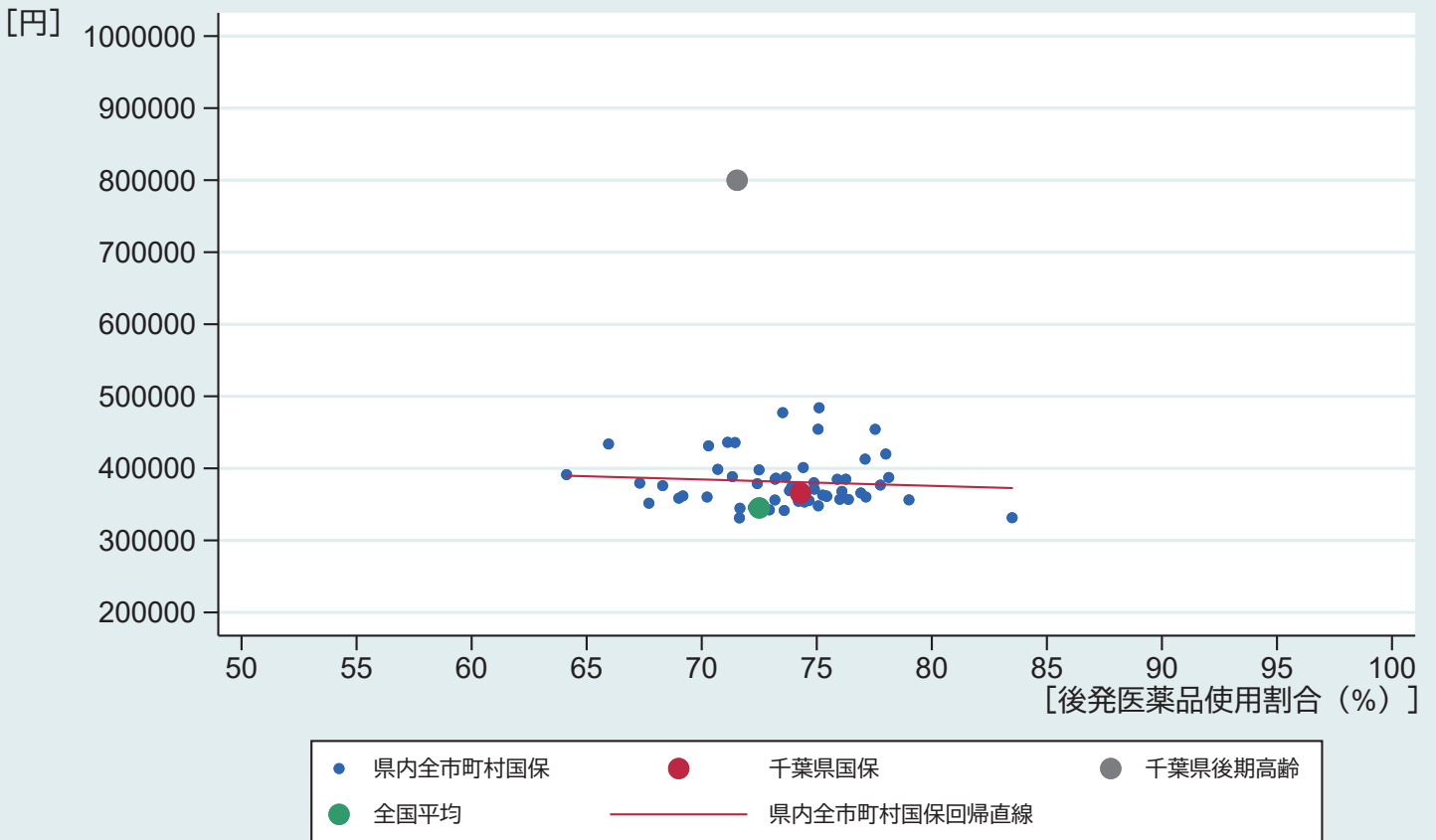
図 3-2 は後発医薬品使用割合と一人当たり医療費の相関関係を示しています。後発医薬品と一人当たり医療費には弱い負の相関がみられ、後発医薬品の処方割合を高めることが医療費の適正使用と関連している可能性が示唆される結果となりました。しかしながら後期高齢者においては外れ値となっており、後期高齢者に対する後発医薬品の処方割合と一人当たり医療費については別の要因も考えられることが示唆されました。

3-1. 後発医薬品処方割合【保険者別】



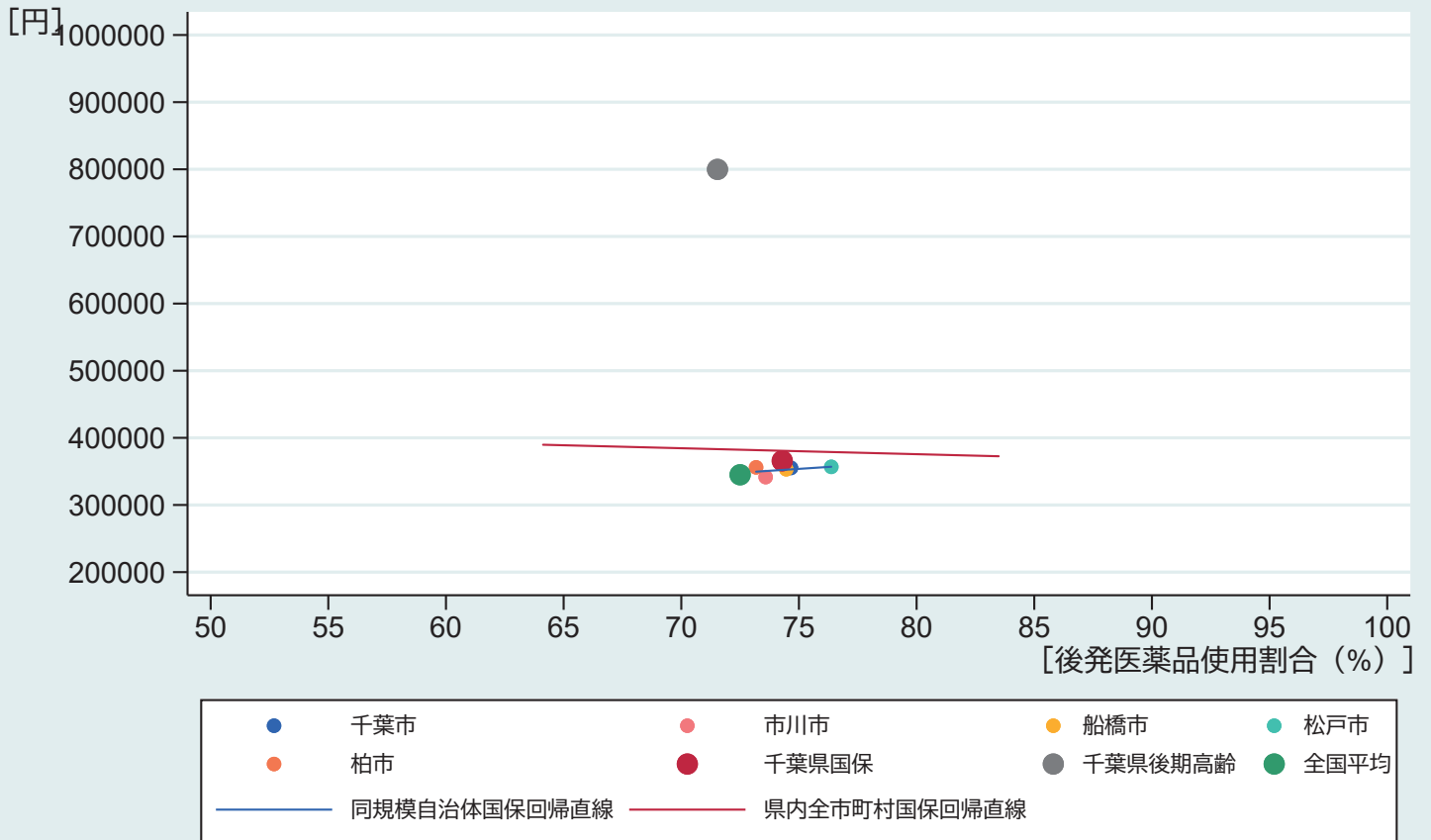
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費【保険者別】 (全市町村国保)



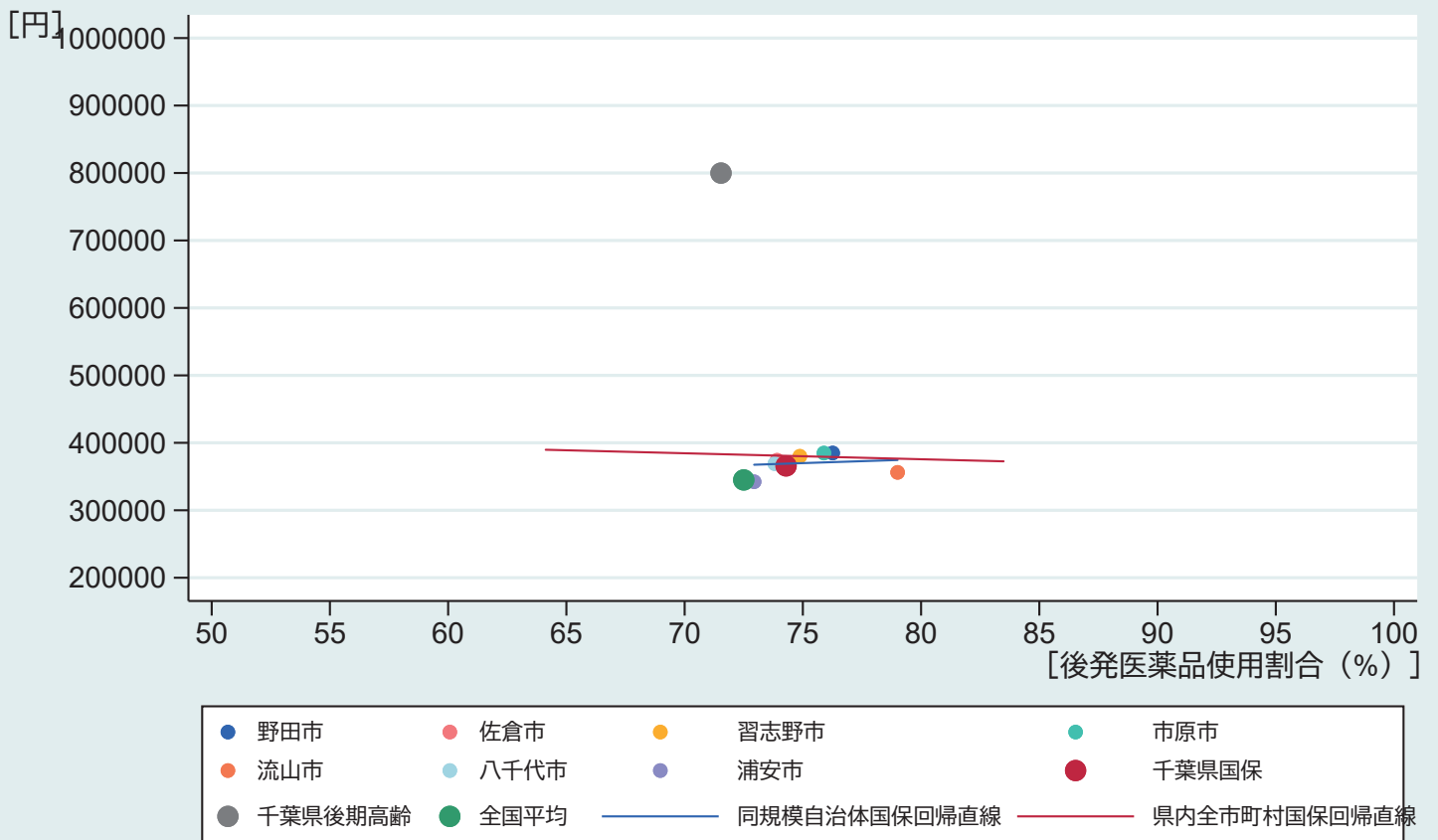
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費【保険者別】 (同規模自治体：人口40万人以上)



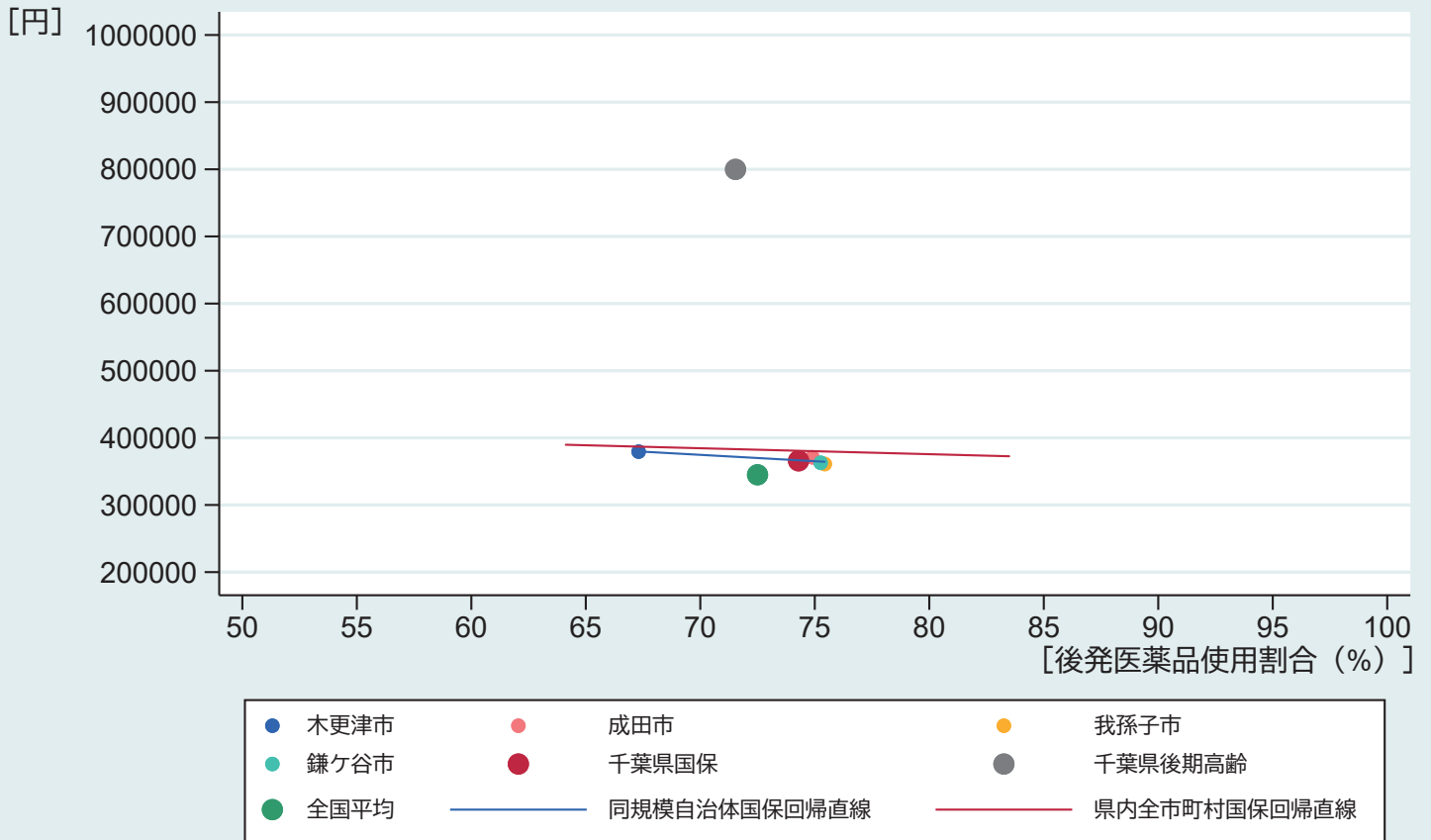
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口15万人以上30万人未満)



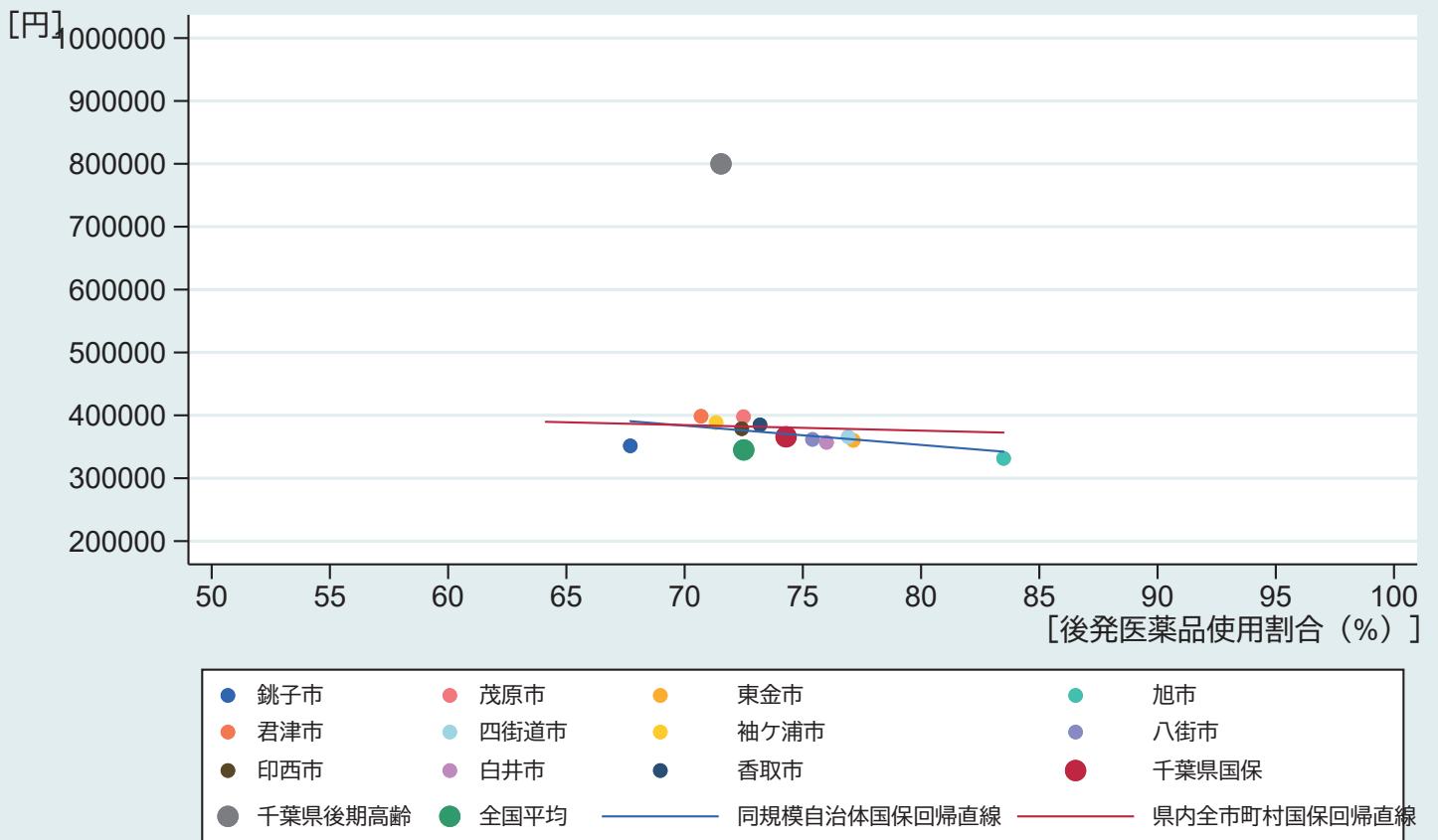
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口10万人以上15万人未満)



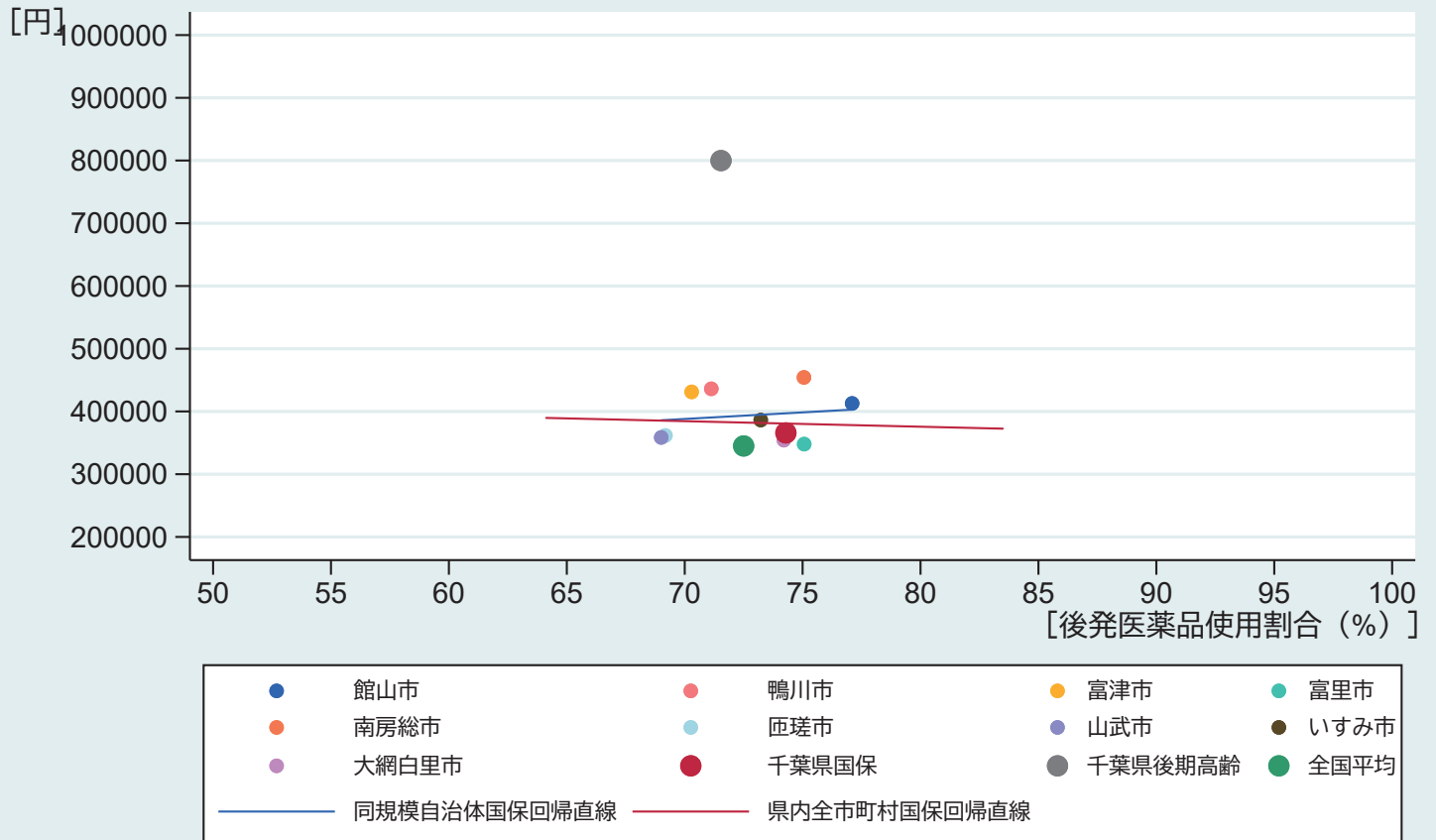
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口5万人以上10万人未満)



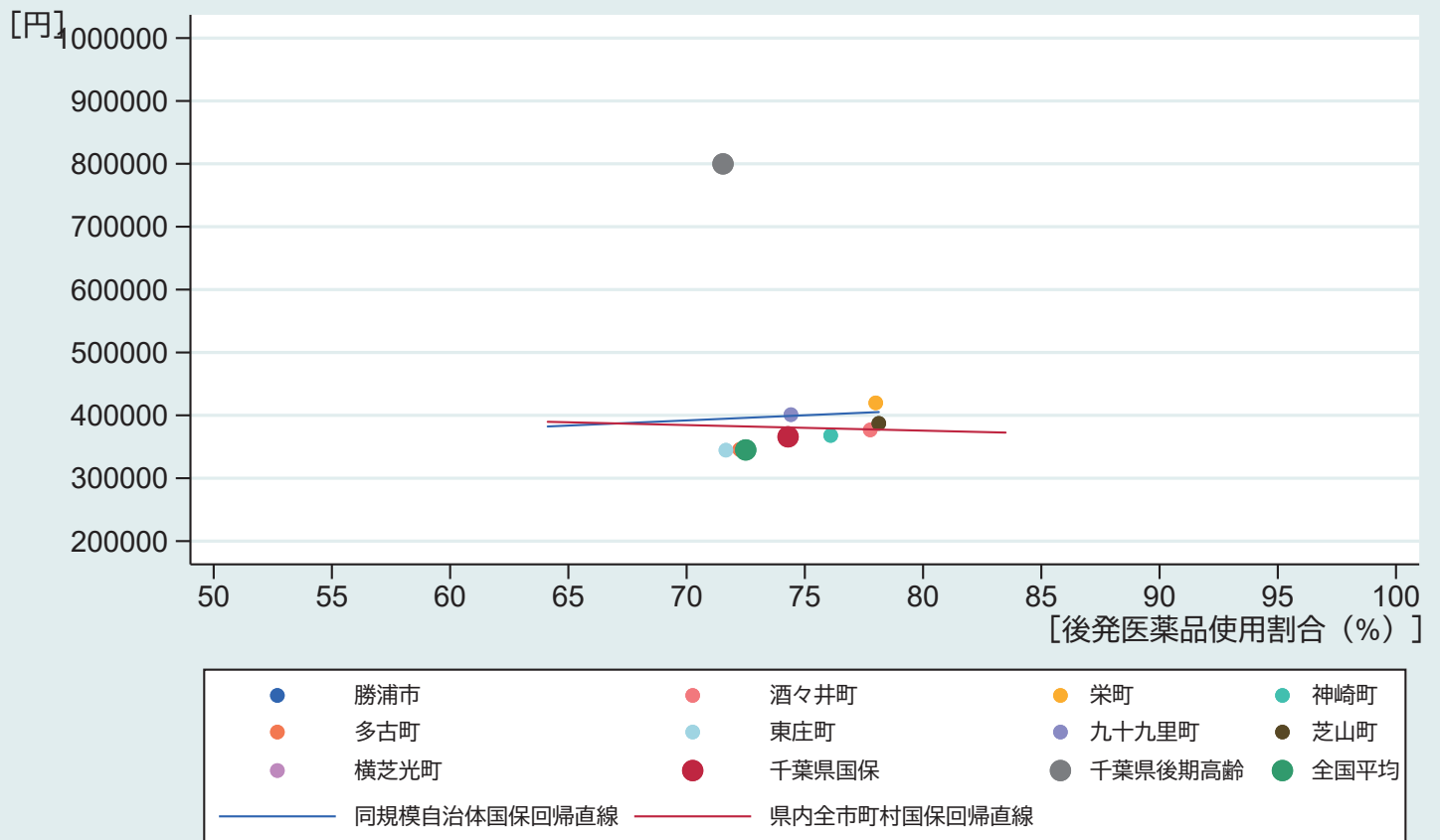
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当たり医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口3万人以上5万人未満)



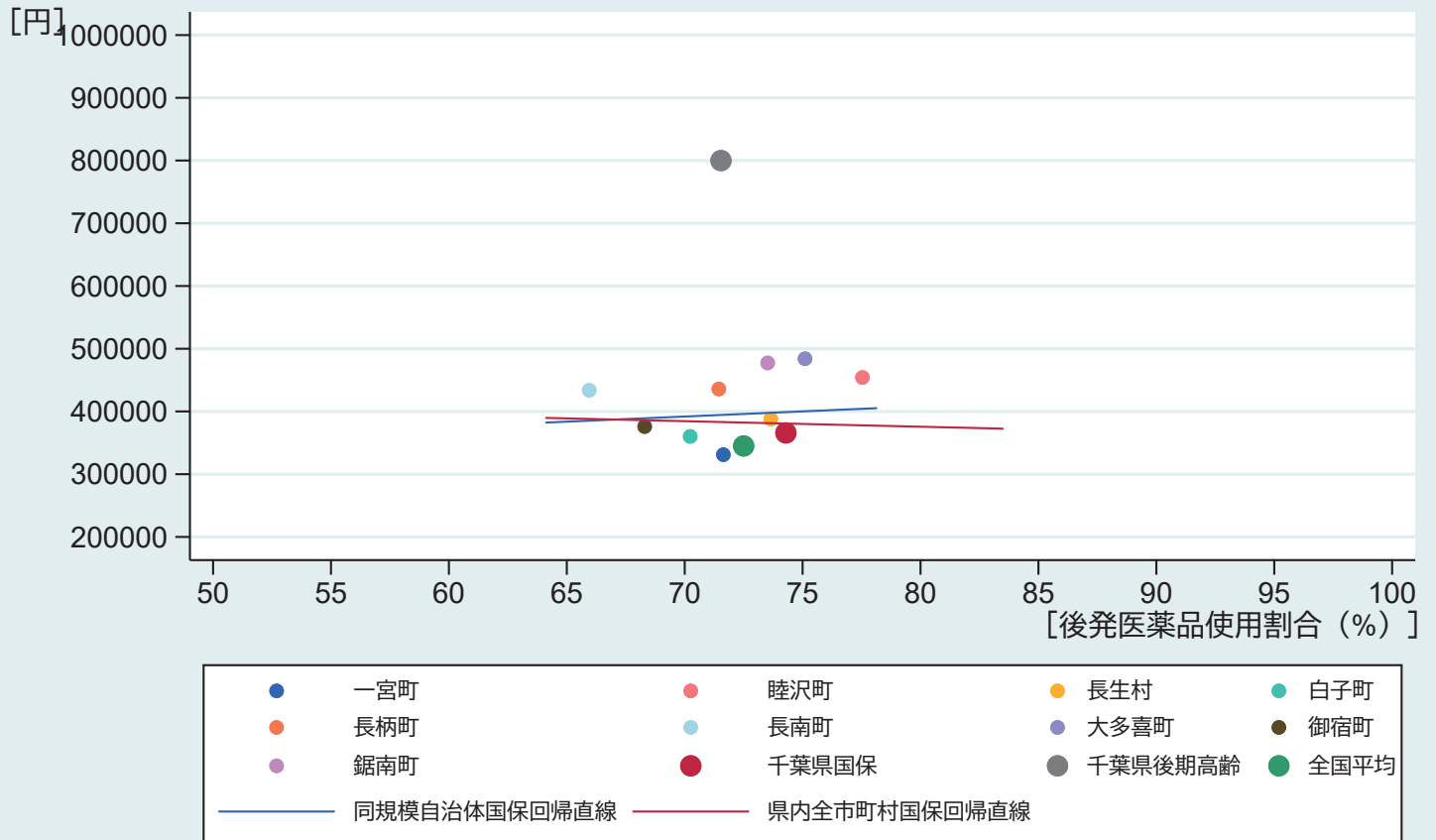
注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当たり医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口3万人未満-1)



注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

3-2. 後発医薬品使用割合と一人当り医療費回帰直線【保険者別】 (同規模自治体：人口3万人未満-2)



注1) 令和元年9月時点厚生労働省公表データ

(4) 医薬品の重複投薬

1. 対象データ: KDB データ
2. 対象期間: 平成30年度から令和元年度
3. 対象者: 対象期間に受診歴のある患者のうち、同月に同一医薬品を処方された者
4. 評価指標:
対象者が重複投与を受けた医療機関数、一人あたり医療費、対象者数及び対象者の割合

5. 分析方法:

医療機関の施設数は、①2医療機関、②3医療機関、③4医療機関以上に区分し、それぞれ性別かつ年齢階層別に集計しています。また、重複投薬と医療費分析に加え、重複処方に係る薬剤費を算出した。重複日数は調整せずに、全重複医薬品の薬剤費を算出しました。なお「処方箋発行医療機関ファイル」と「医療適応ファイル」の突合可能年度が2018・2019年度に限られるため、分析期間は2年間としています。

なお提供を受けたKDBデータ(突合CSV)では傷病名と医薬品と直接紐づけはできないため、重複投薬レセプト上の傷病名を全て抽出しています。その結果、同一人物に複数の傷病名が付くことに留意が必要です。本分析の限界として、「医療摘要ファイル」の「数量」に0が散見され調剤レセプトの「点数」は0が入力される等、レセプト情報がどのようにデータベース化されているのか不明です。また、「医療摘要ファイル」の「単価_マスタ値」が審査支払基金の「医薬品マスター」内の金額と異なっておりました。加えて傷病名と医薬品の直接紐づけは不可能であるため、重複投薬レセプト上の傷病名を全て抽出し算出しています。

変数	定義
重複投薬	対象レセプトは、医科（入院外）、調剤。対象医薬品は、内用薬・外用薬 同一医薬品は内用薬「薬価基準収載医薬品コード」の上7桁が一致するものおよび外用薬「薬価基準収載医薬品コード」の上4桁と8桁目のアルファベットが一致するもの。同一月に処方日数が合計29日以上。
薬効分類	薬効中分類（分類番号3桁）で区分
薬効分類上位10位	重複投薬の医薬品を抽出し、順位付け（年度内に同一患者が複数回重複投薬していても「1」でカウント）
疾病分類	疾病中分類（分類番号3桁）で区分
疾病分類上位10位	重複投薬患者の当該レセプトの傷病名を抽出し、順位付け
総医療費	当該年度に1度でも重複投薬歴のある患者の医療費の総額
患者割合	当該年度に1度でも重複投薬歴のある患者の被保険者に占める患者割合
総薬剤費	重複投薬の医薬品の薬剤費の総額（「医療摘要ファイル」より処方数量を算出しの「単価_マスタ値」を乗じて薬剤費算出）

6. 分析結果: 分析結果は次の図の通りです。

7. 考察:

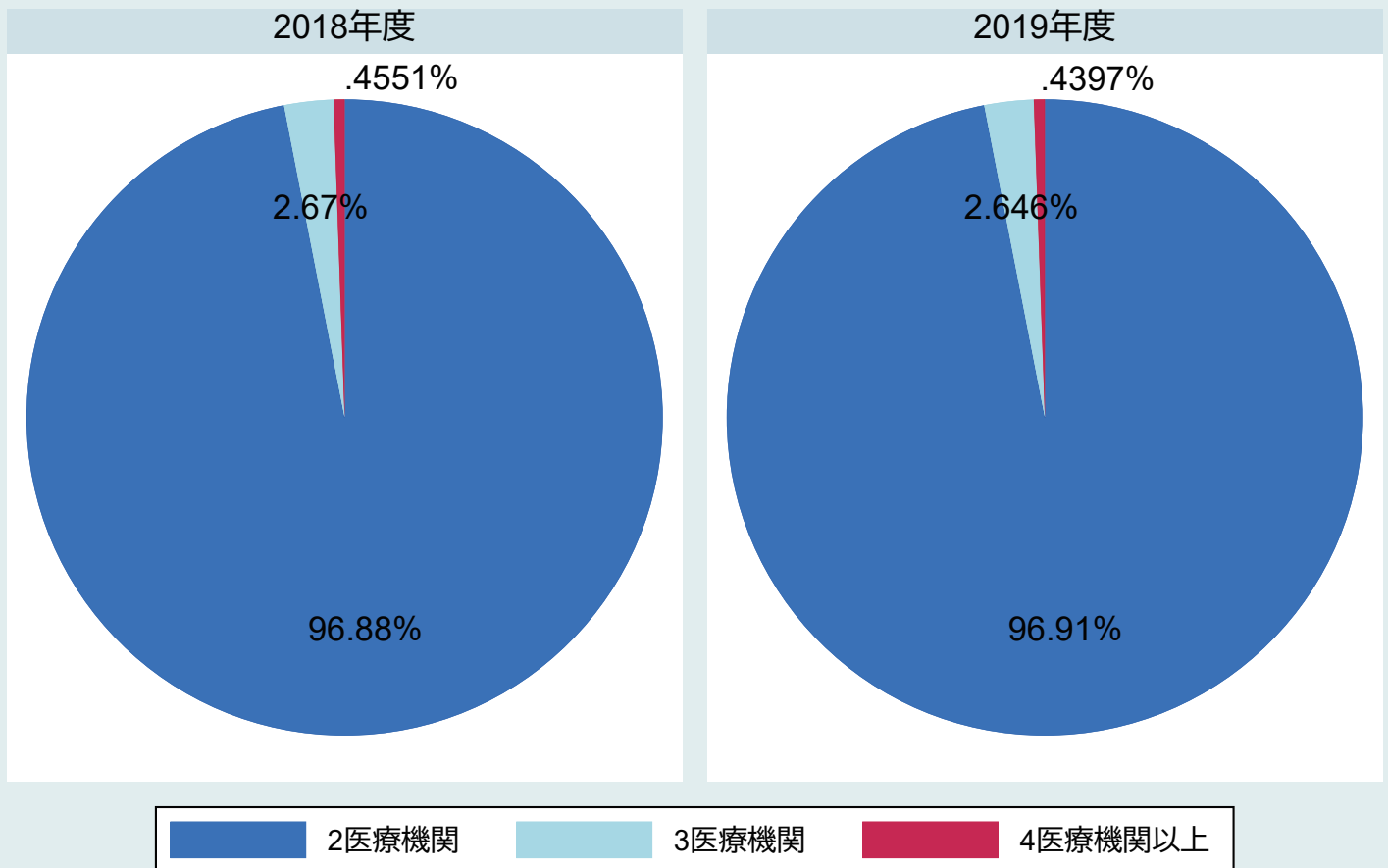
図4-1は、同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から、合計28日分以上処方された者のうち、96%以上が2つの医療機関から処方されている結果となりました。3医療機関からの処方割合は2.6%、4医療機関以上からの処方割合も0.4%と、一定数の重複処方があることが確認されました。

図 4-2-1 は重複投薬割合を年齢階級別・性別で比較しています。いずれの年齢階級別で女性の方が重複投与数が多い結果となりました。また、後期高齢者においても重複投与が行われている実態が明らかになりました。さらに医療機関数別の重複投与患者数を年齢階級別・性別で比較した結果、4 医療機関以上から重複投与が行われている結果が見られました。

重複処方割合は全国の自治体でも調査が行なわれていますが、「重複処方」の統一定義はありません。たとえば、さいたま市は「同一月に、同一成分の内服薬が 14 日以上処方されている。」、福岡市は「複数の医療機関から同一成分の薬が処方されている。」と定義されています。

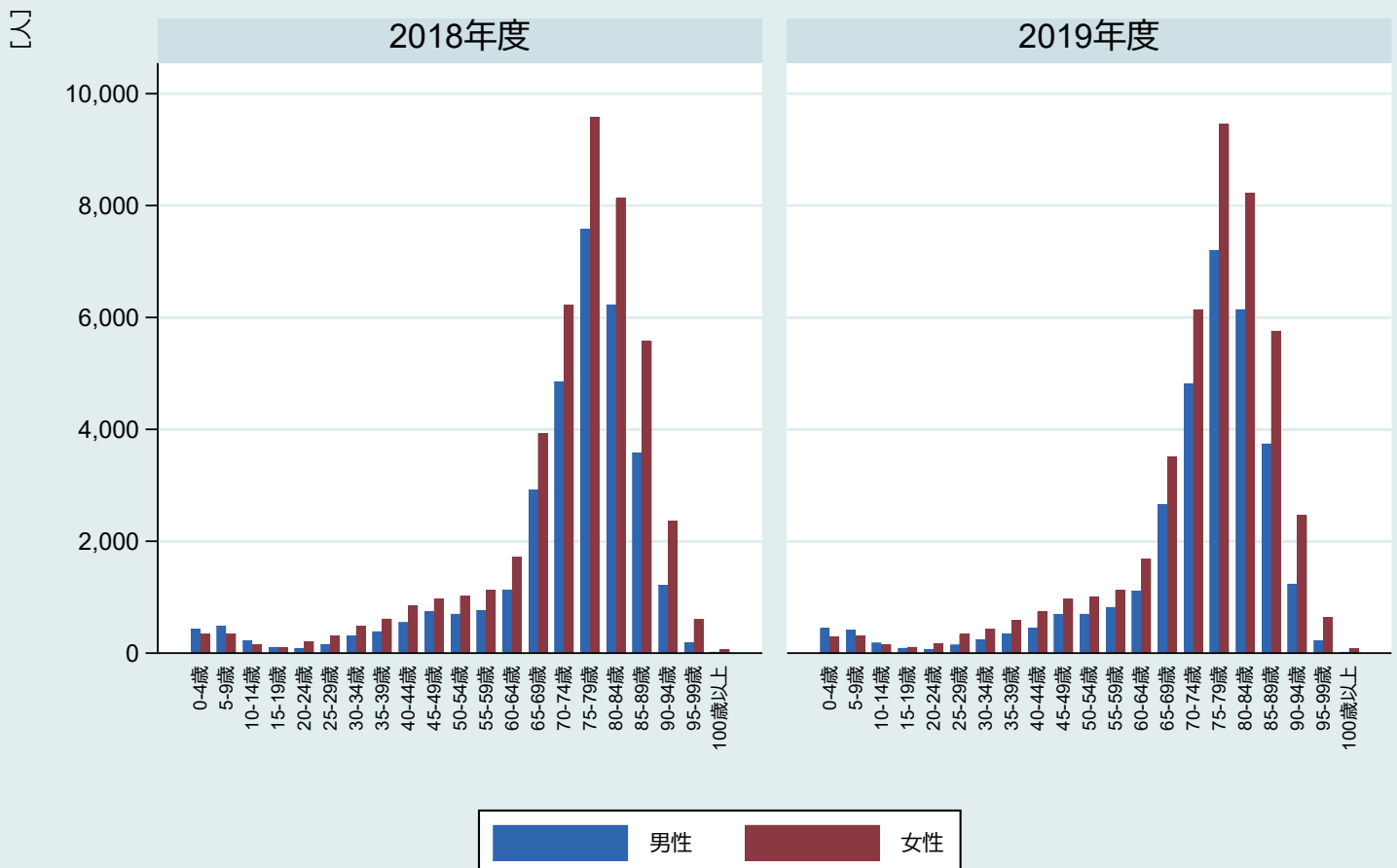
本分析は常用している薬剤を対象とするために、「複数の医療機関から同一成分の内服薬」に加え、処方日数の条件付けも加えました。千葉県における分析目的を明確にし、全国平均や他都道府県と比較できる評価指標の検討が必要であることが示唆されました。

4-1. 重複投薬に係る医療機関数（県全体）



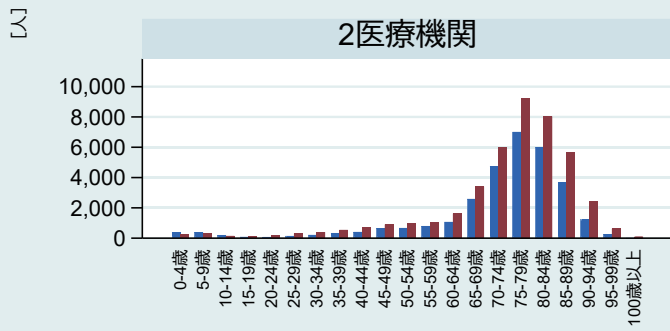
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

4-2-1. 重複投薬患者数（県全体）【性別・年齢階級別】

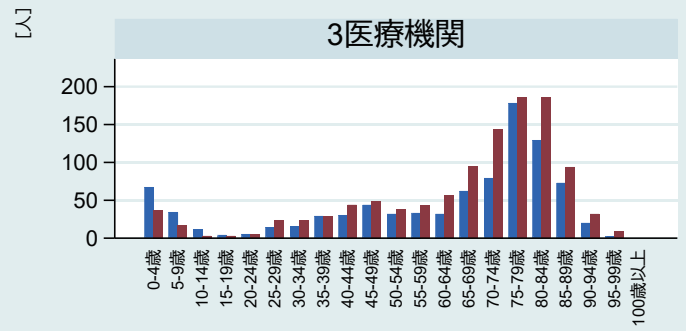


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

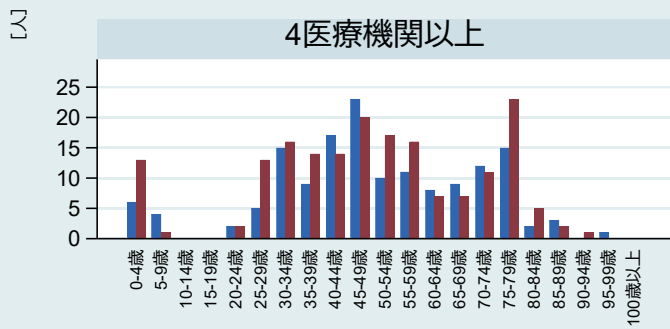
4-2-1. 医療機関数別重複投薬患者数（県全体）【性別・年齢階級別】 （2019年度）



(2019年度)



(2019年度)



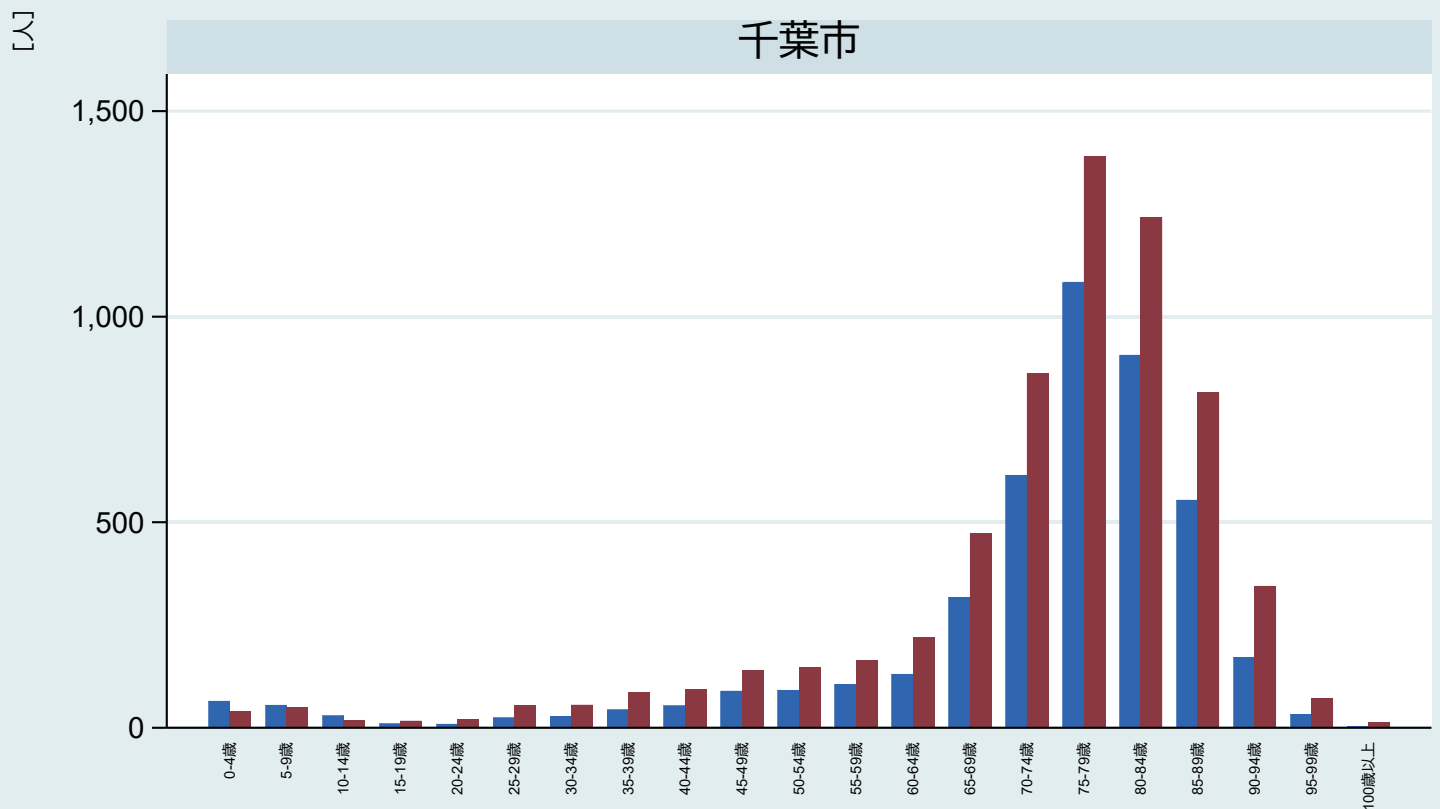
(2019年度)

注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別1・性別・年齢階級別】 千葉医療圏（2019年度・2医療機関）



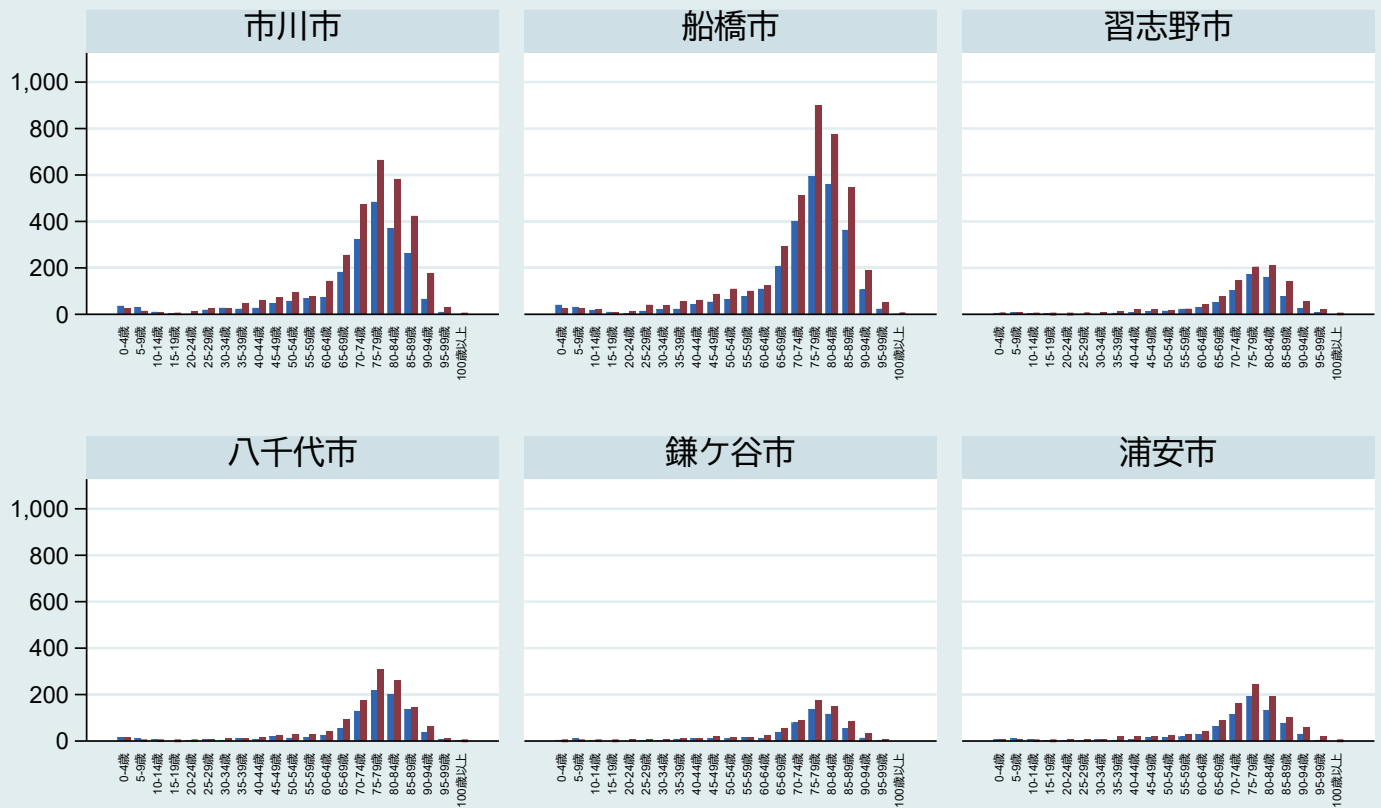
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別2・性別・年齢階級別】 東葛南部医療圏（2019年度・2医療機関）

人



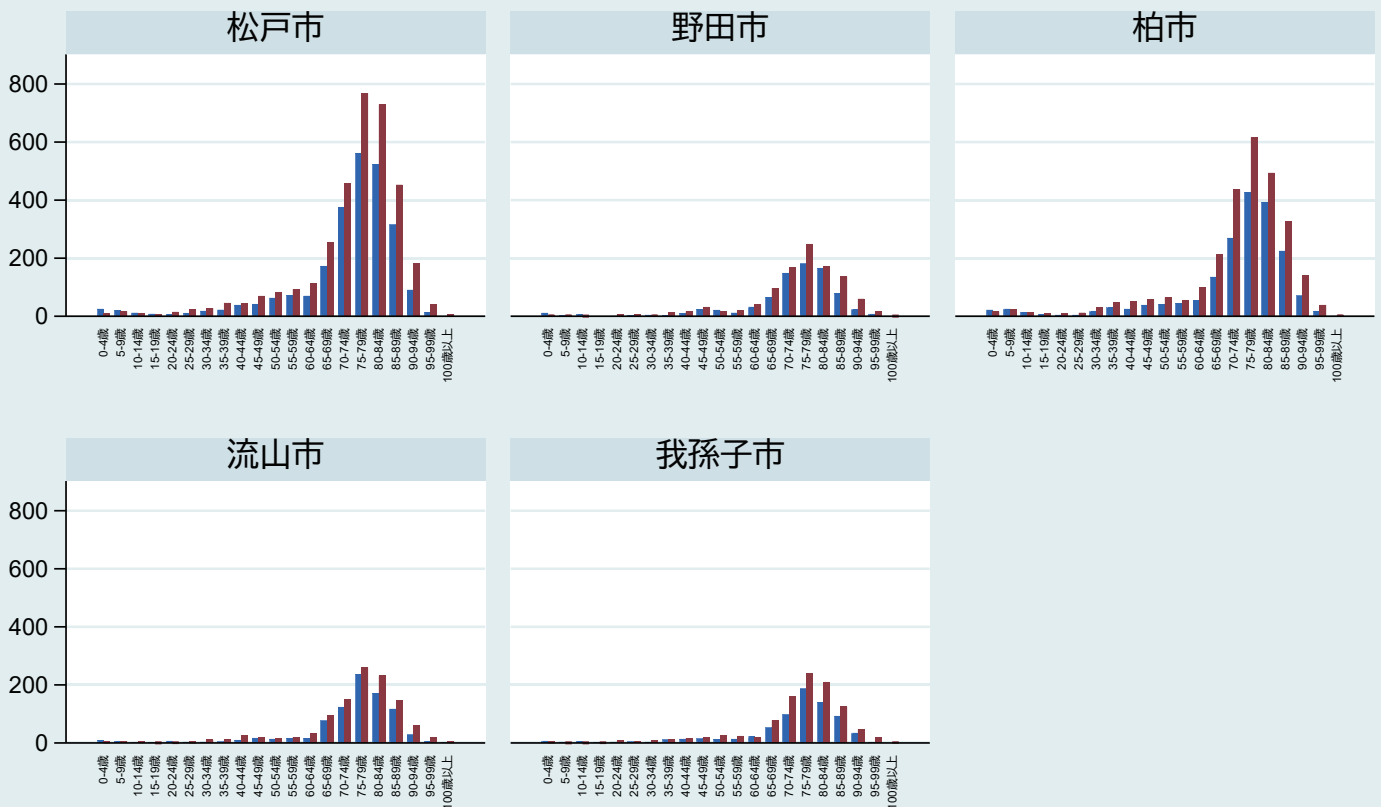
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別3・性別・年齢階級別】 東葛北部医療圏（2019年度・2医療機関）

人



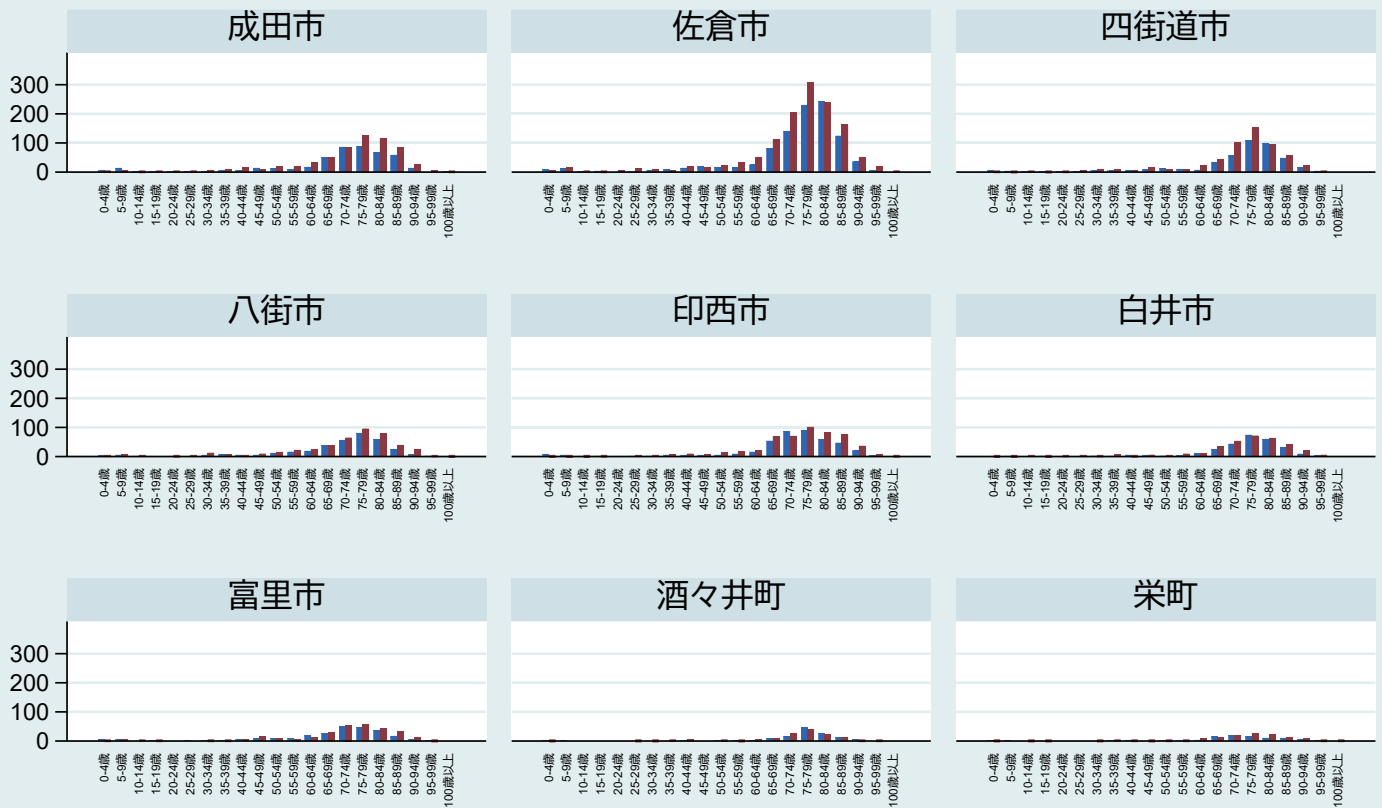
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別4・性別・年齢階級別】 印旛医療圏（2019年度・2医療機関）

人



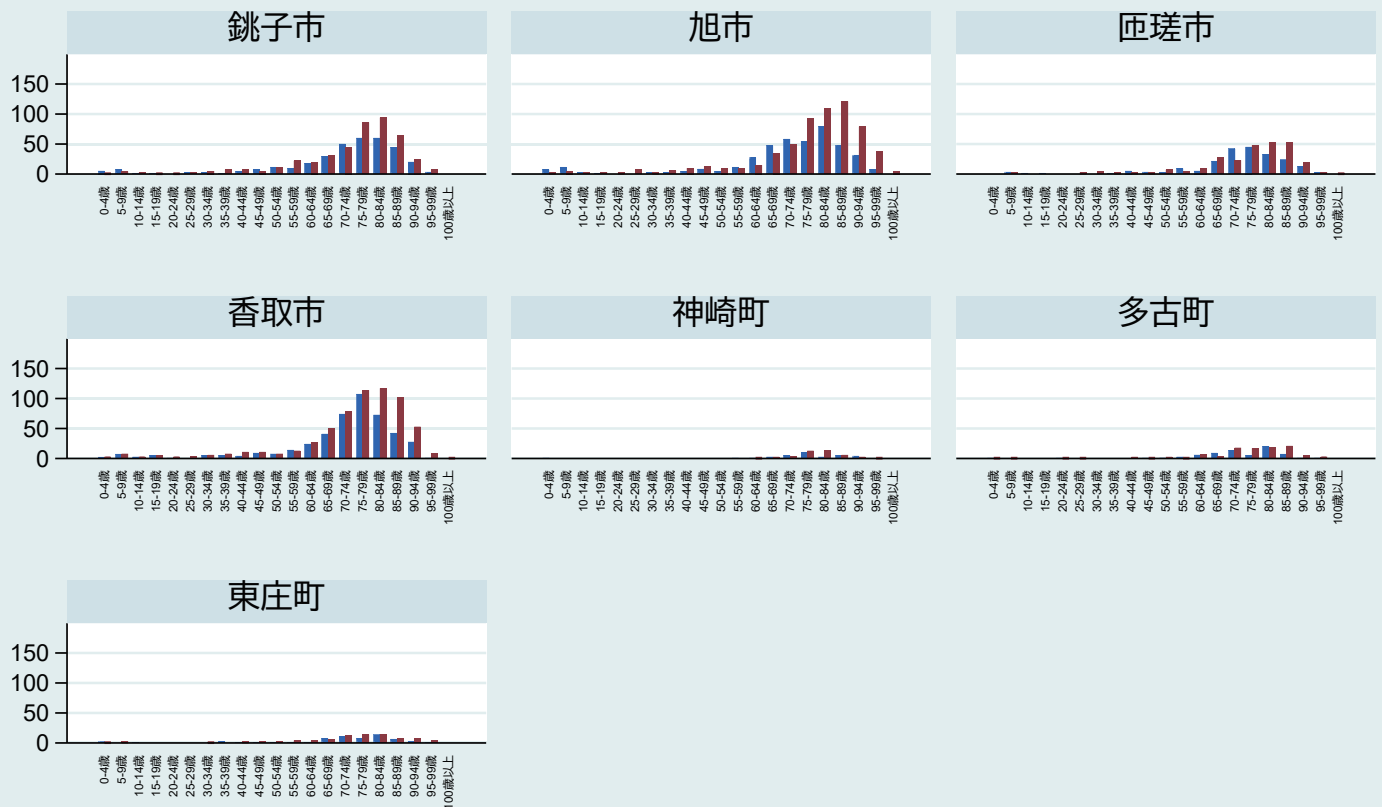
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別5・性別・年齢階級別】 香取海匠医療圏（2019年度・2医療機関）

人



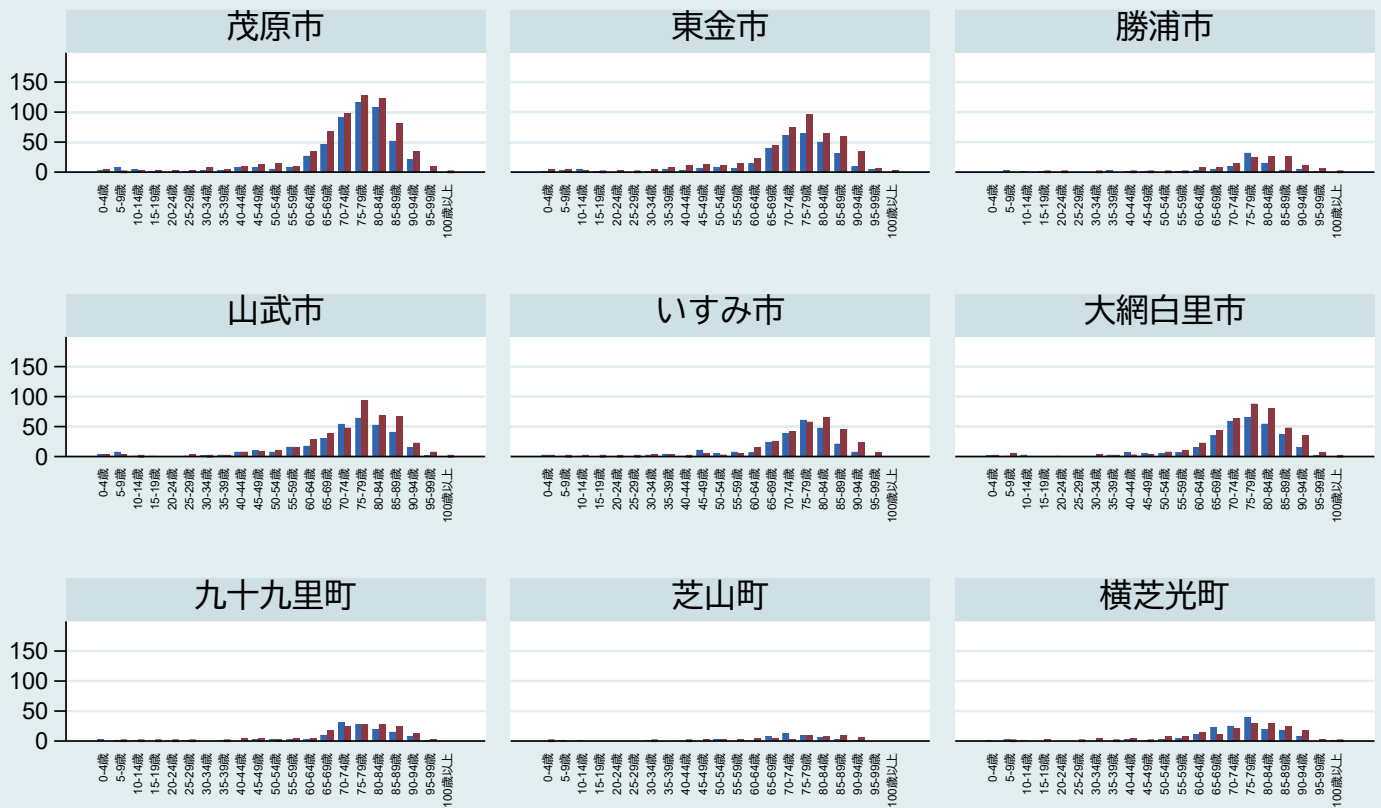
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別6・性別・年齢階級別】 山武長生夷隅医療圏-1（2019年度・2医療機関）

人



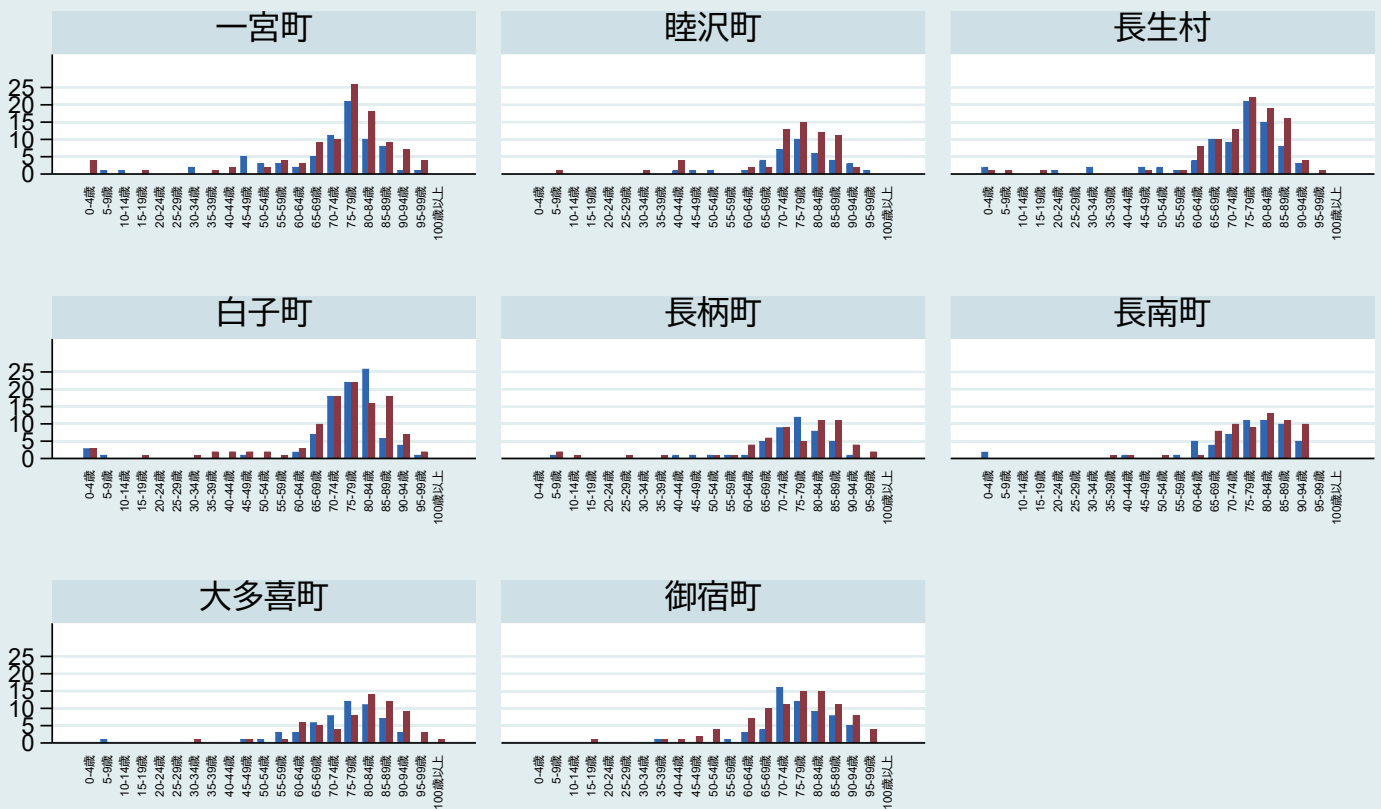
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別7・性別・年齢階級別】 山武長生夷隅医療圏-2（2019年度・2医療機関）

人

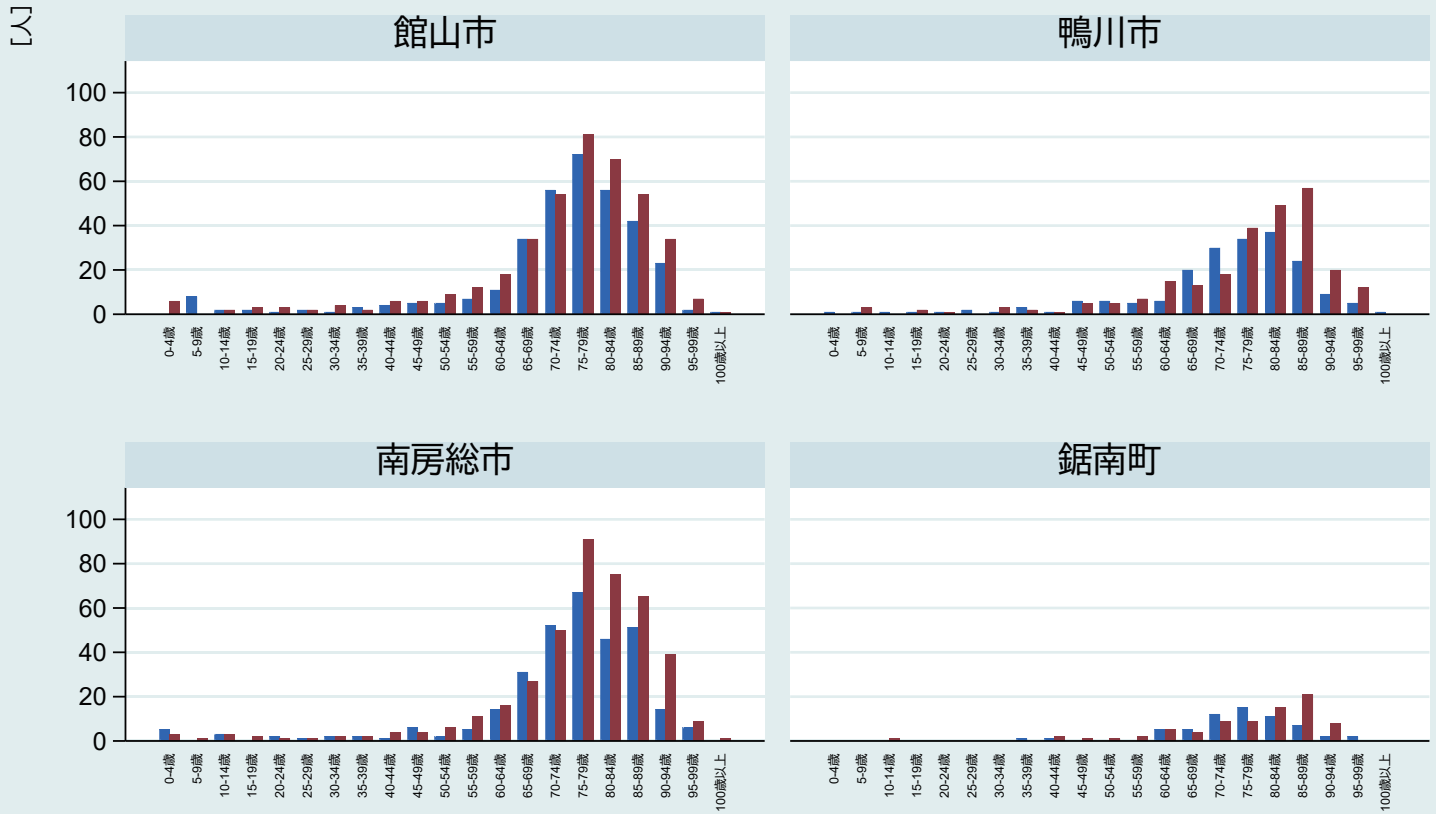


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別8・性別・年齢階級別】 安房医療圏（2019年度・2医療機関）

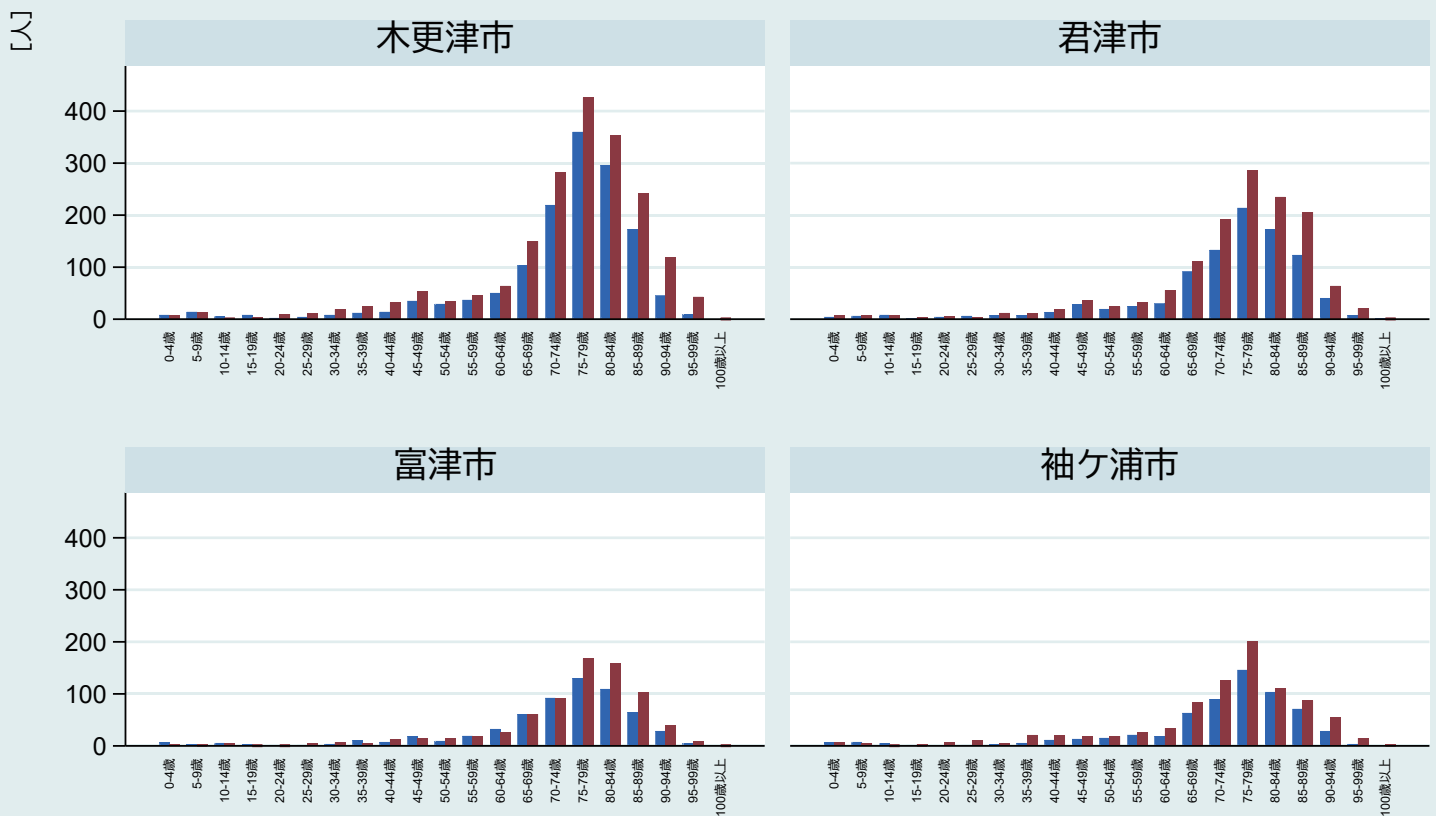


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別9・性別・年齢階級別】 君津医療圏（2019年度・2医療機関）

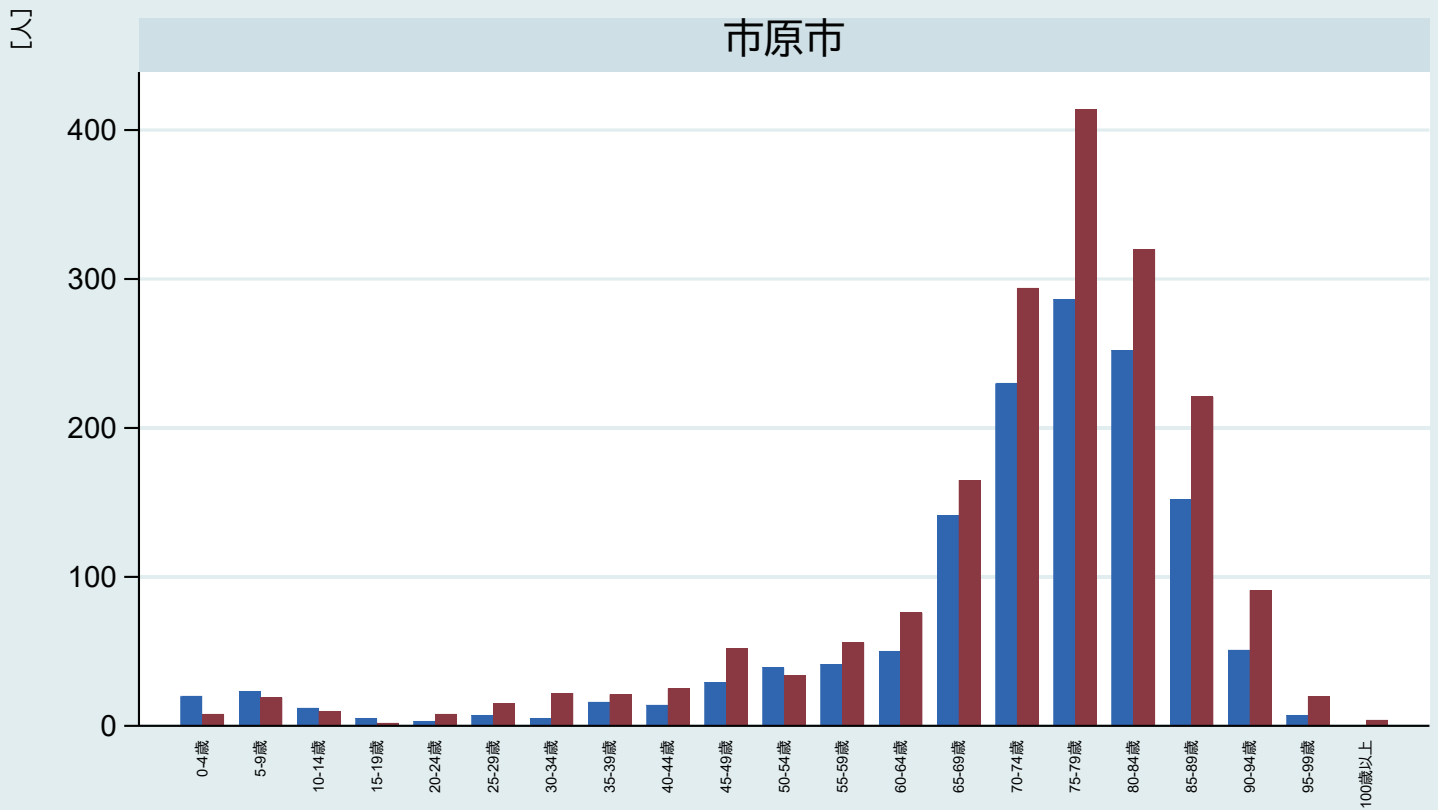


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【市町村別10・性別・年齢階級別】 市原医療圏（2019年度・2医療機関）

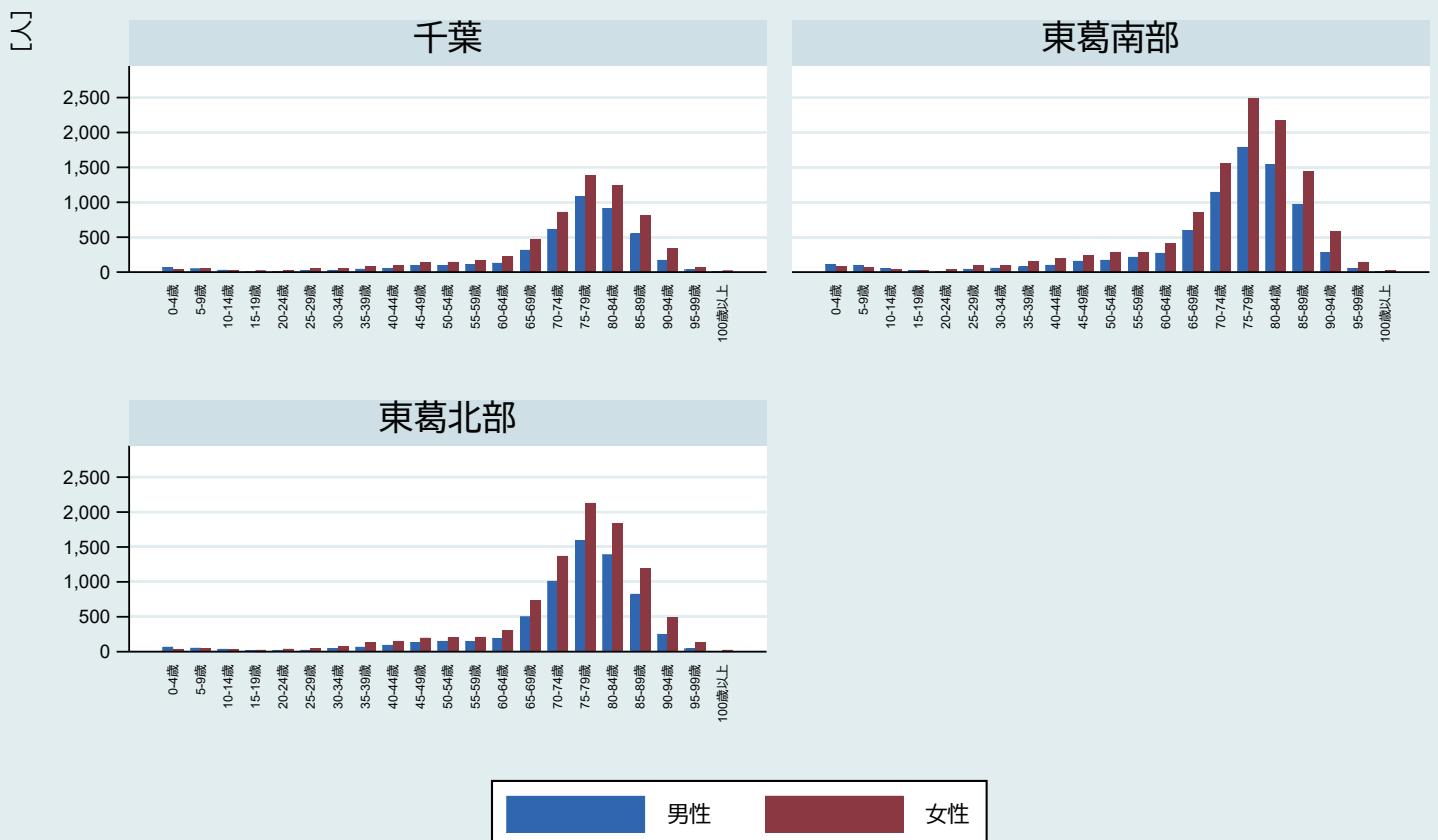


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-1. 重複投薬患者数【2次医療圏別1・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)

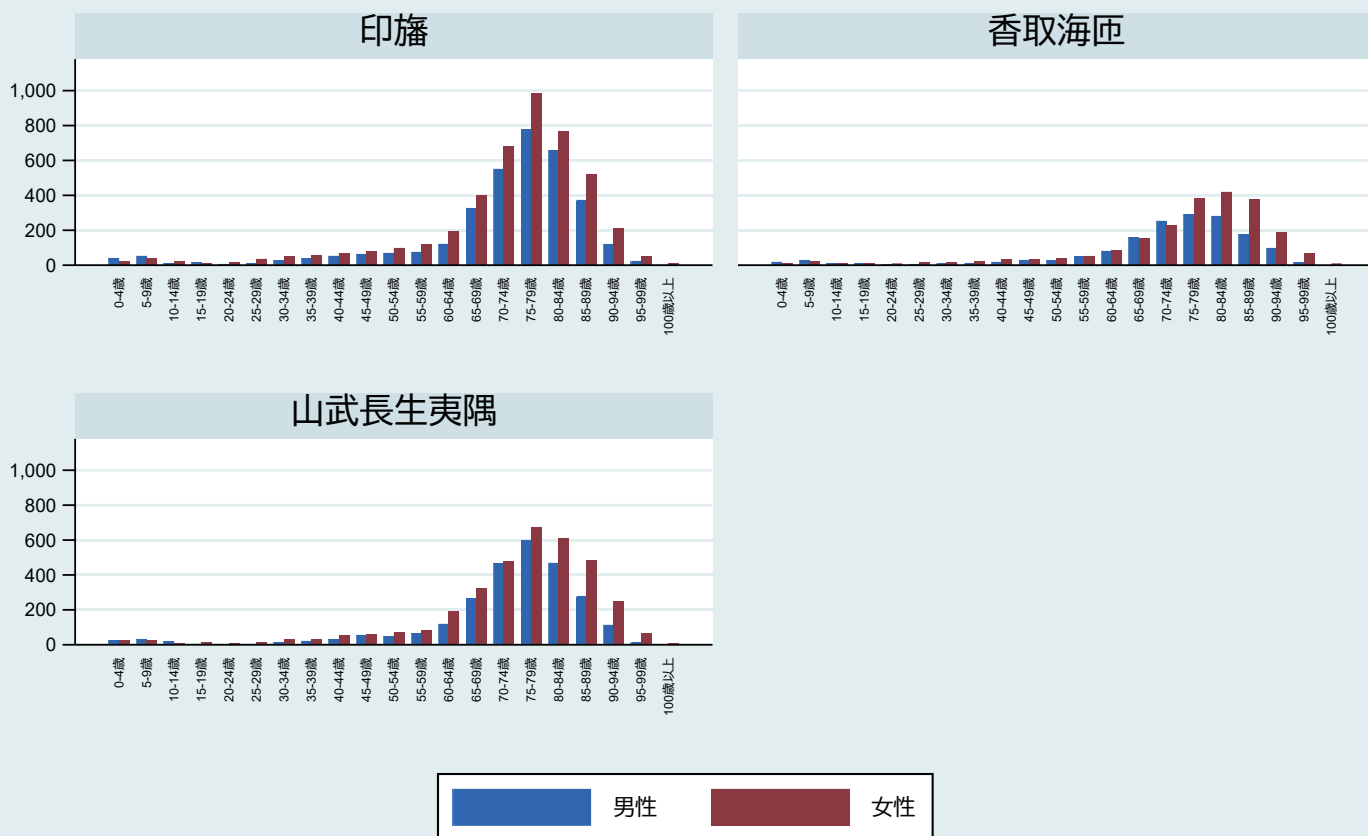


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-2-1. 重複投薬患者数【2次医療圏別2・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)

【人】

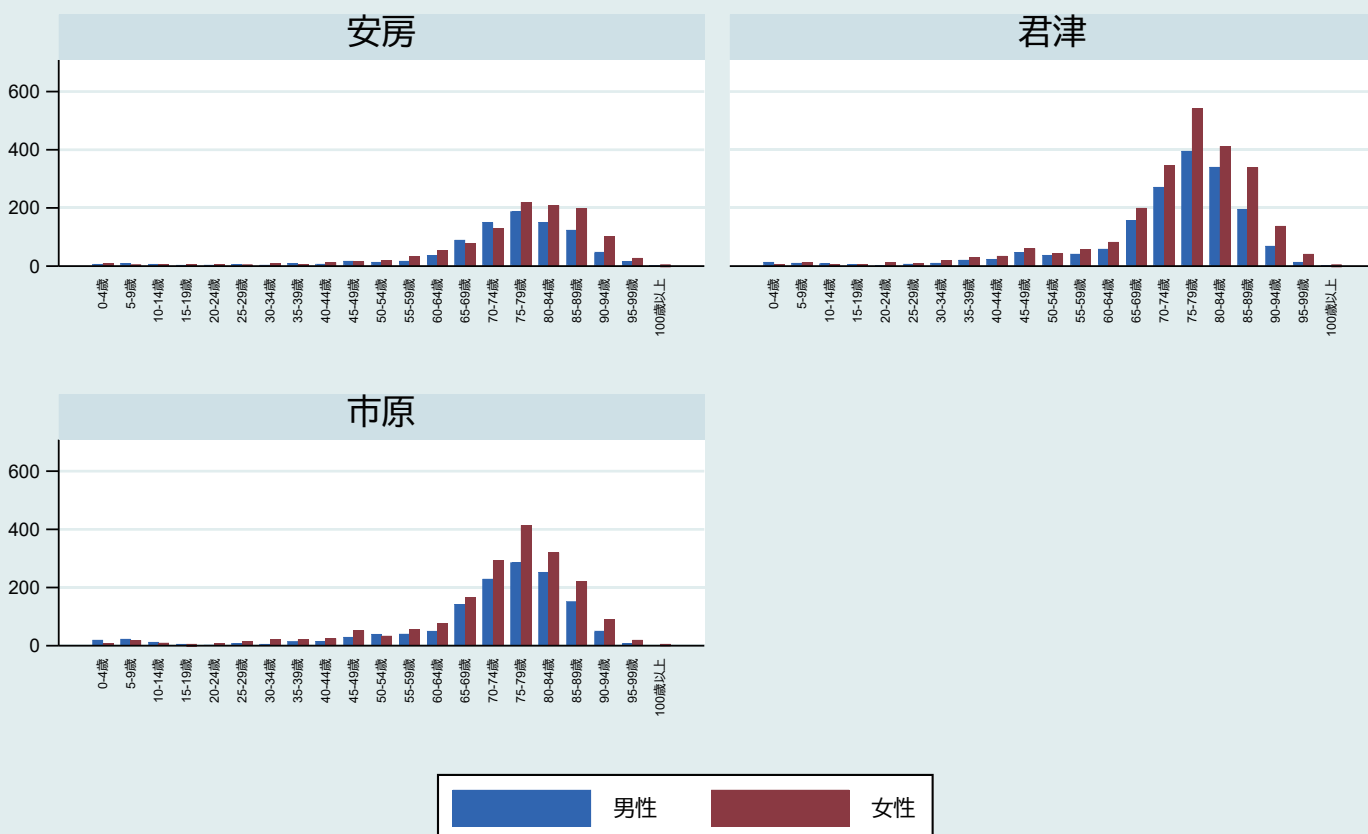


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-2-1. 重複投薬患者数【2次医療圏別3・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)

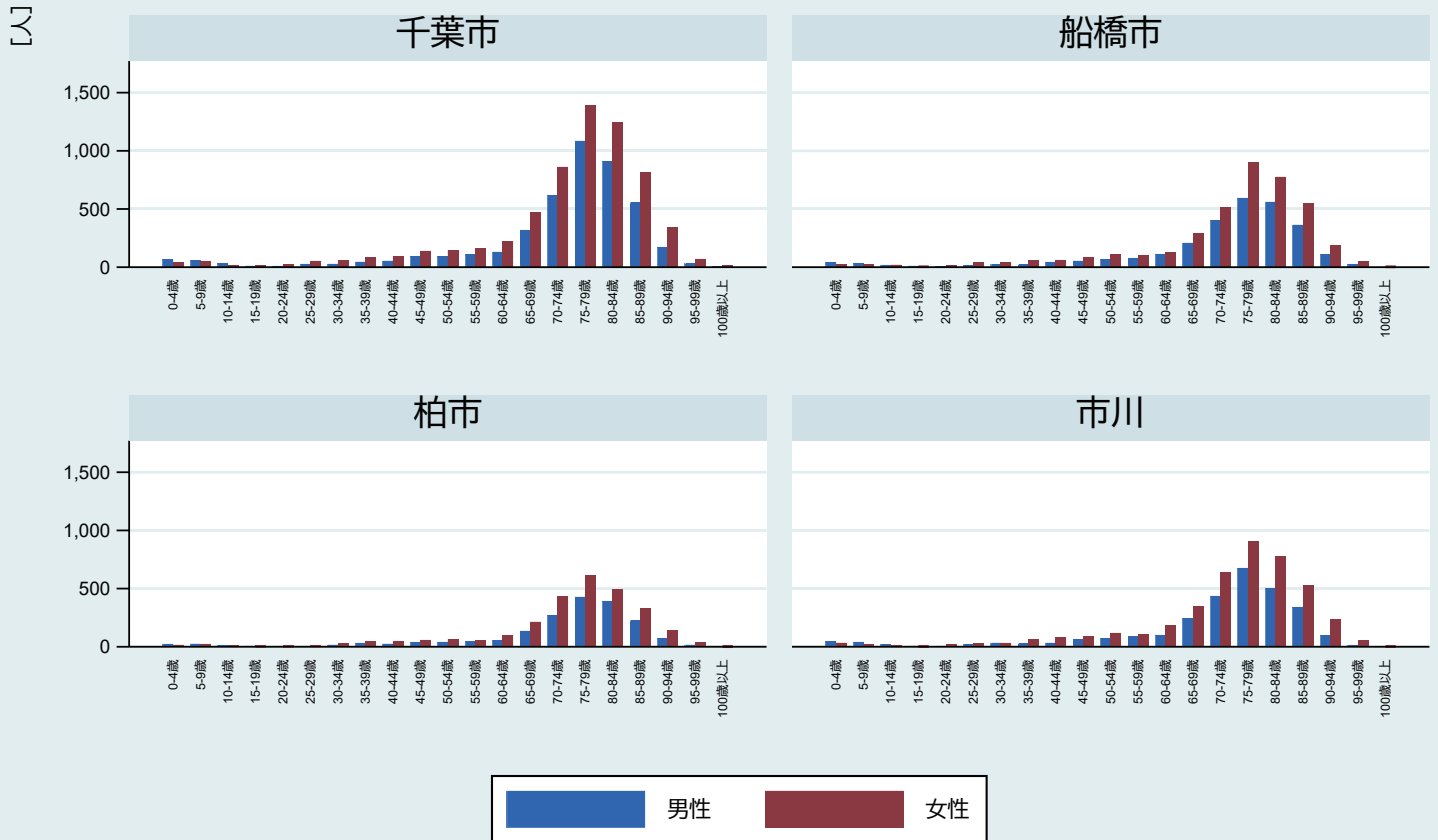
【人】



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

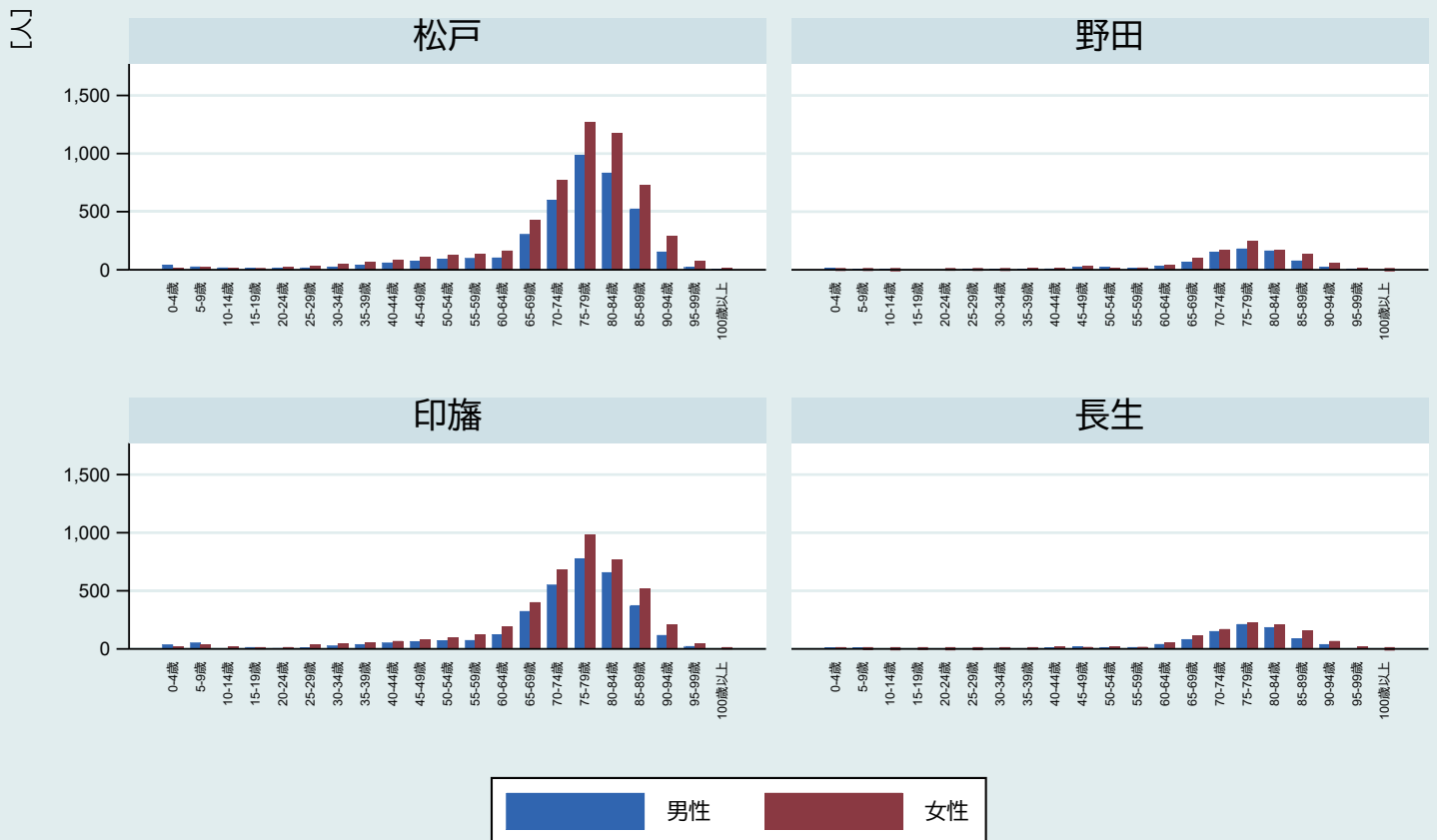
4-2-1. 重複投薬患者数【保健所圏域別1・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

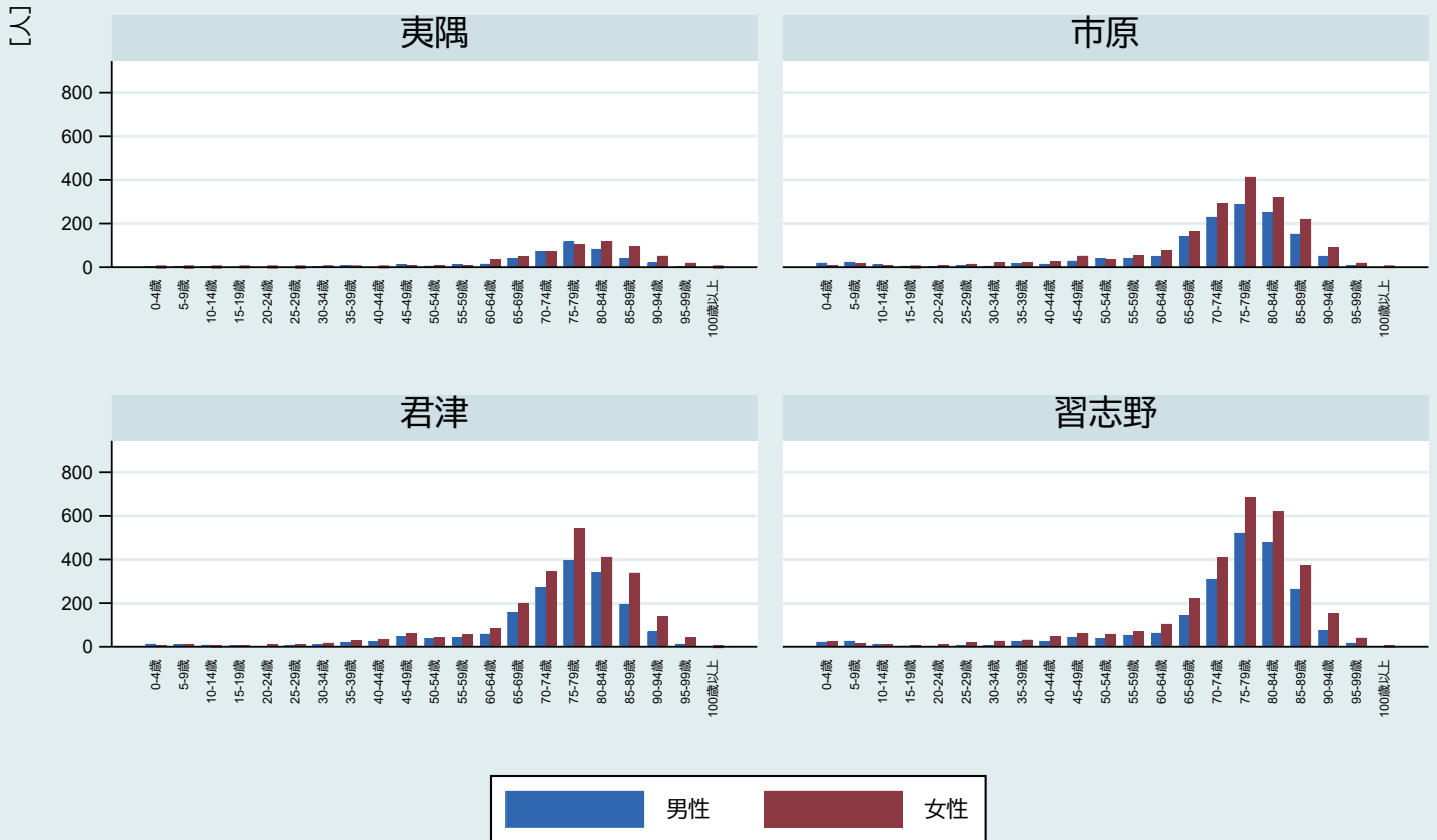
4-2-1. 重複投薬患者数【保健所圏域別2・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

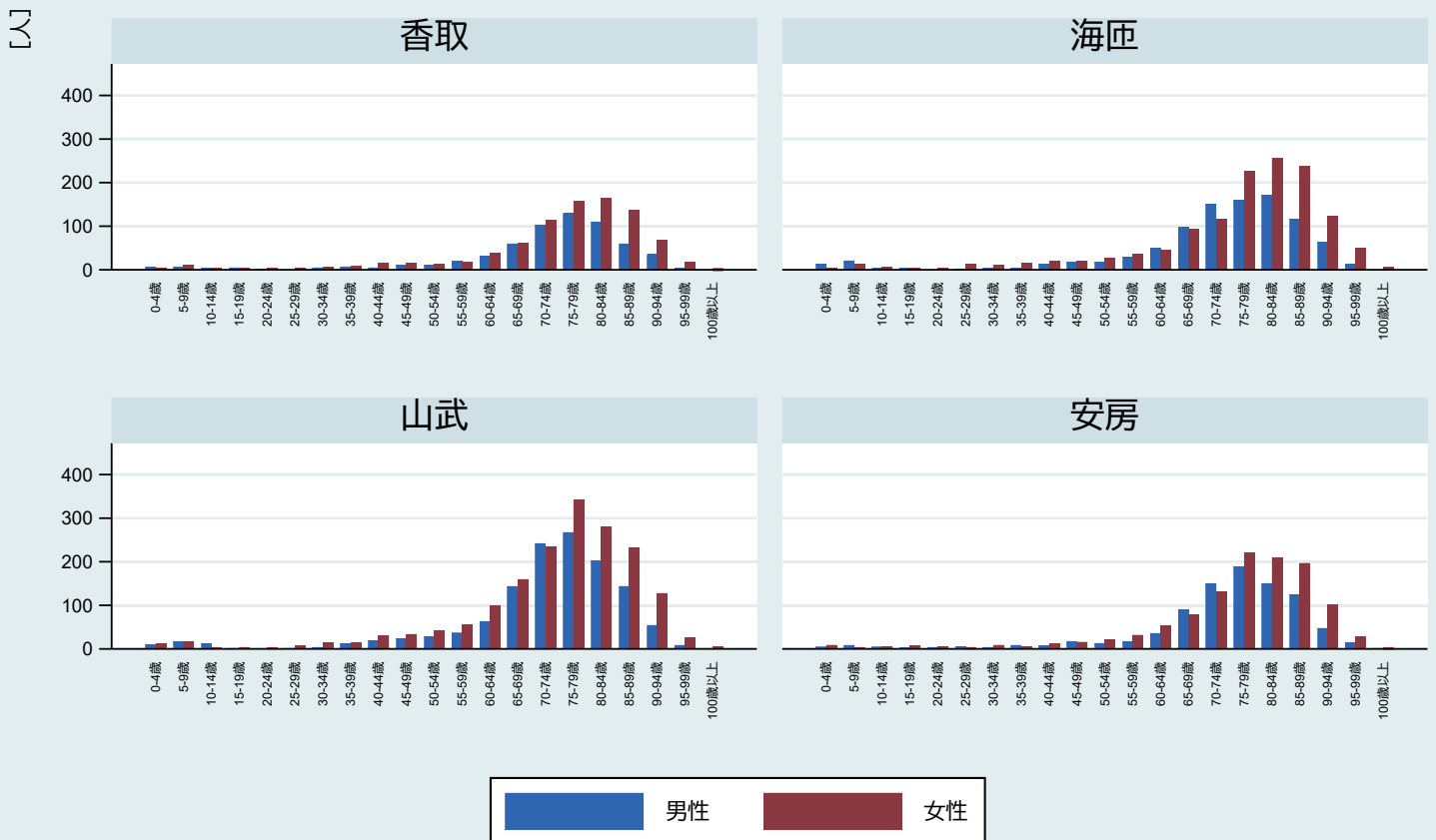
注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-2-1. 重複投薬患者数【保健所圏域別3・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

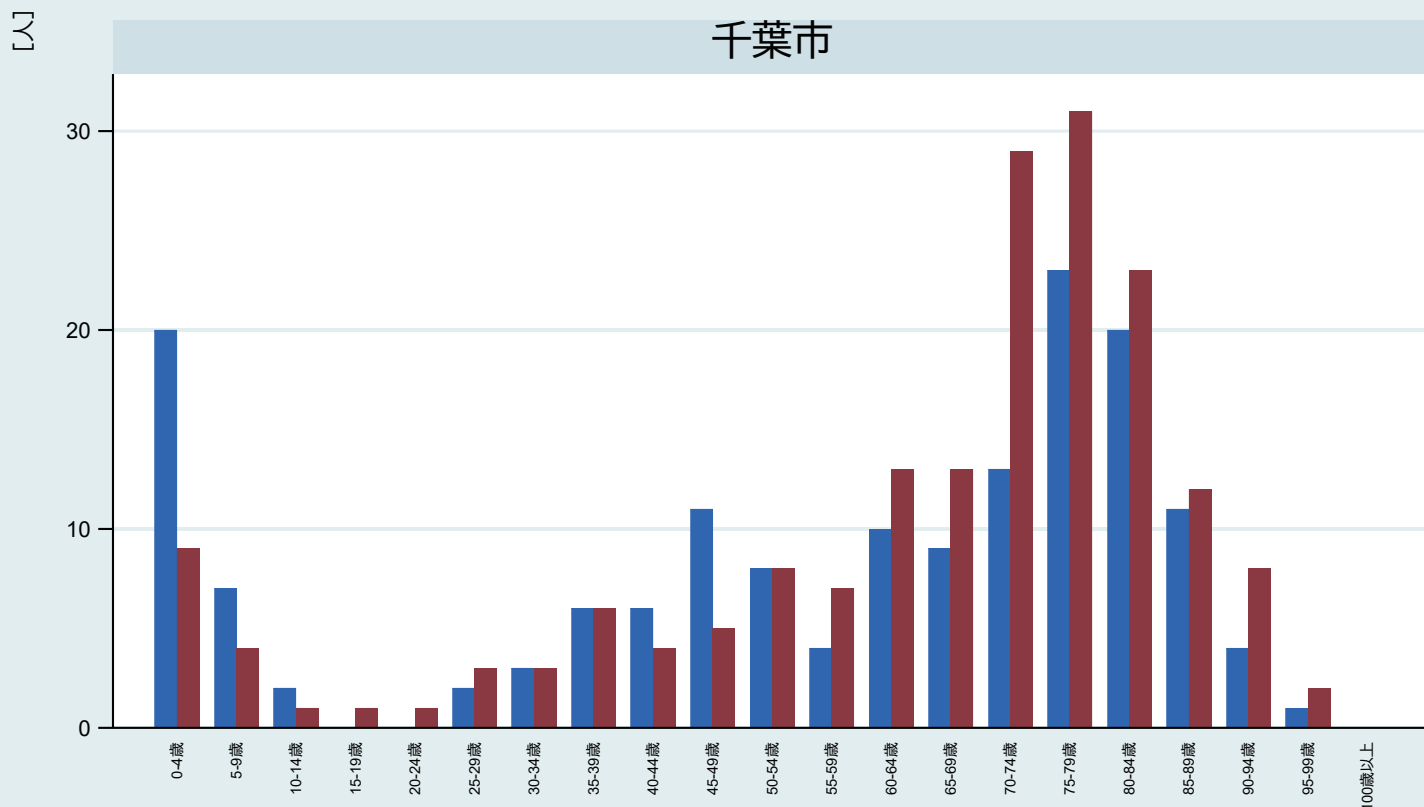
4-2-1. 重複投薬患者数【保健所圏域別4・性別・年齢階級別】 (2019年度・2医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別1・性別・年齢階級別】 千葉医療圏（2019年度・3医療機関）

千葉市

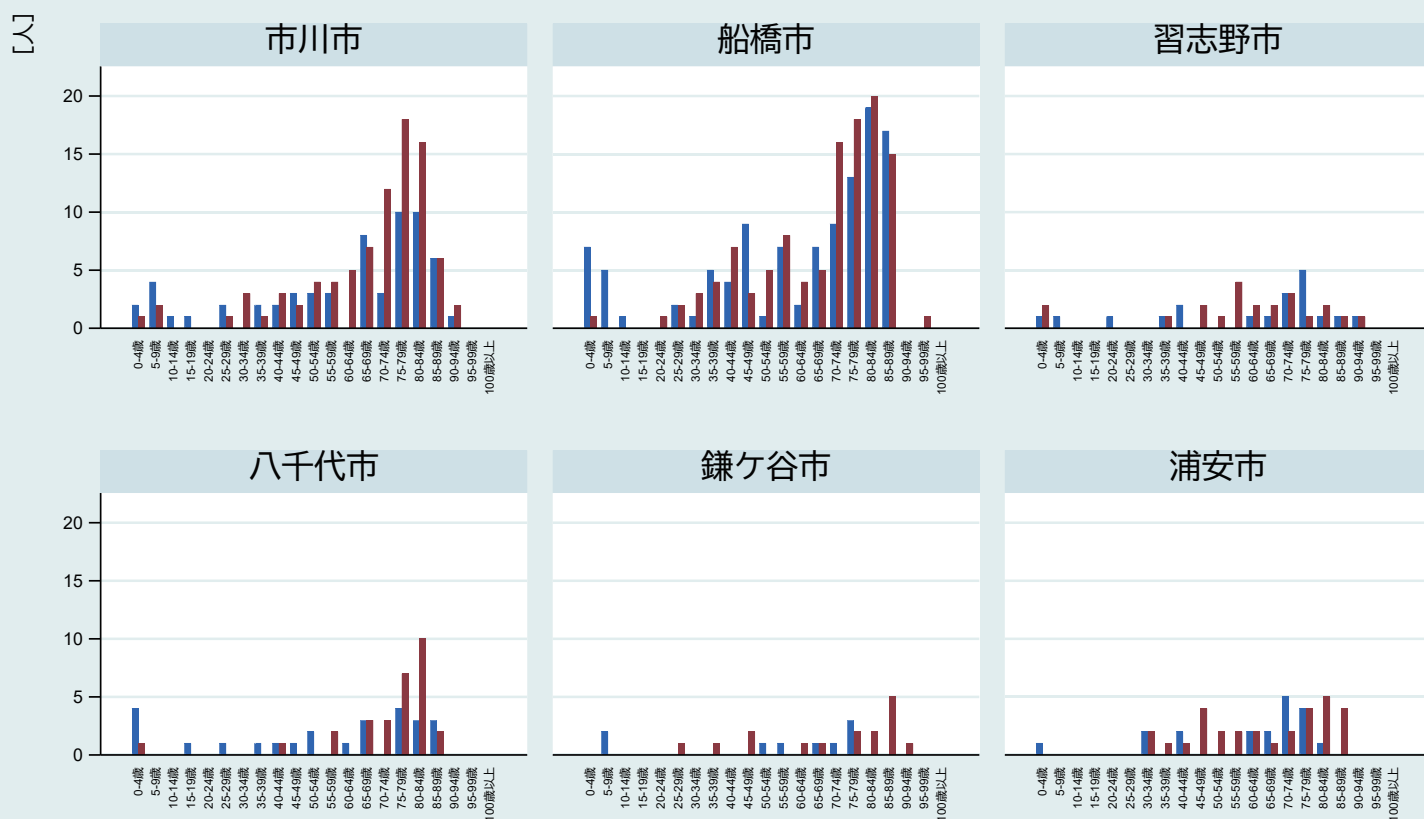


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別2・性別・年齢階級別】 東葛南部医療圏（2019年度・3医療機関）



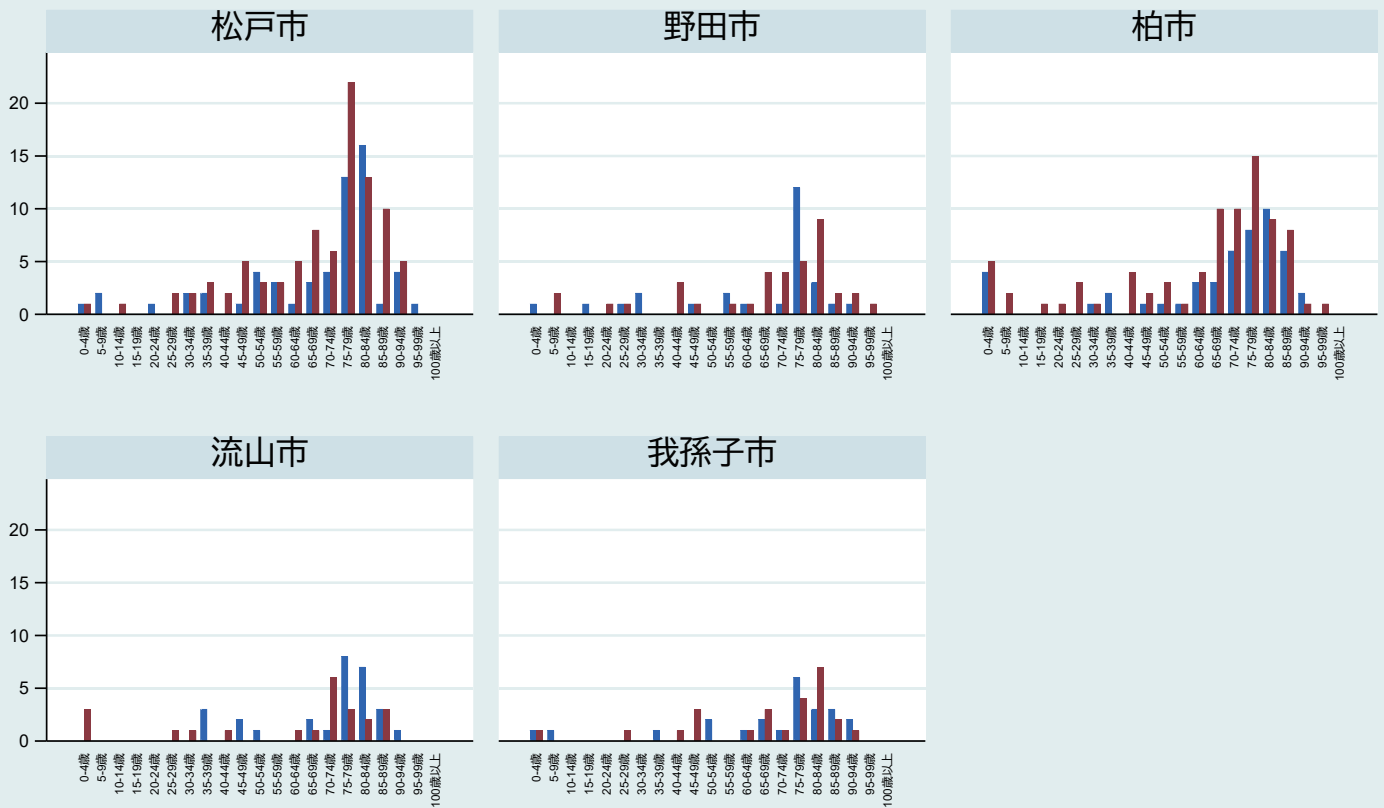
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別3・性別・年齢階級別】 東葛北部医療圏（2019年度・3医療機関）

人



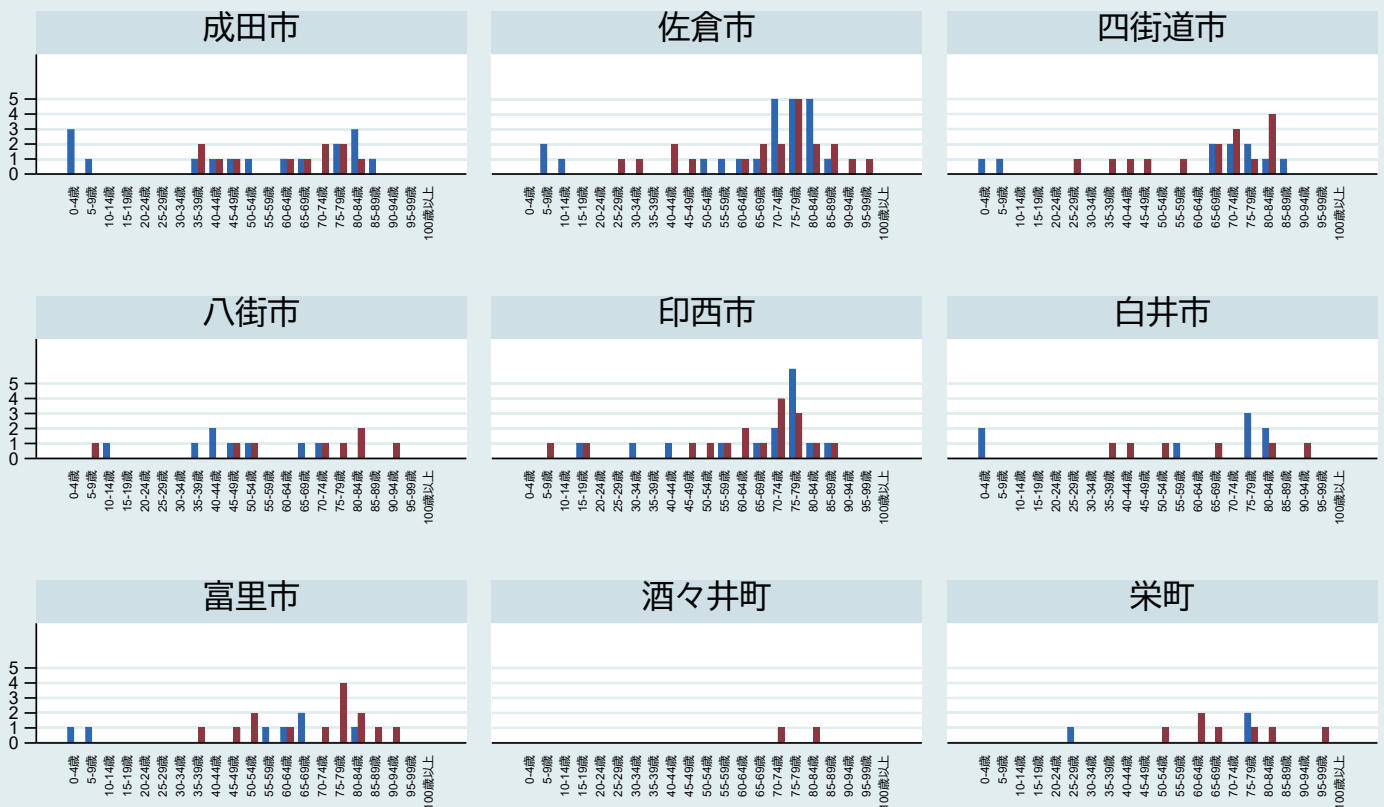
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別4・性別・年齢階級別】 印旛医療圏（2019年度・3医療機関）

人

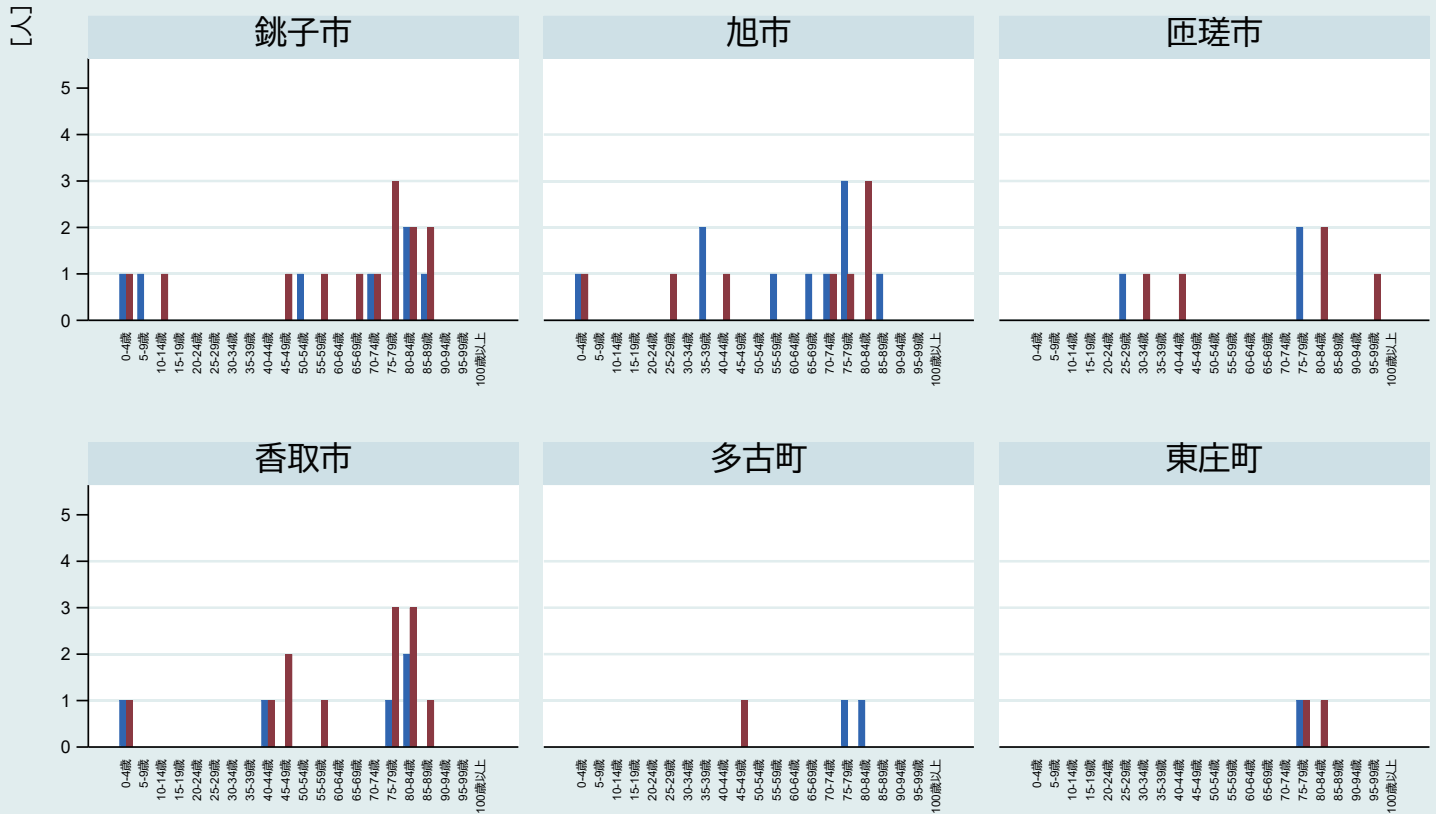


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別5・性別・年齢階級別】 香取海匠医療圏（2019年度・3医療機関）

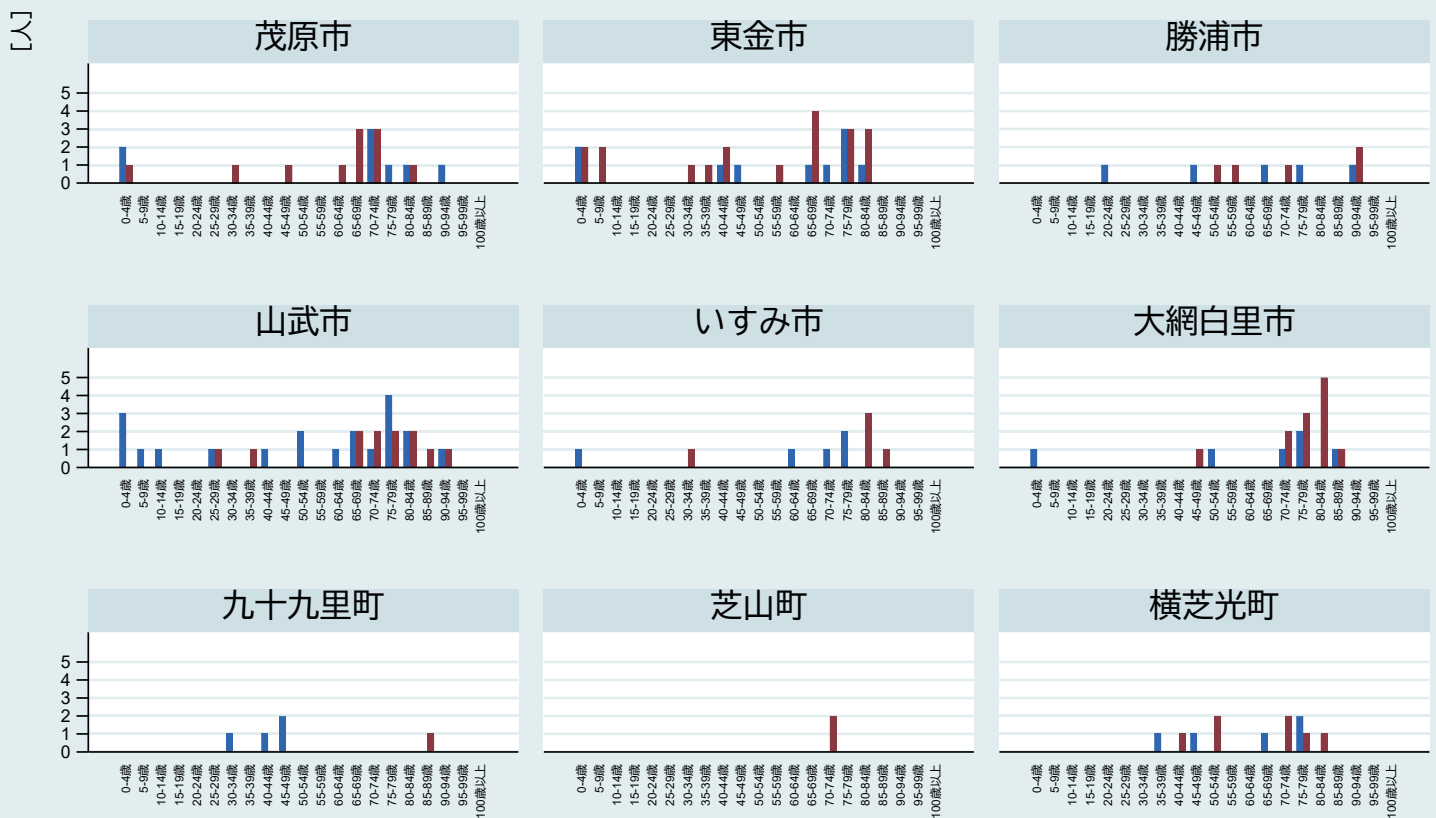


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別6・性別・年齢階級別】 山武長生夷隅医療圏-1（2019年度・3医療機関）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別7・性別・年齢階級別】 山武長生夷隅医療圏-2（2019年度・3医療機関）

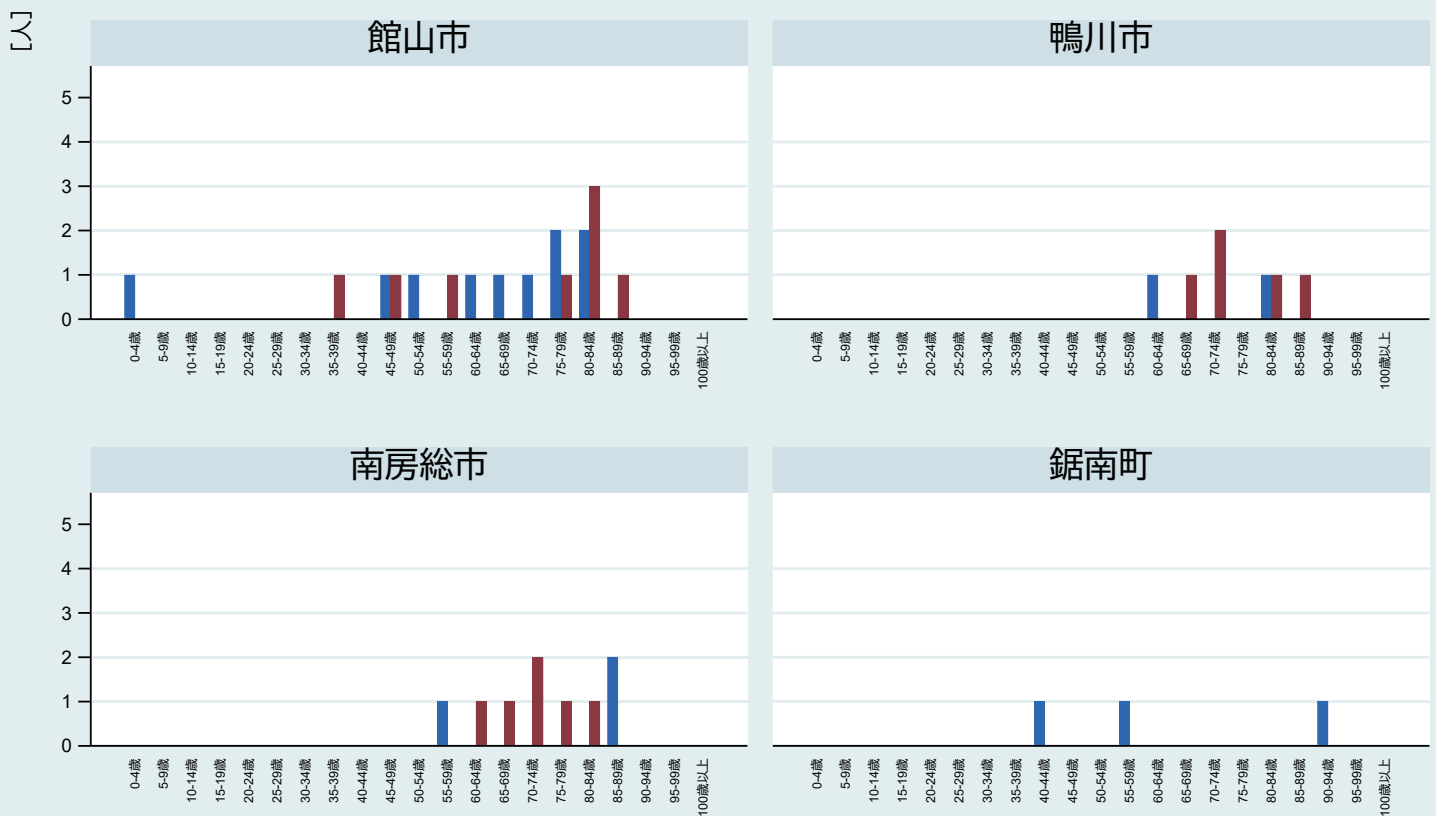


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別8・性別・年齢階級別】 安房医療圏（2019年度・3医療機関）

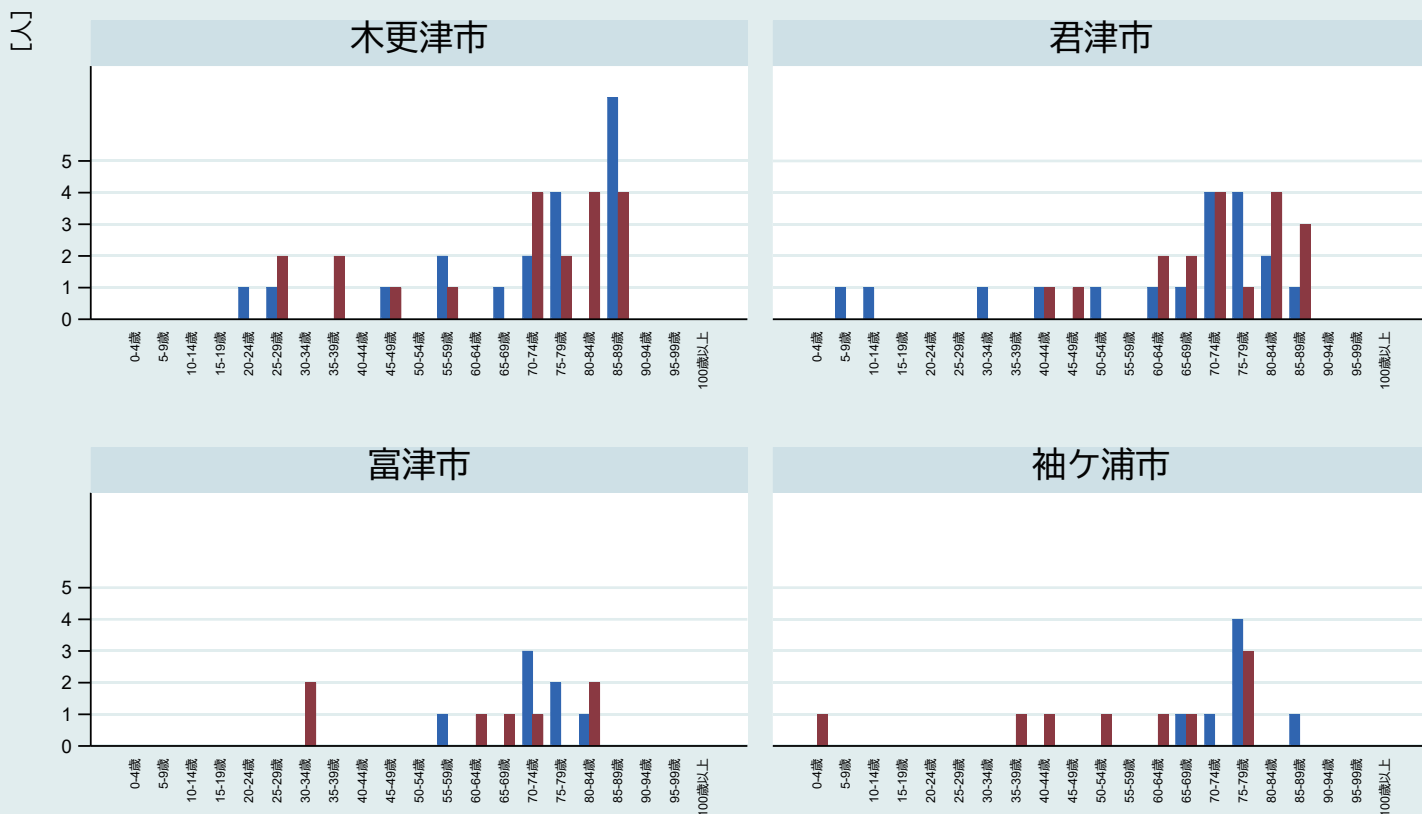


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別9・性別・年齢階級別】 君津医療圏（2019年度・3医療機関）

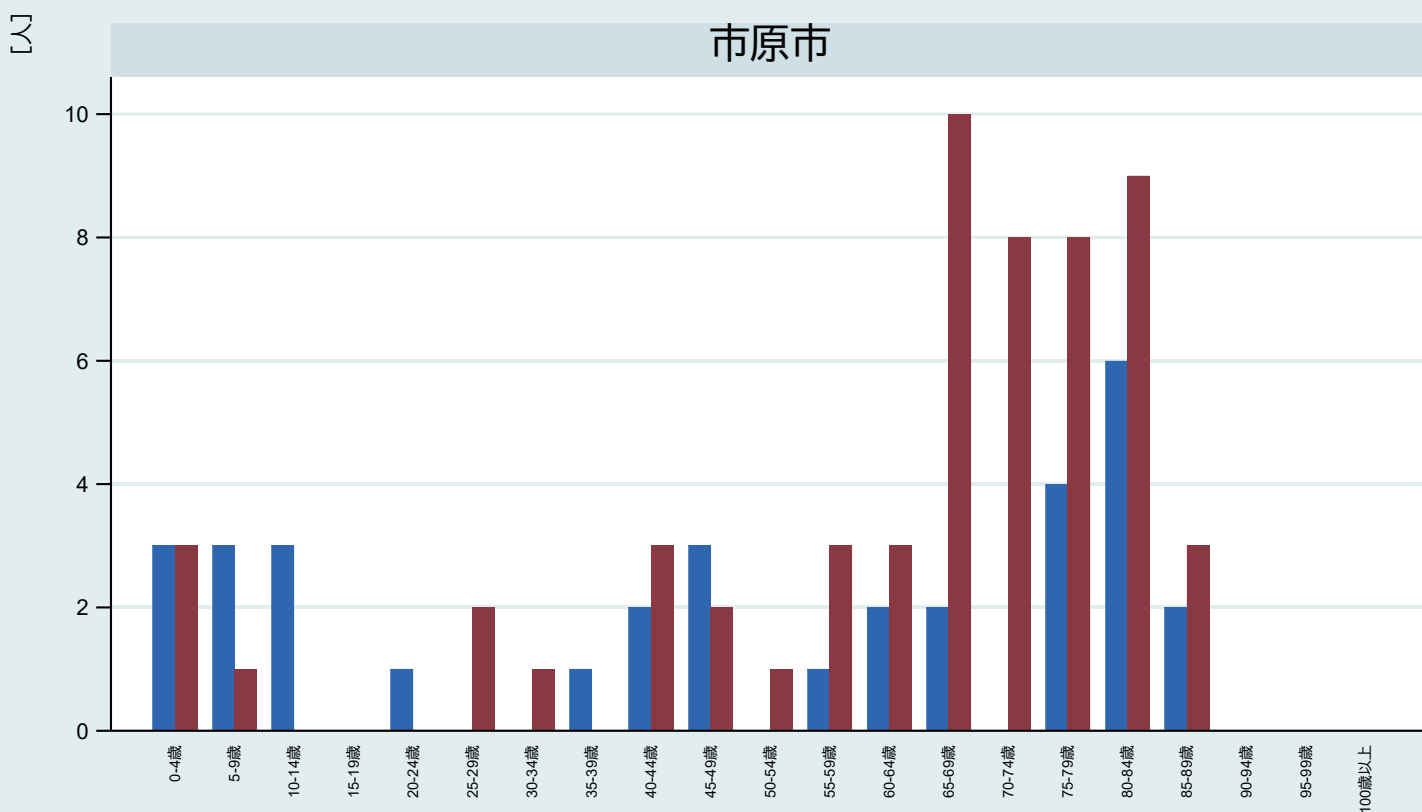


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-2. 重複投薬患者数【市町村別10・性別・年齢階級別】 市原医療圏（2019年度・3医療機関）

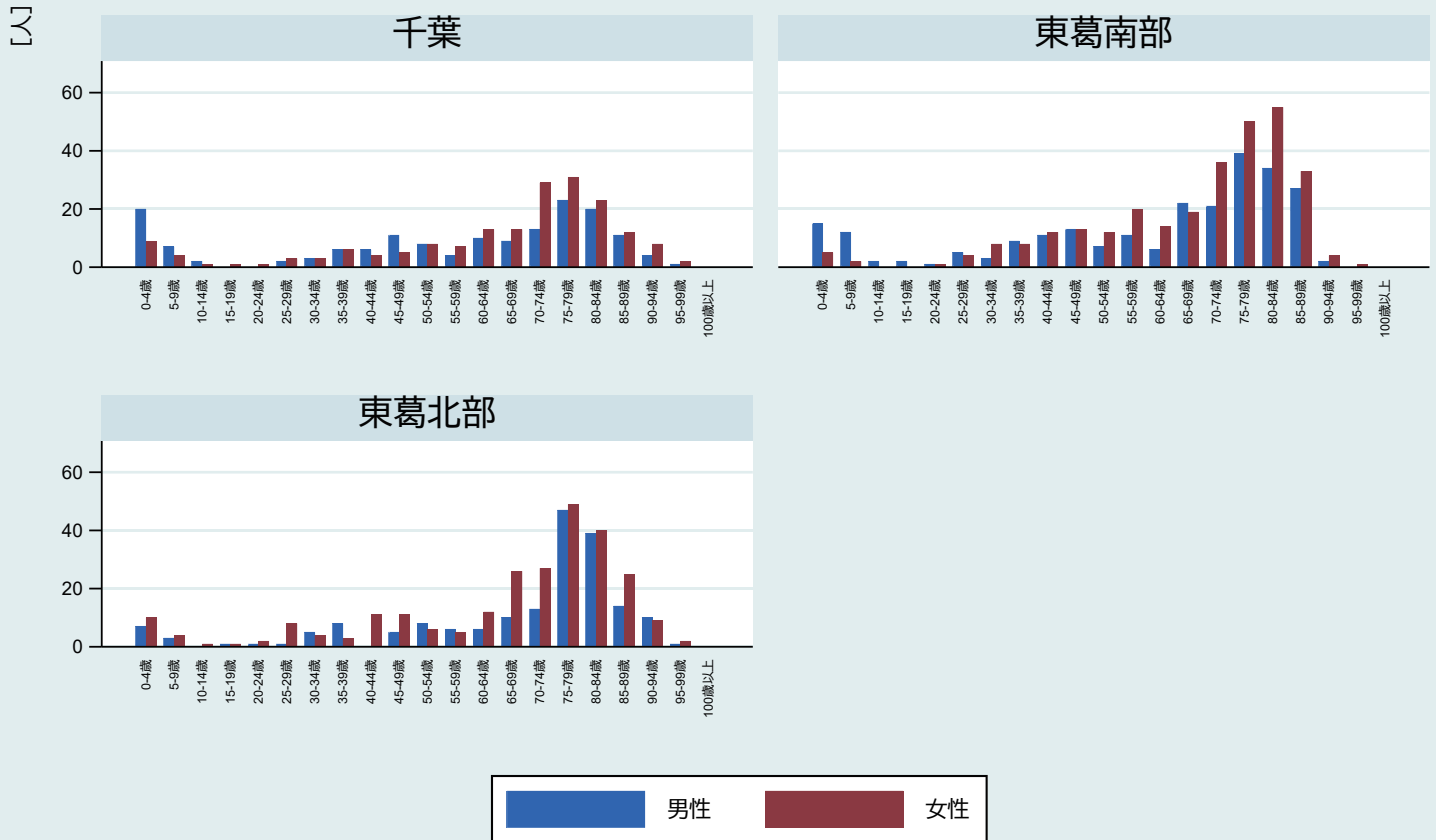


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

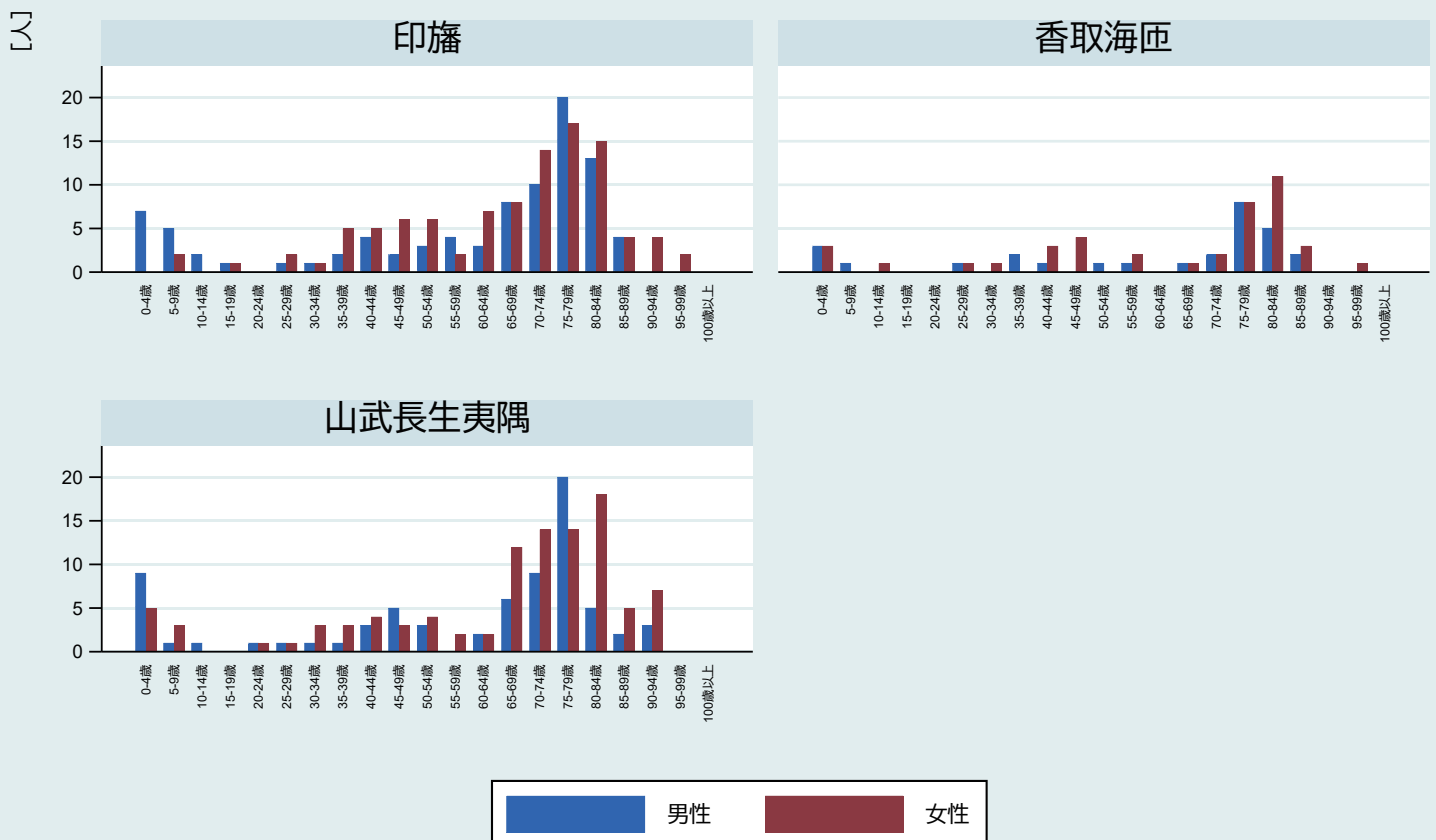
4-2-2. 重複投薬患者数【2次医療圏別1・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日分以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

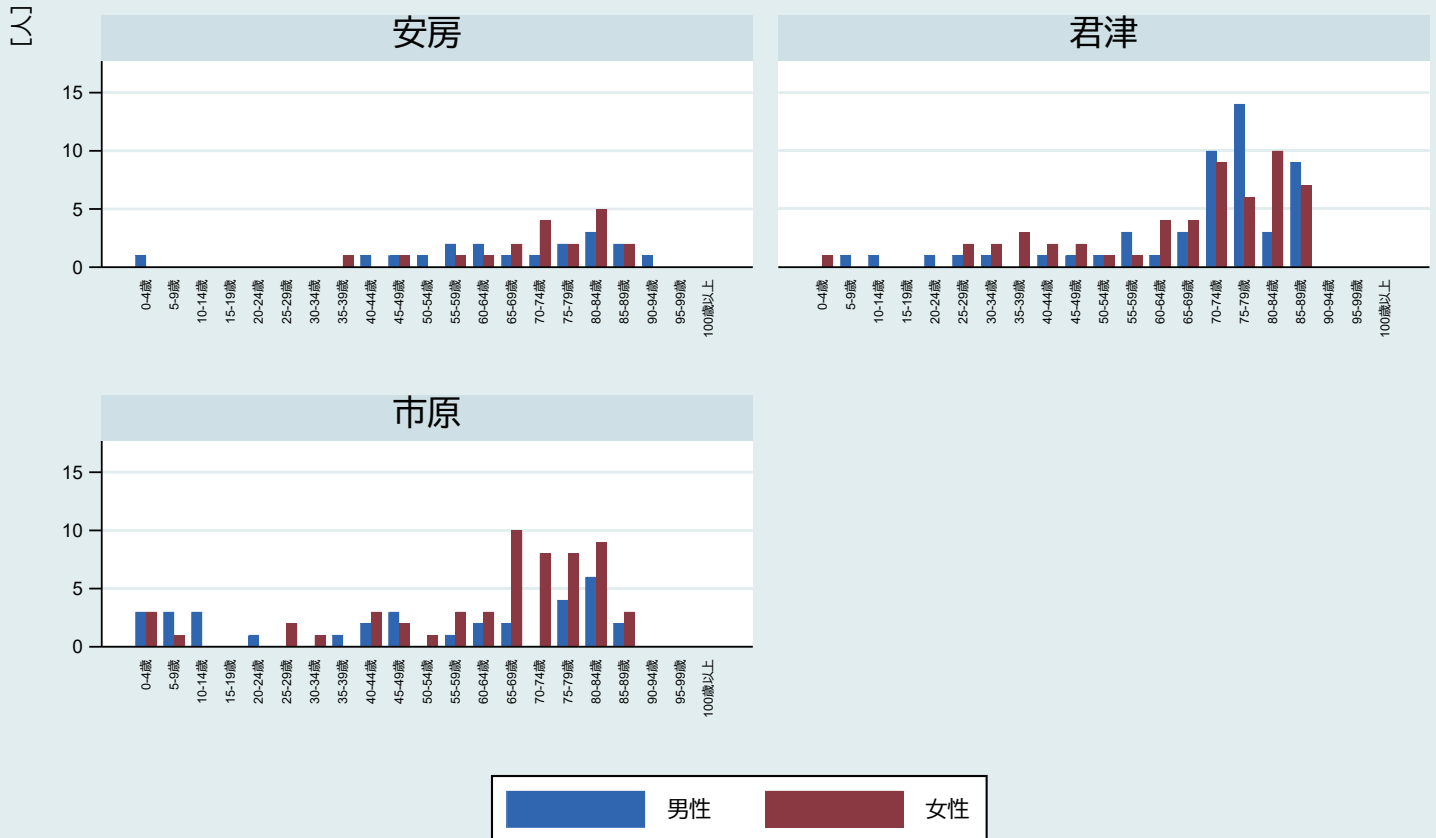
4-2-2. 重複投薬患者数【2次医療圏別2・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日分以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

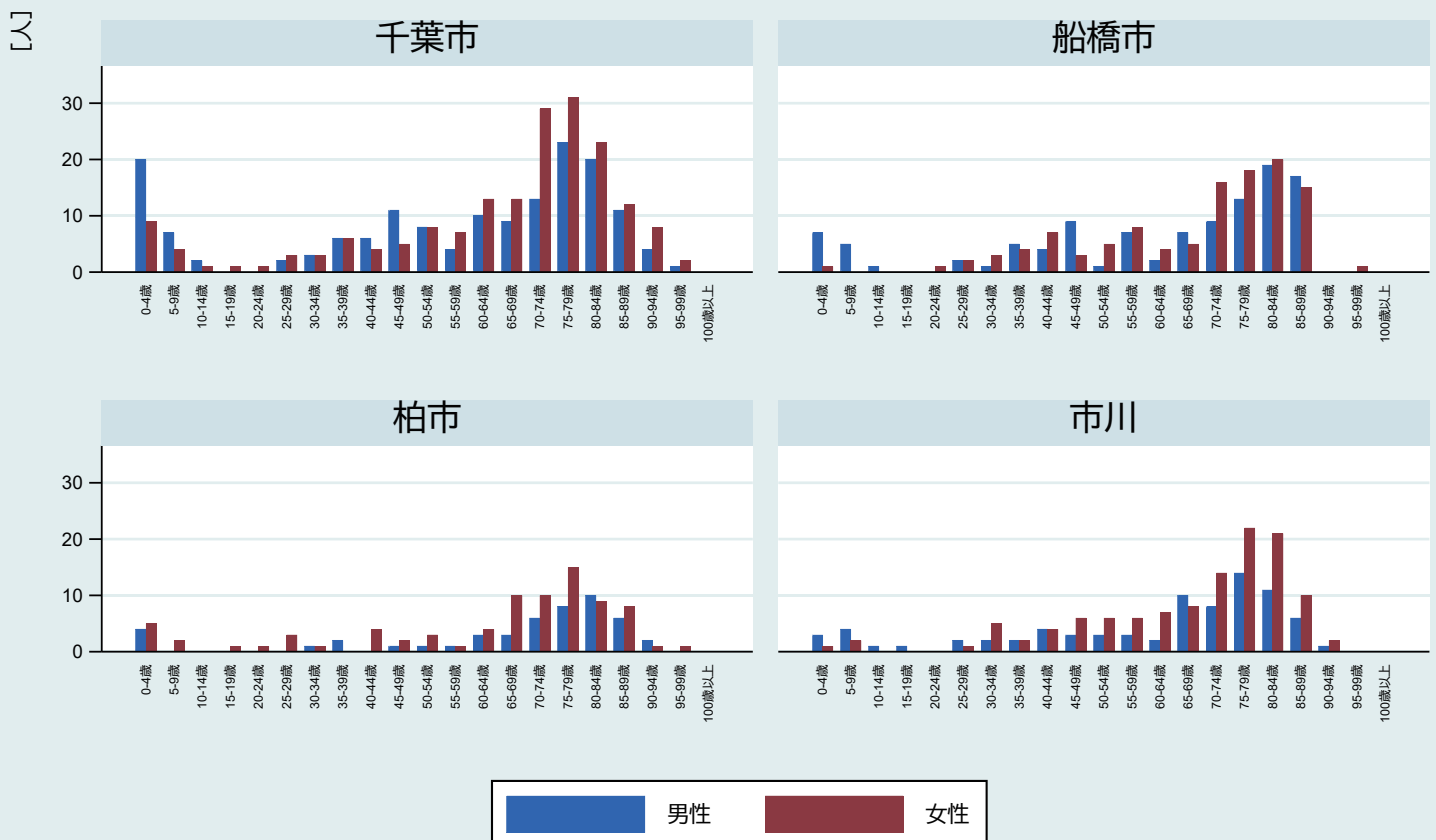
4-2-2. 重複投薬患者数【2次医療圏別3・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

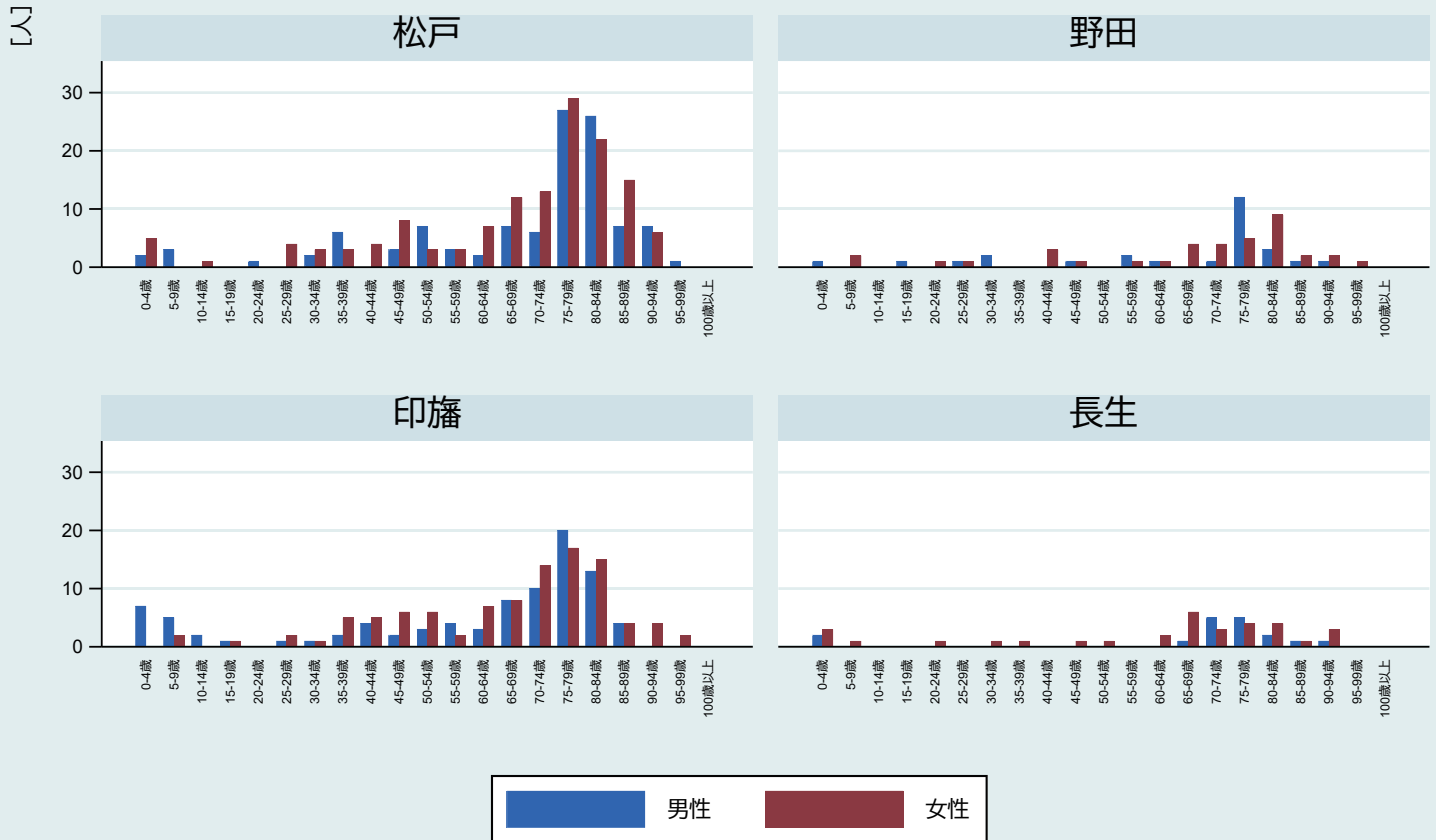
4-2-2. 重複投薬患者数【保健所圏域1・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

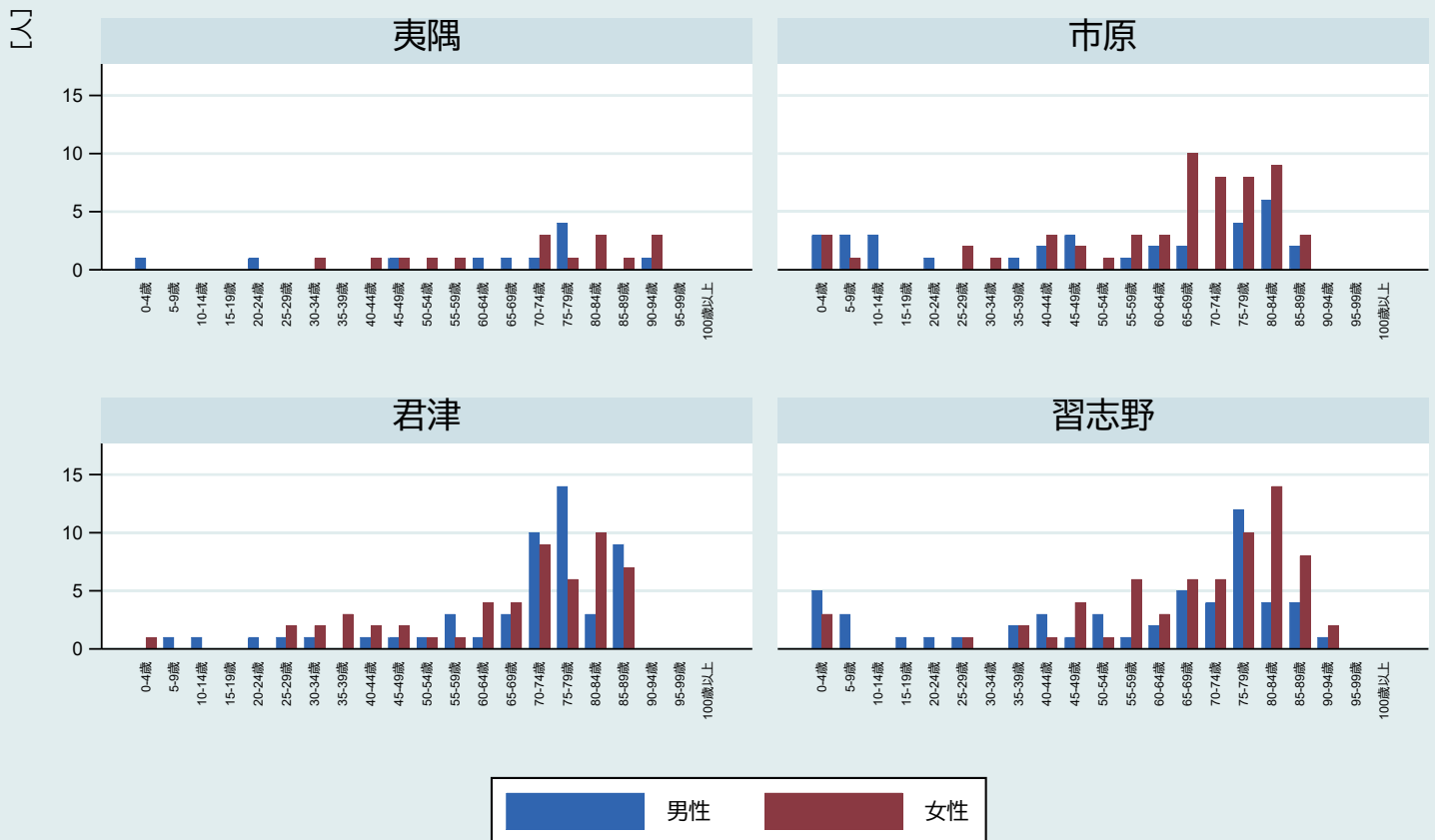
4-2-2. 重複投薬患者数【保健所圏域2・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日分以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

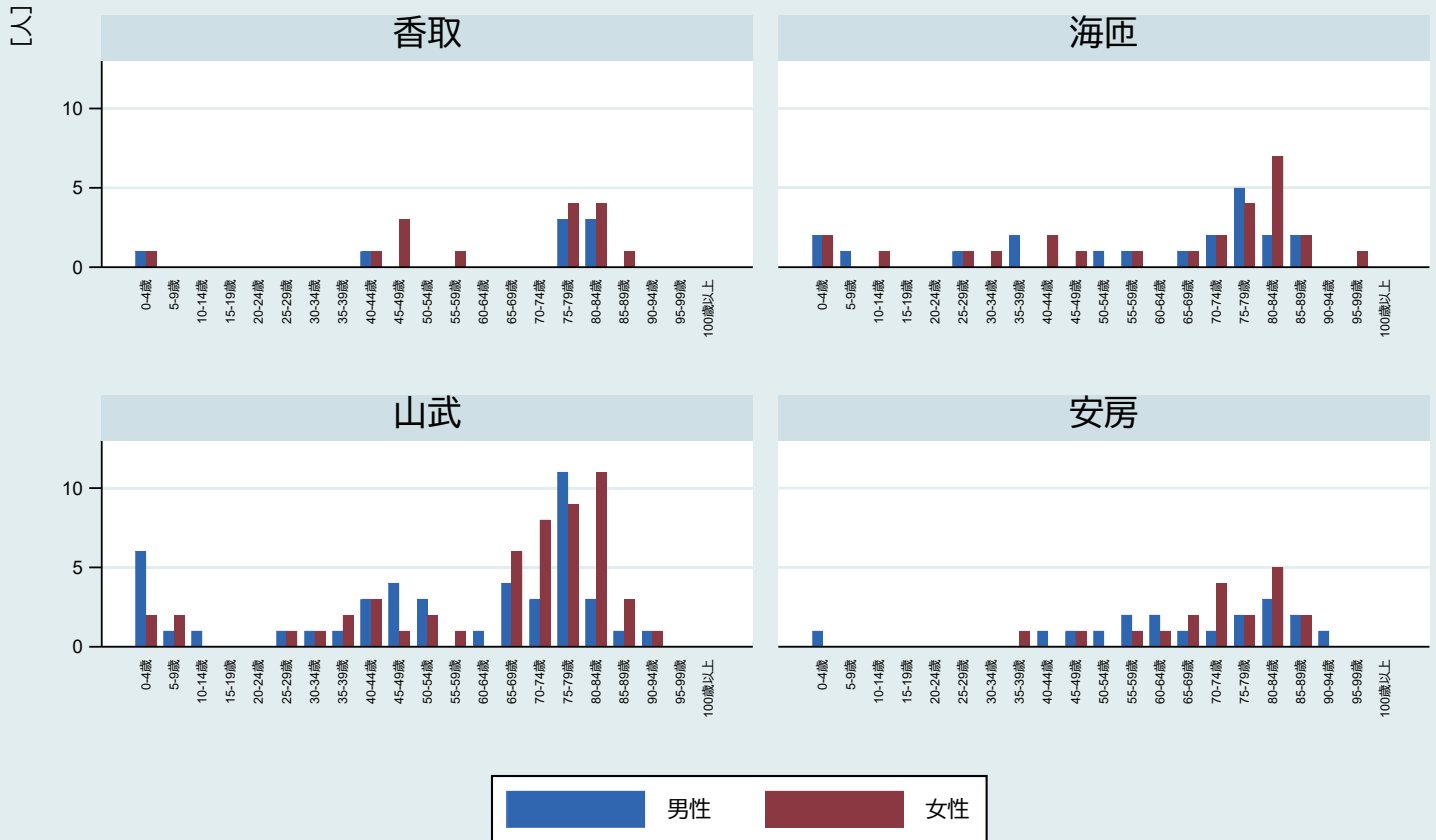
4-2-2. 重複投薬患者数【保健所圏域3・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日分以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

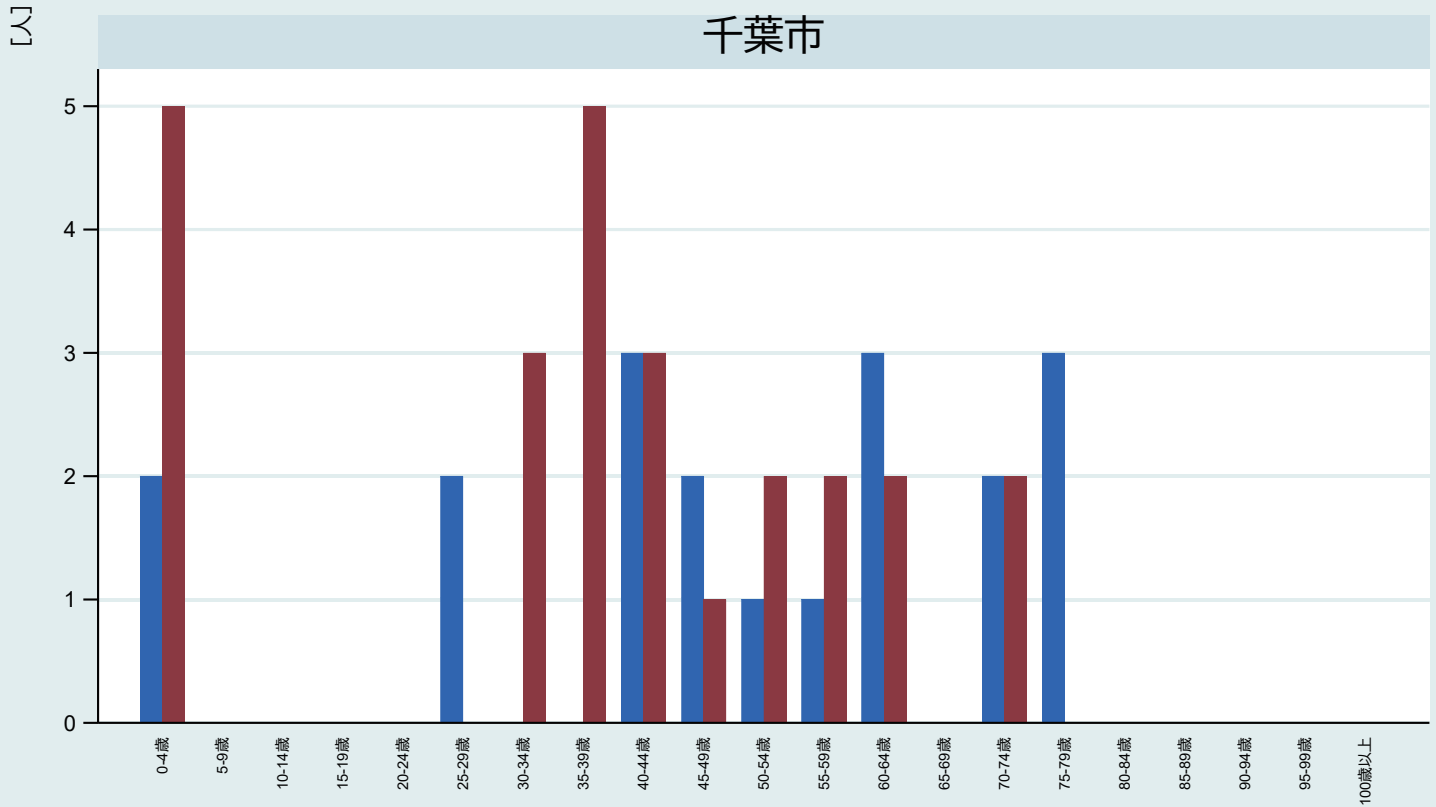
4-2-2. 重複投薬患者数【保健所圏域4・性別・年齢階級別】 (2019年度・3医療機関)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

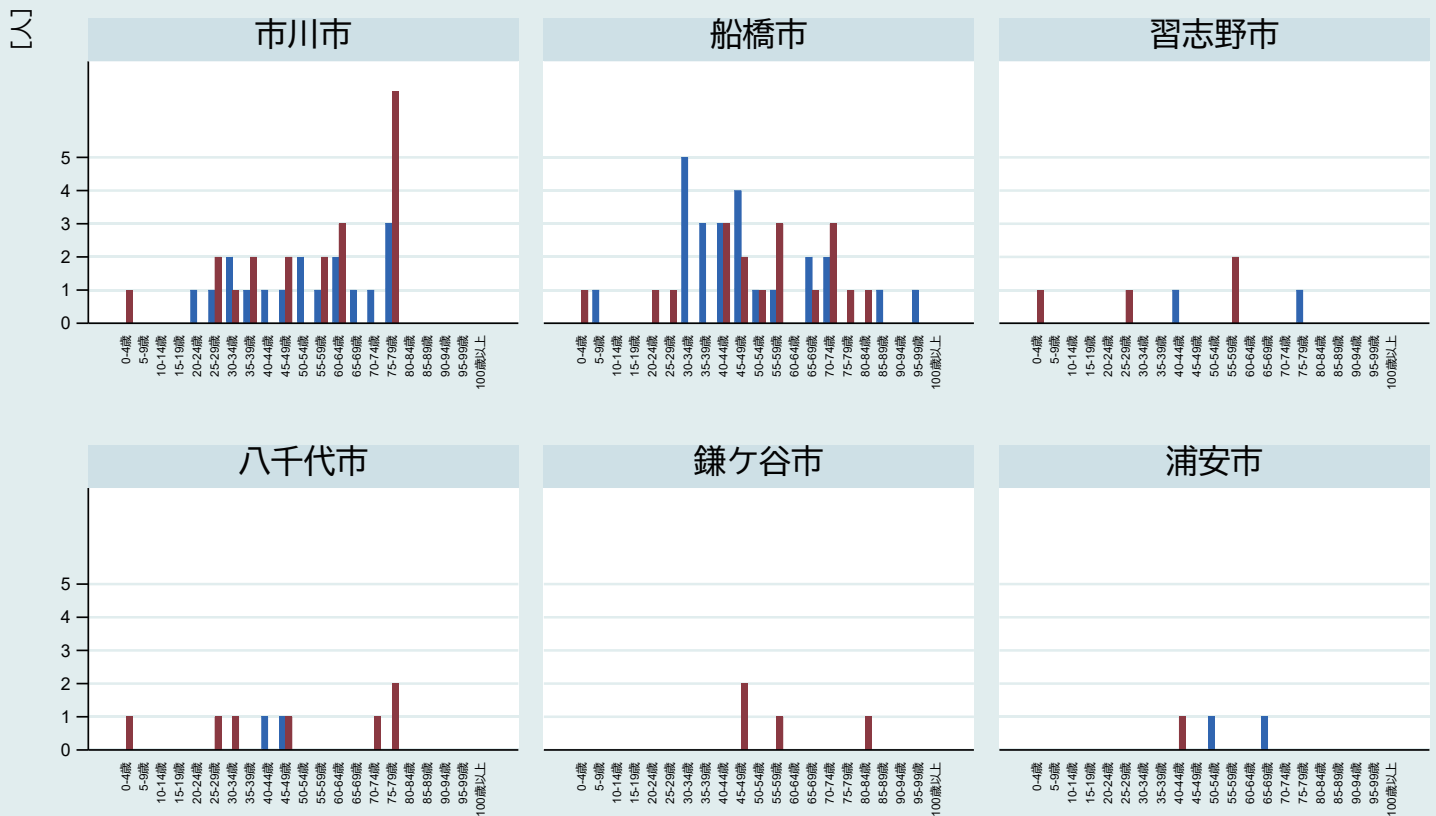
注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別1・性別・年齢階級別】 千葉医療圏（2019年度・4医療機関以上）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者
 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数
 注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別2・性別・年齢階級別】 東葛南部医療圏（2019年度・4医療機関以上）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者
 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数
 注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別3・性別・年齢階級別】 東葛北部医療圏（2019年度・4医療機関以上）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別4・性別・年齢階級別】 印旛医療圏（2019年度・4医療機関以上）

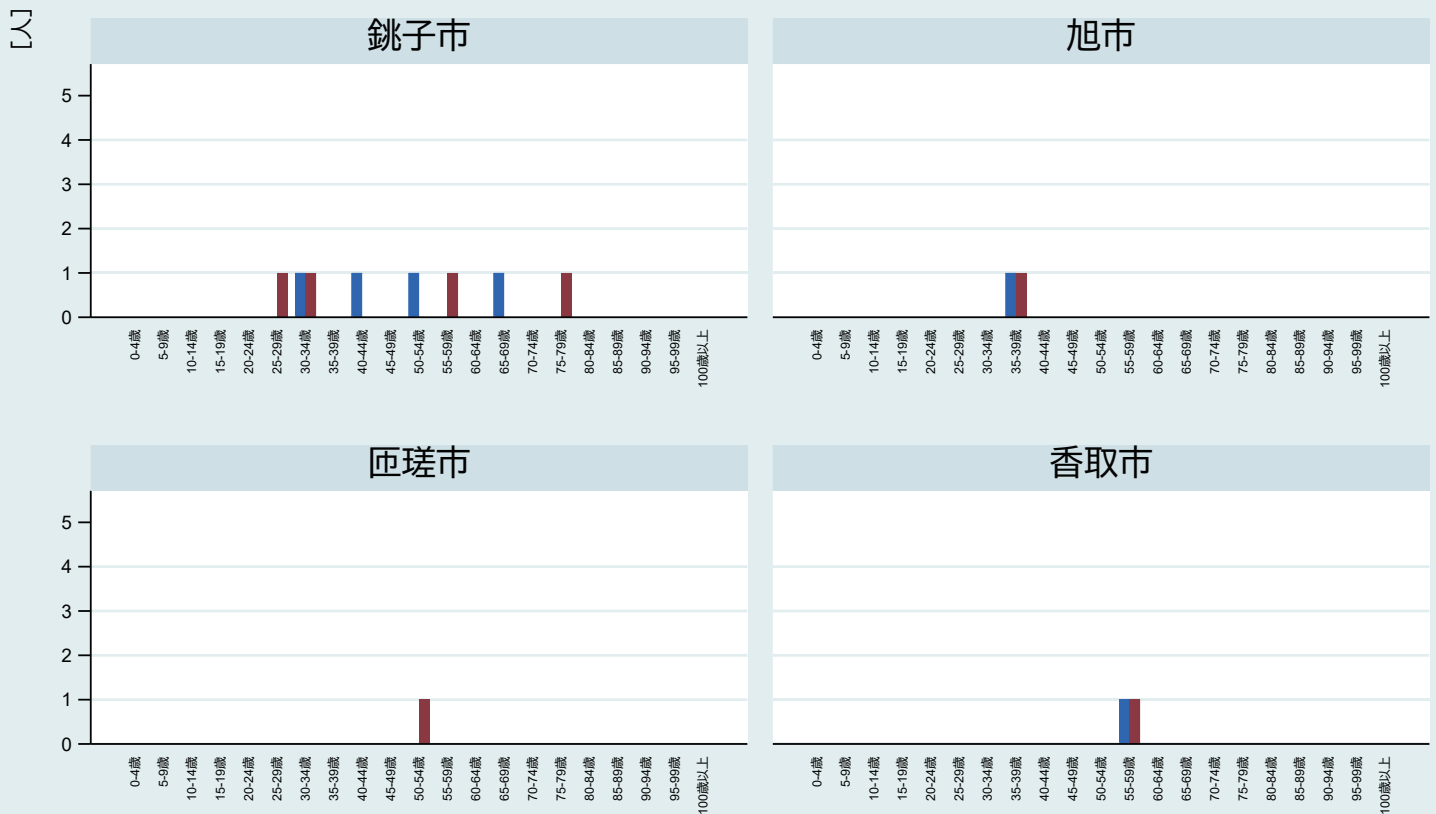


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別5・性別・年齢階級別】 香取海匠医療圏（2019年度・4医療機関以上）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別6・性別・年齢階級別】 山武長生夷隅医療圏（2019年度・4医療機関以上）

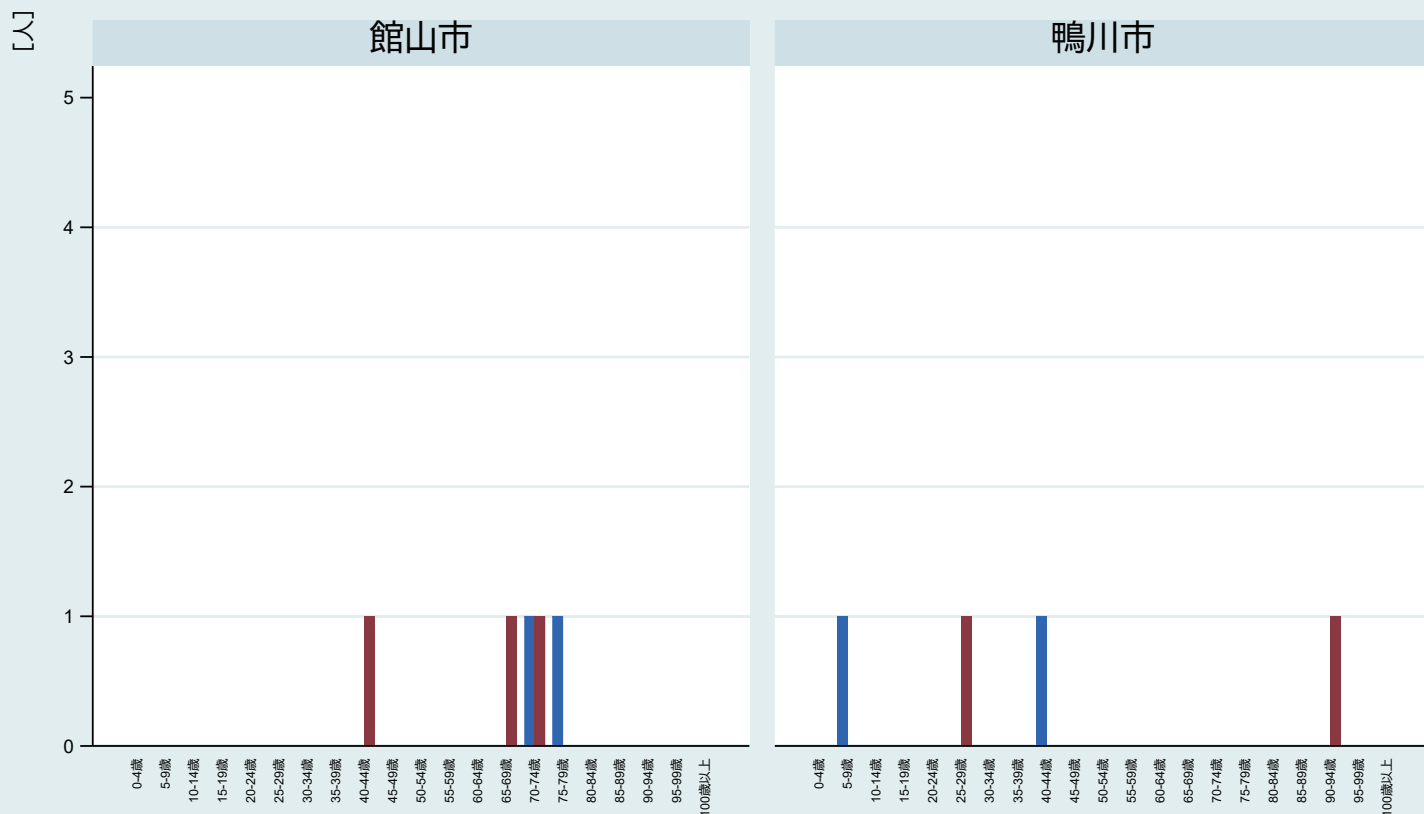


注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

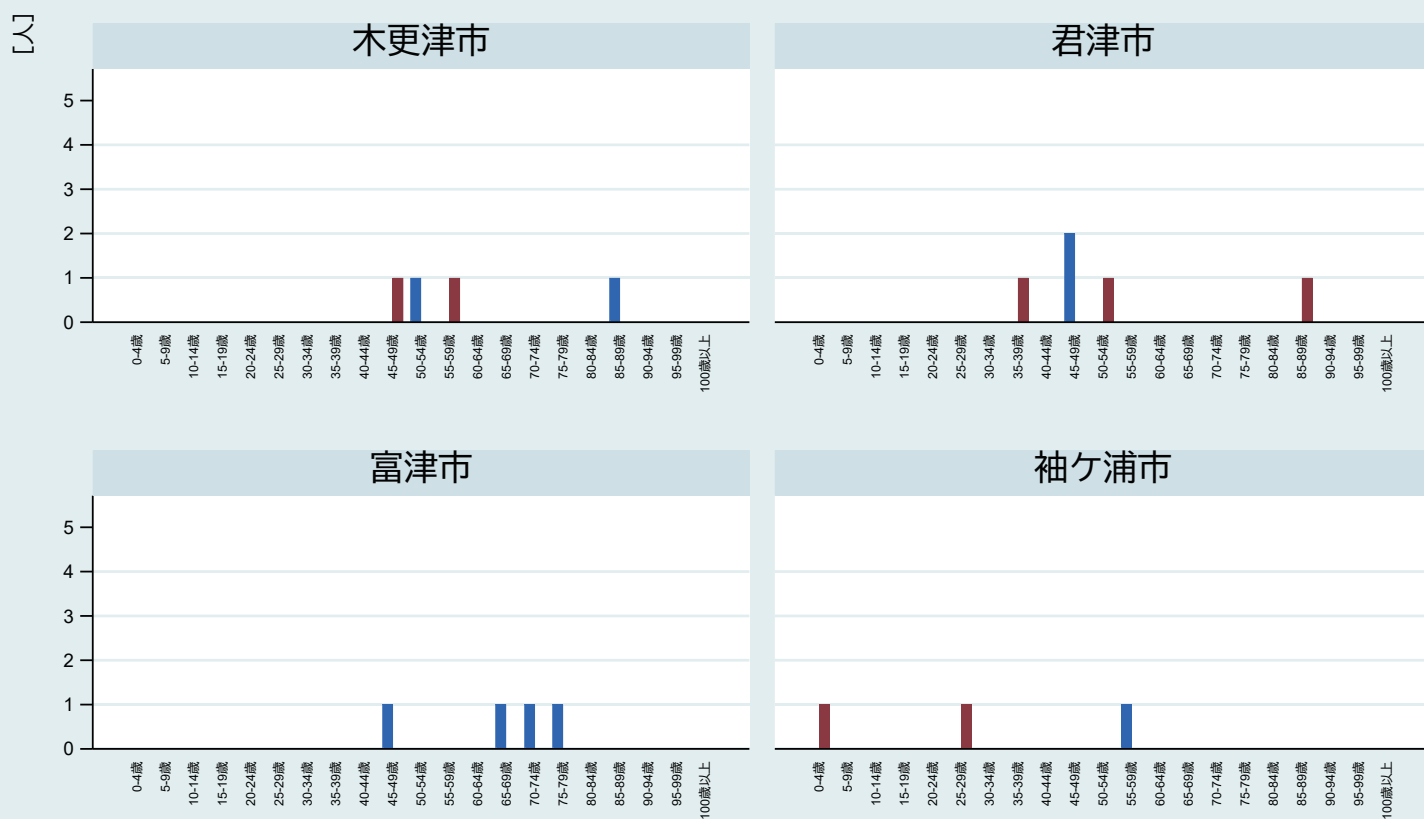
注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別7・性別・年齢階級別】 安房医療圏（2019年度・4医療機関以上）



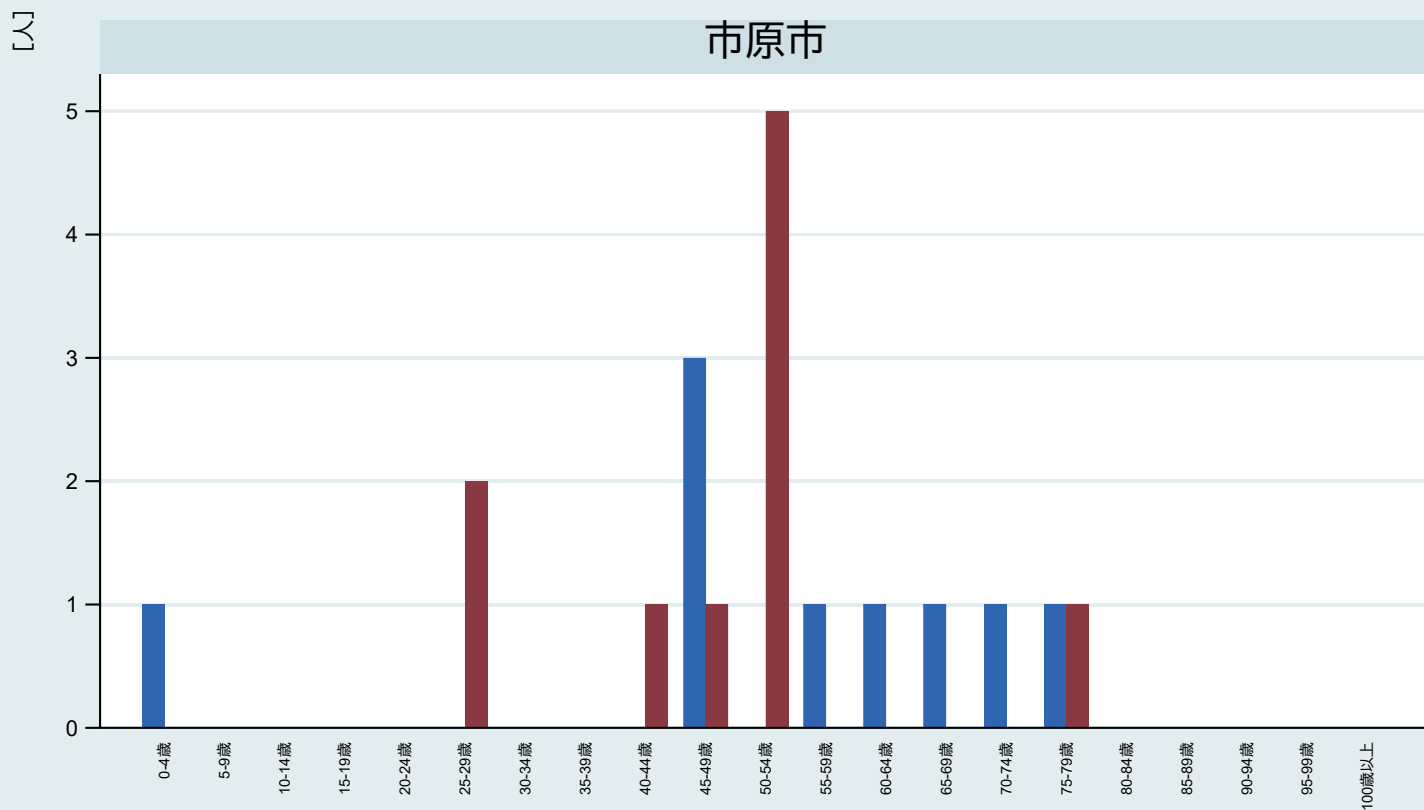
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数 注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別8・性別・年齢階級別】 君津医療圏（2019年度・4医療機関以上）



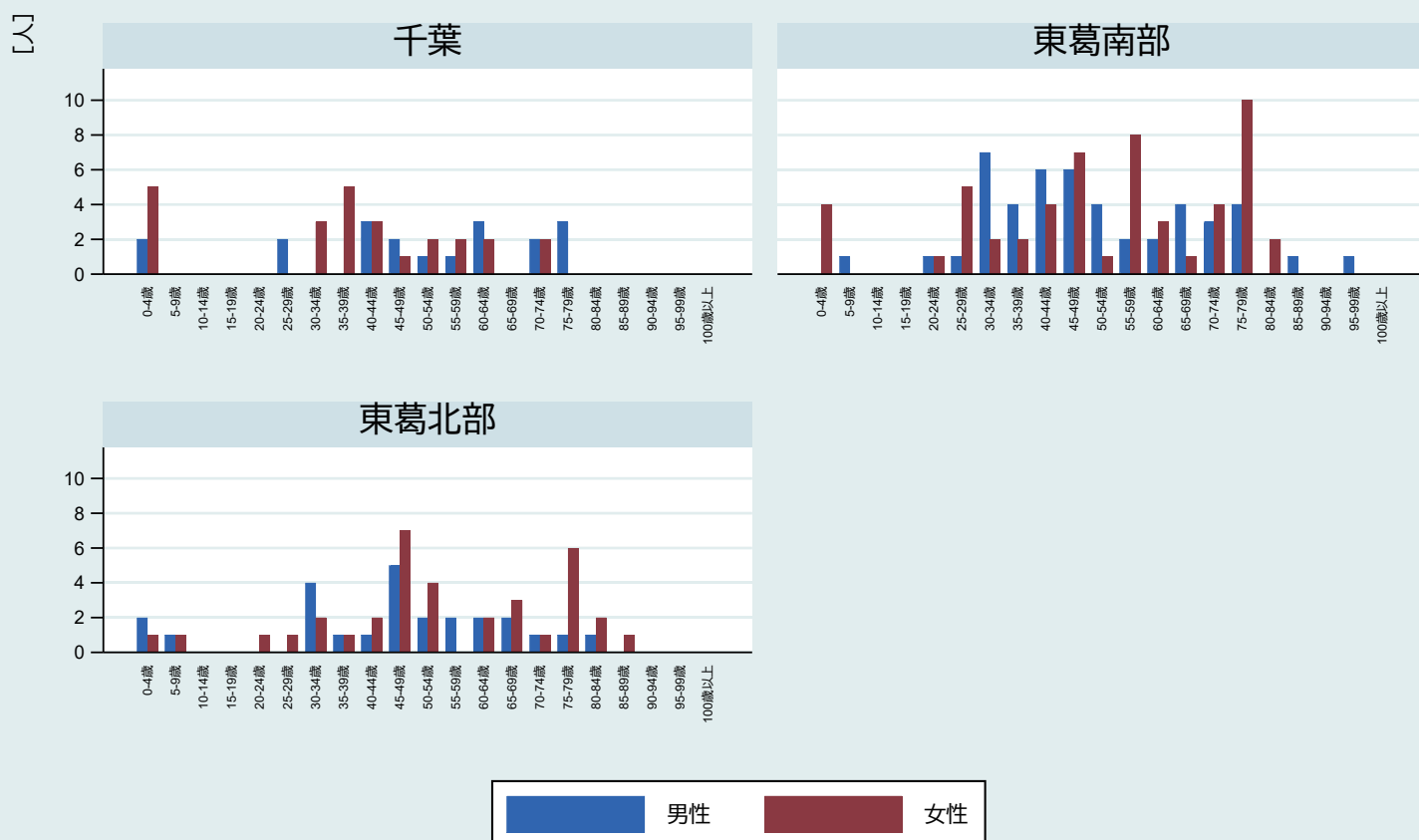
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数 注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【市町村別9・性別・年齢階級別】 市原医療圏（2019年度・4医療機関以上）



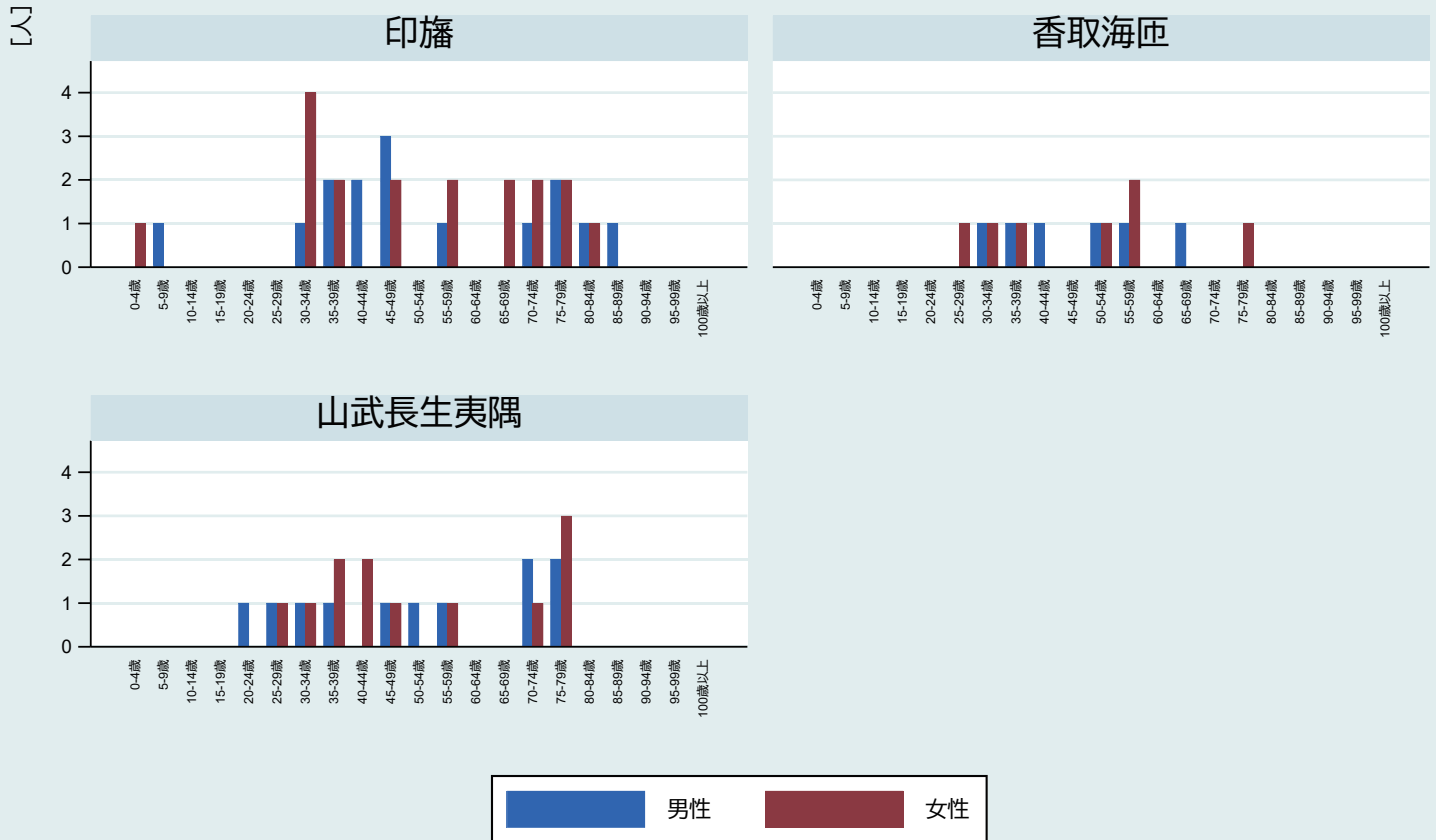
注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数 注3) 青が男性、赤が女性

4-2-3. 重複投薬患者数【2次医療圏別1・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者 注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

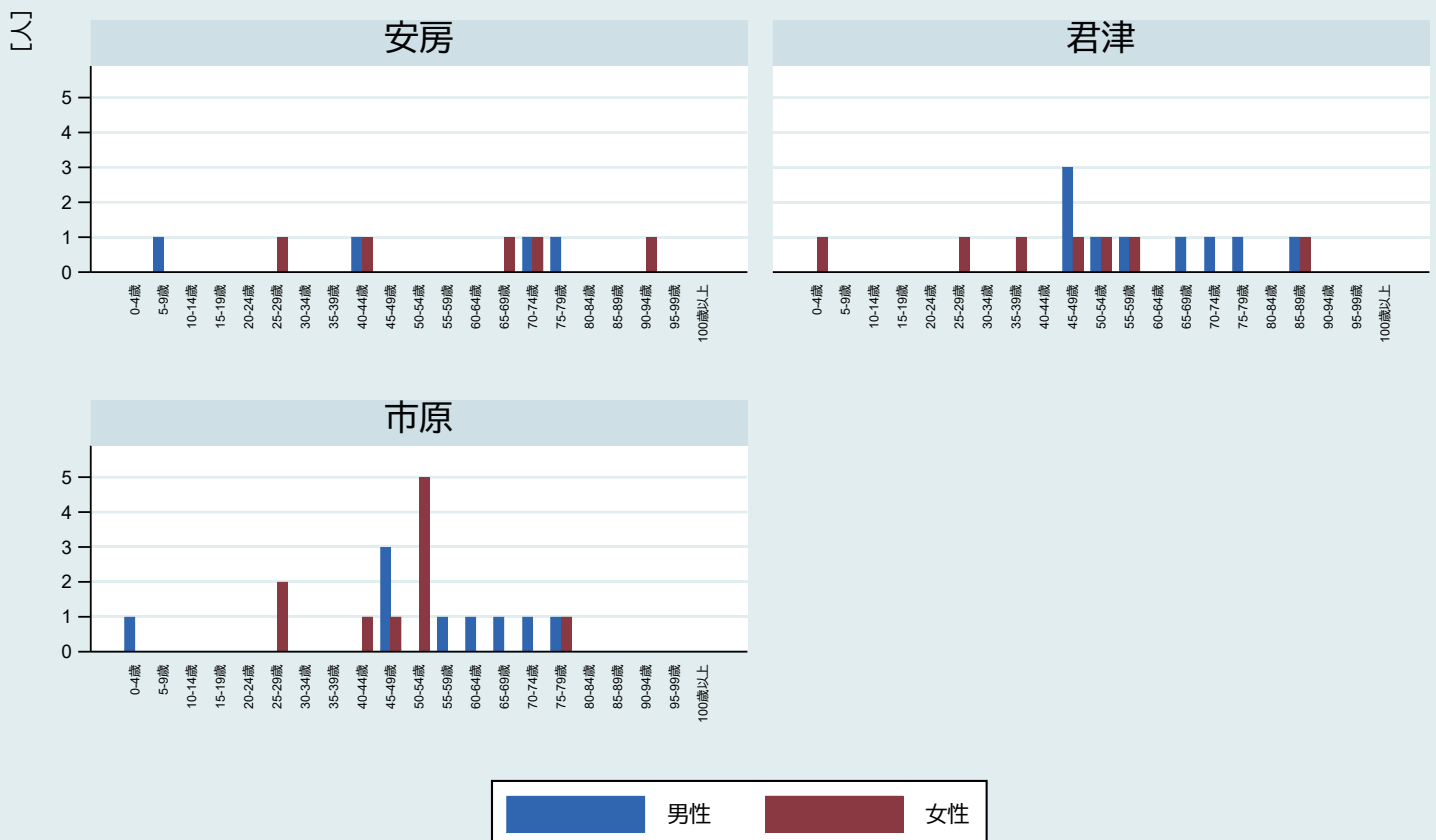
4-2-3. 重複投薬患者数【2次医療圏別2・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

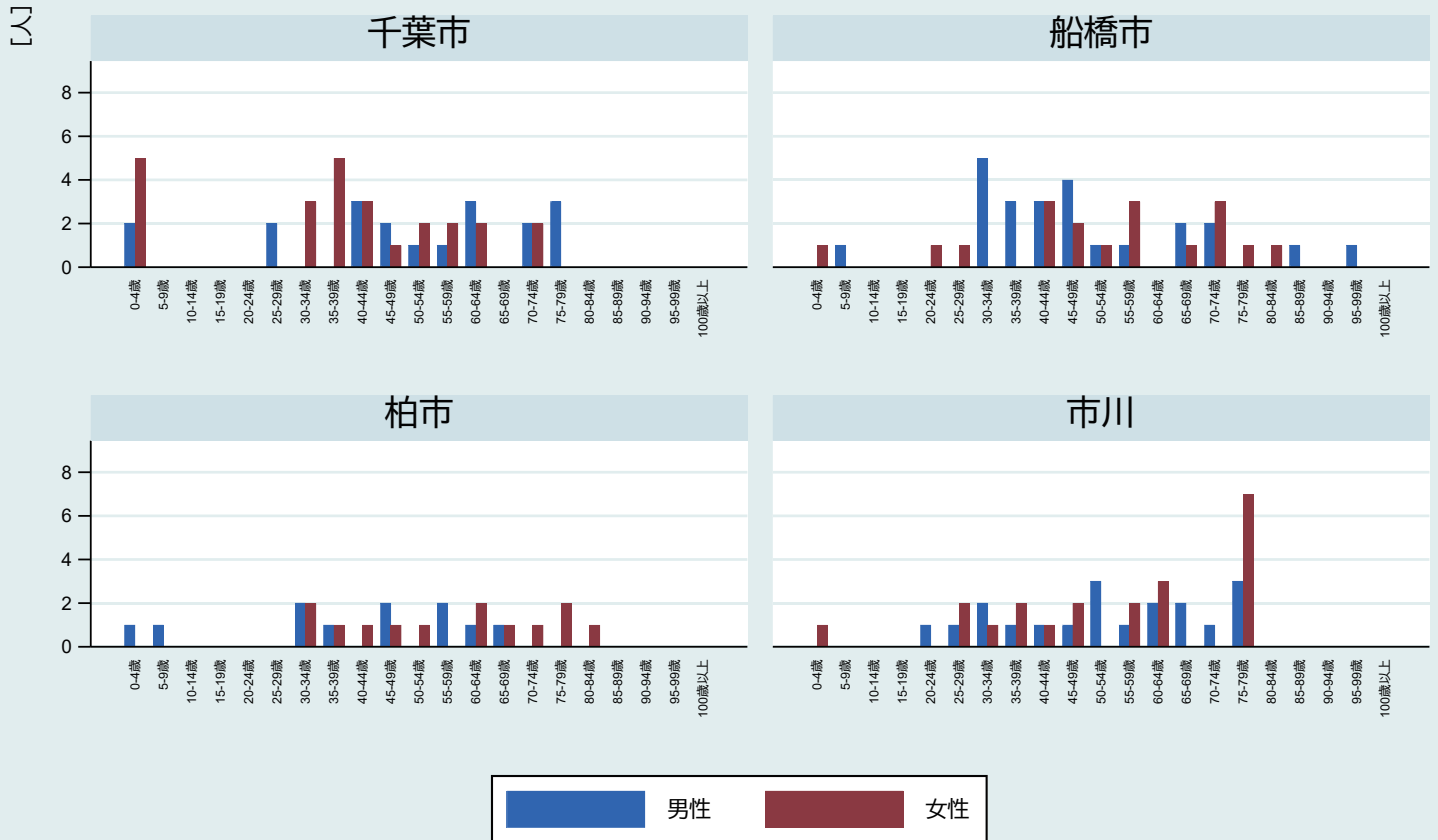
4-2-3. 重複投薬患者数【2次医療圏別3・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

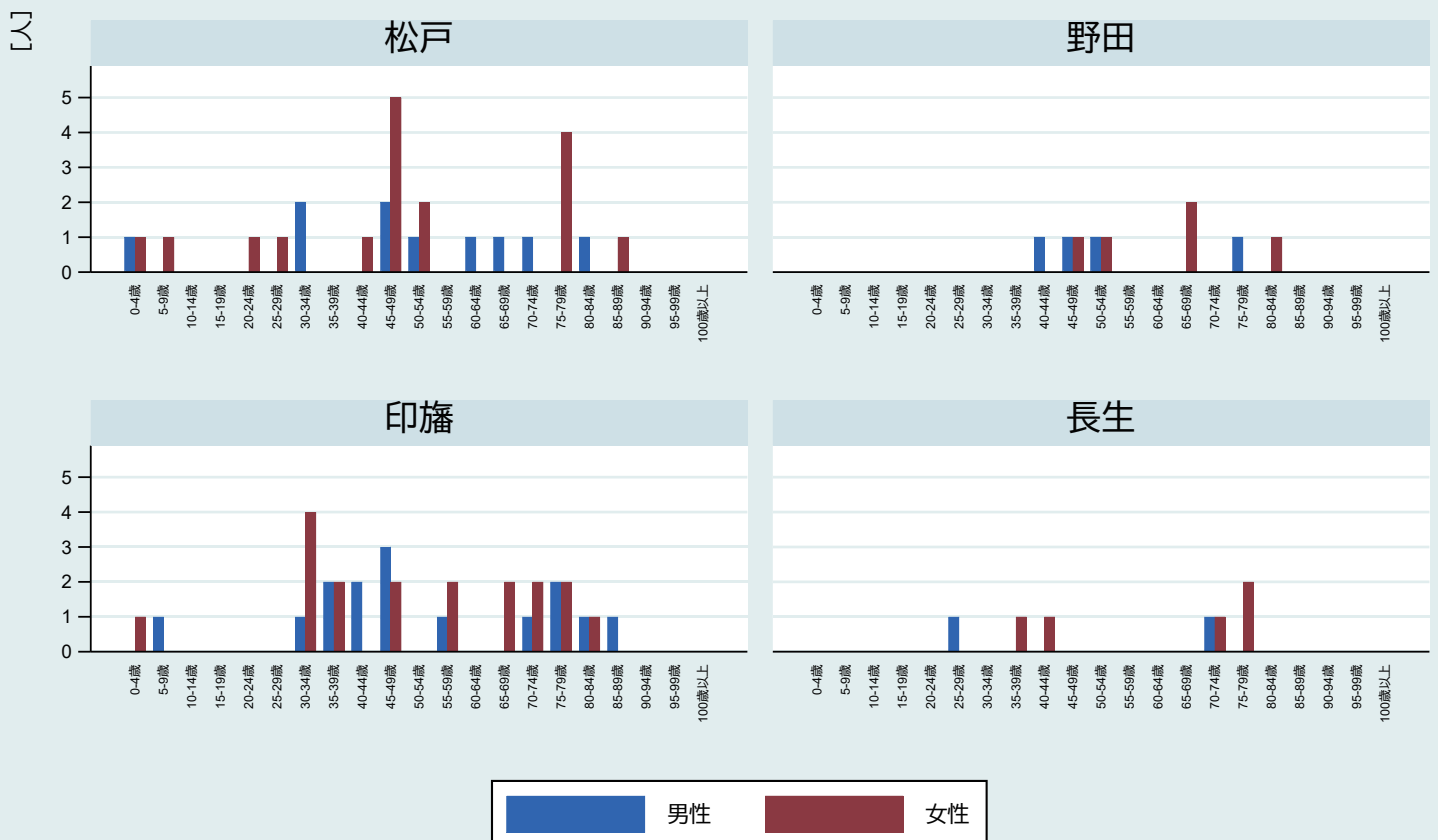
4-2-3. 重複投薬患者数【保健所圏域1・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

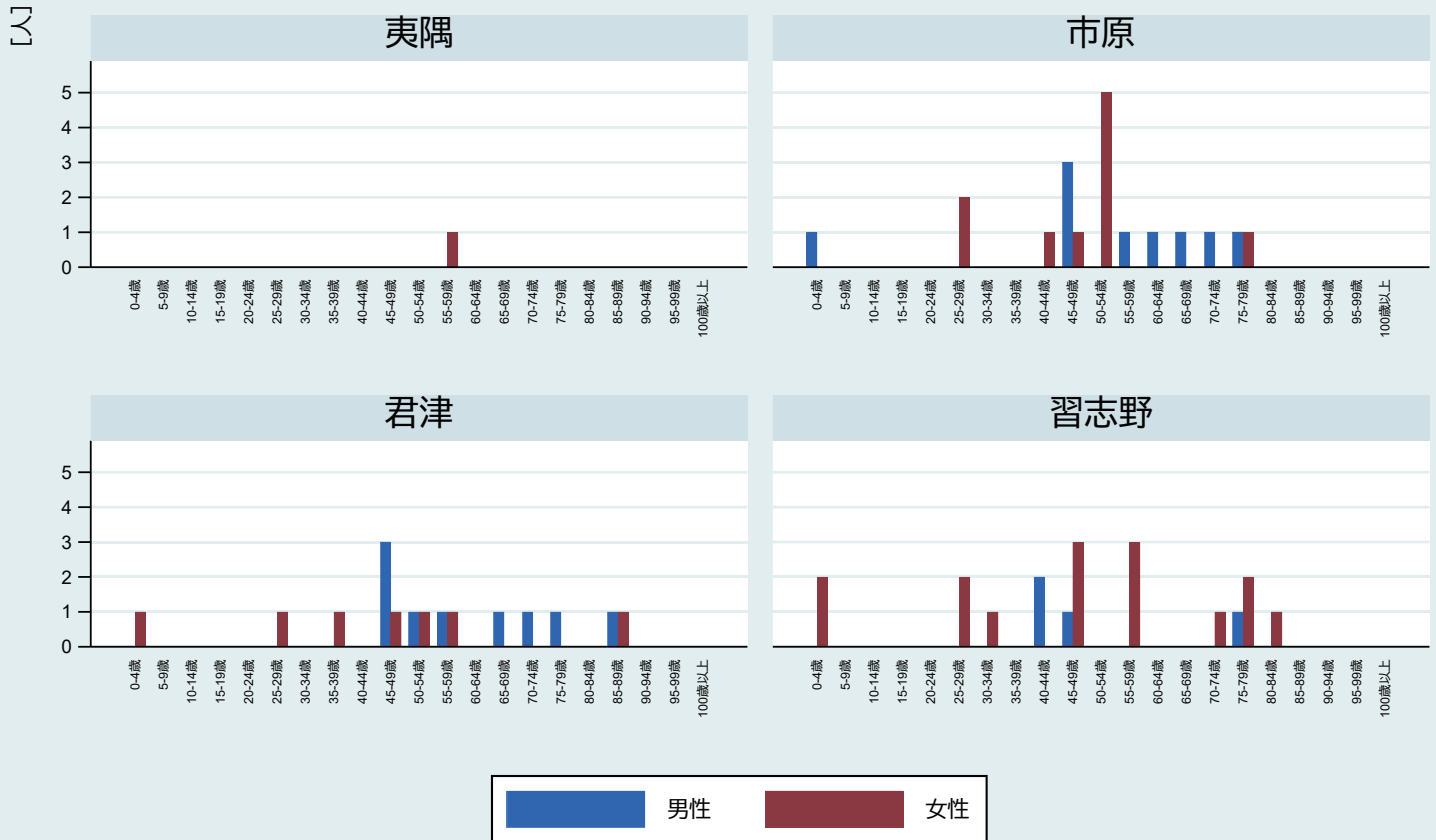
4-2-3. 重複投薬患者数【保健所圏域2・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

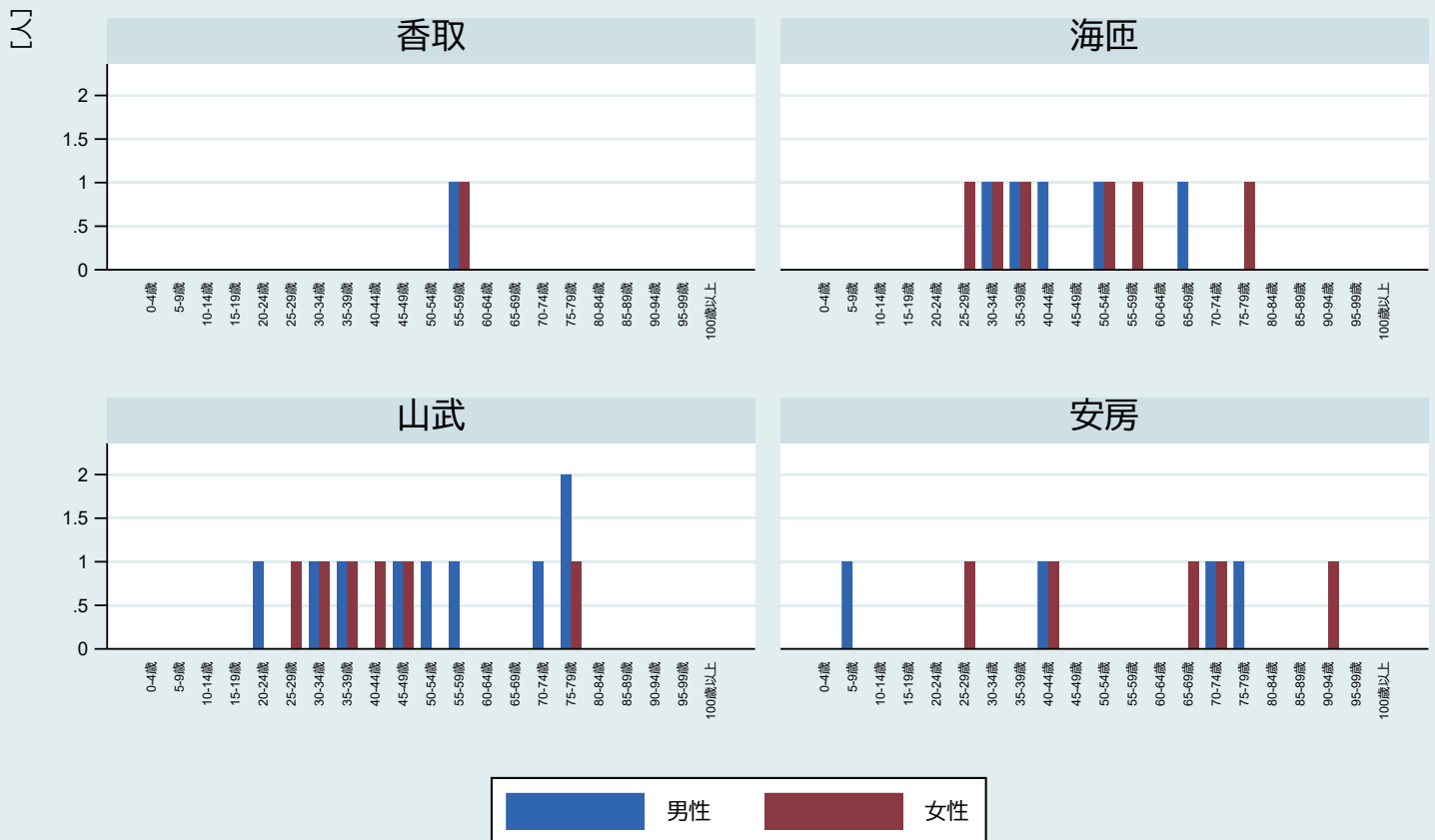
4-2-3. 重複投薬患者数【保健所圏域3・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

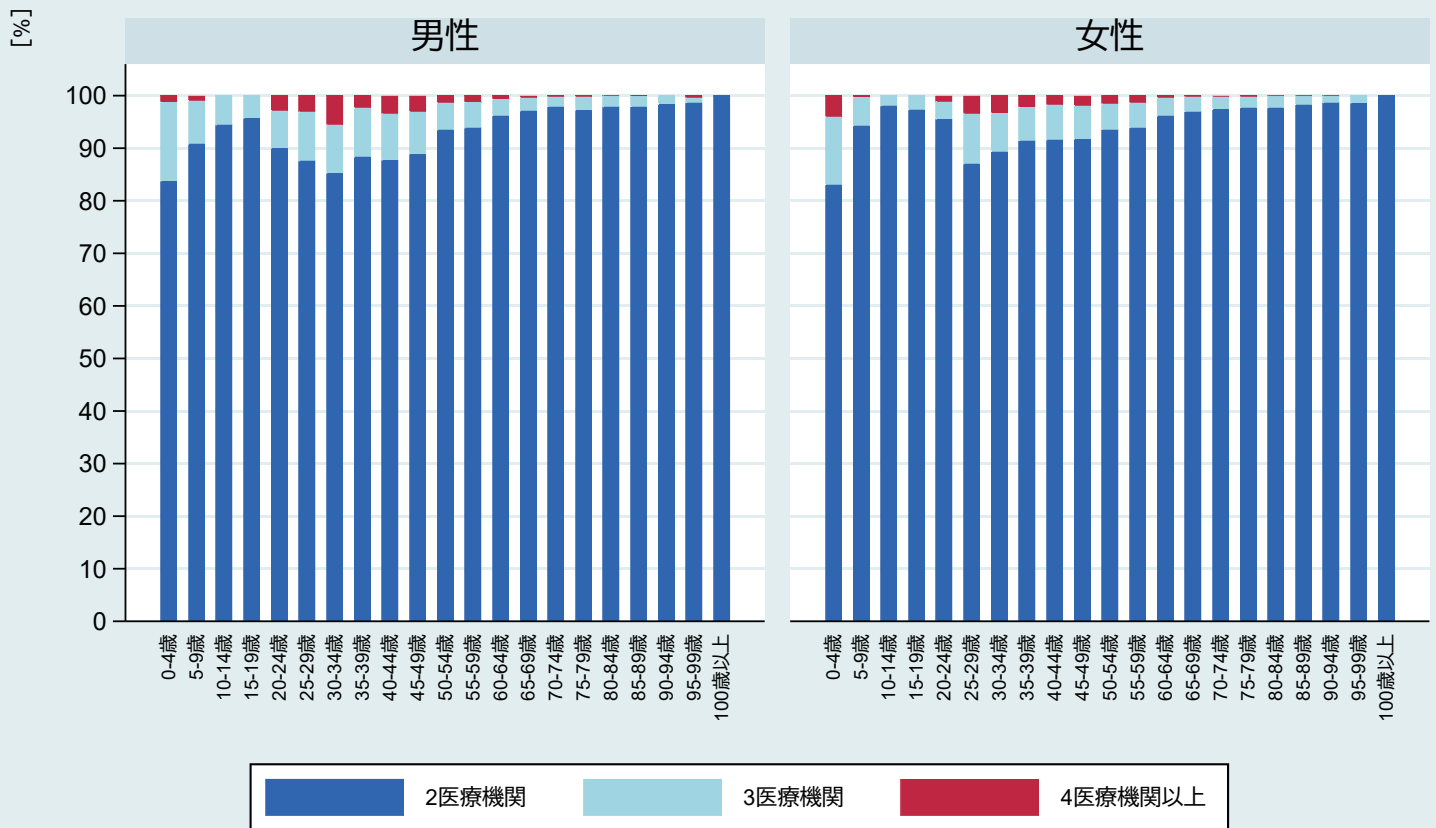
4-2-3. 重複投薬患者数【保健所圏域4・性別・年齢階級別】 (2019年度・4医療機関以上)



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

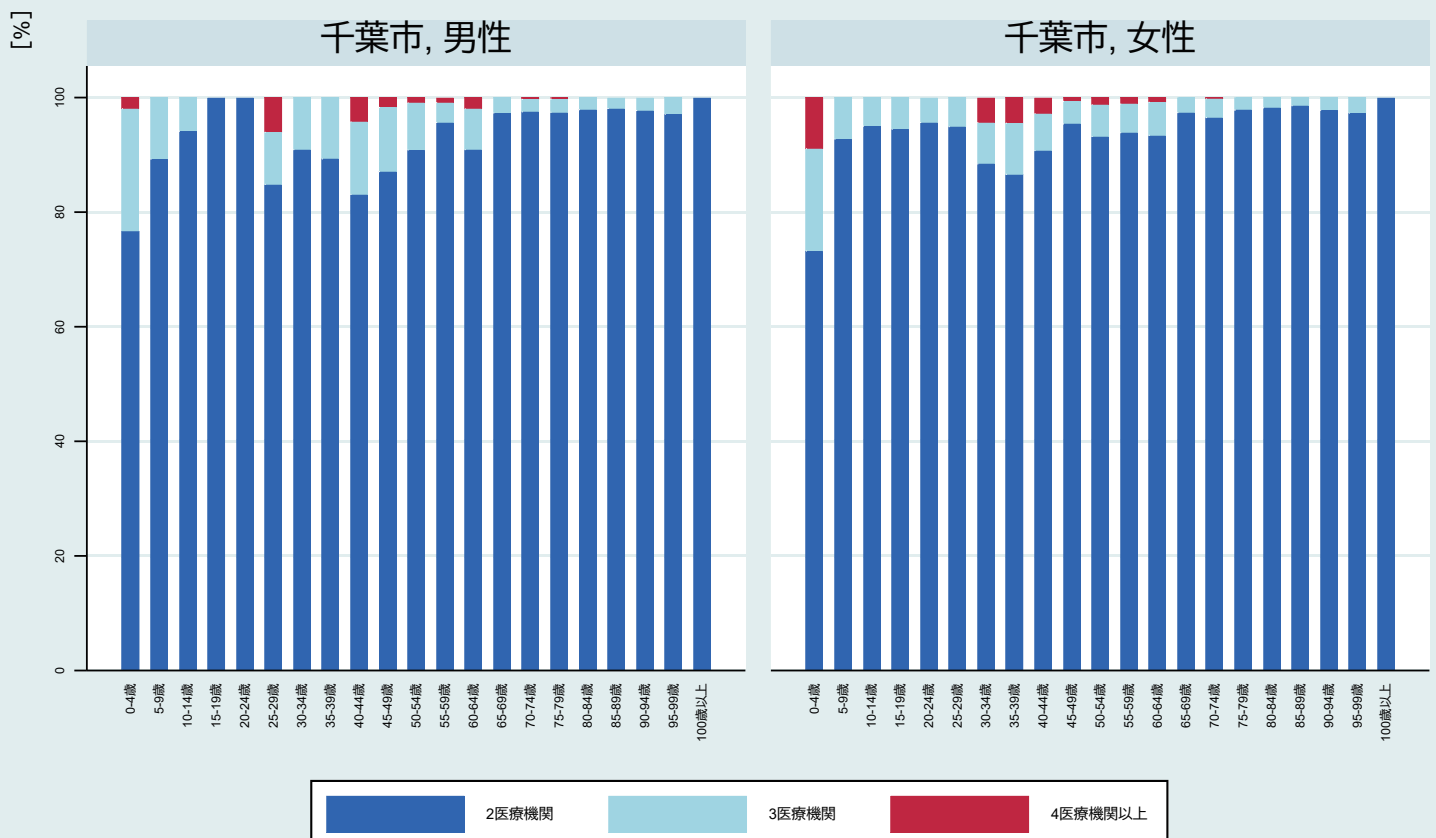
注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数

4-3. 医療機関数別重複投薬患者割合（県全体）【性別・年齢階級別】 （2019年度）



Graphs by female

4-3. 医療機関数別重複投薬患者割合【市町村別1・性別・年齢階級別】 千葉医療圏（2019年度）



注1) 対象は同月に同一成分医薬品を複数の医療機関から合計28日以上処方された者

注2) 医療機関数は重複医薬品の処方箋発行医療機関数